

## 2 - 3 各政策の分析結果

政策 1 .....	分析-61
政策 2 .....	分析-79
政策 3 .....	分析-97
政策 4 .....	分析-115
政策 5 .....	分析-133
政策 6 .....	分析-151
政策 7 .....	分析-169
政策 8 .....	分析-187
政策 9 .....	分析-205
政策 10 .....	分析-223
政策 11 .....	分析-241
政策 12 .....	分析-259
政策 13 .....	分析-277
政策 14 .....	分析-295
政策 15 .....	分析-313
政策 16 .....	分析-331
政策 17 .....	分析-349
政策 18 .....	分析-367
政策 19 .....	分析-385
政策 20 .....	分析-403
政策 21 .....	分析-421
政策 22 .....	分析-439
政策 23 .....	分析-457
政策 24 .....	分析-475
政策 25 .....	分析-493
政策 26 .....	分析-511
政策 27 .....	分析-529
政策 28 .....	分析-547
政策 29 .....	分析-565
政策 30 .....	分析-583
政策 31 .....	分析-601
政策 32 .....	分析-619
政策 33 .....	分析-637
政策 34 .....	分析-655
政策 35 .....	分析-673
政策 36 .....	分析-691

## 政策 22 「個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進」

政策 22 「個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進」は、限りない可能性を持つすべての子どもの個性が尊重され、21 世紀を切り拓く人材として創造性に富んだ豊かな心が育まれるよう、特色ある教育を目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 22 の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 36.6%、低認知度群は 63.4%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、女性（36.4%）が男性（36.2%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（41.5%）が 65 歳未満（34.4%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域（42.4%）が、回答者全体と比較して 5.8 ポイント高い。

石巻圏域（30.6%）が、回答者全体と比較して 6.0 ポイント低い。

(%)

政策 22 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.1	33.5	36.6	52.0	11.4	63.4	100.0

性別	男性	3.9	32.3	36.2	51.3	12.6	63.9	100.0
	女性	2.2	34.2	36.4	53.2	10.4	63.6	100.0
年齢別	65 歳未満	2.8	31.5	34.3	53.5	12.2	65.7	100.0
	65 歳以上	3.5	38.0	41.5	49.1	9.4	58.5	100.0

圏域別	仙台	2.3	36.2	38.5	49.3	12.2	61.5	100.0
	仙南	3.9	32.5	36.4	50.9	12.7	63.6	100.0
	大崎	3.6	38.8	42.4	47.8	9.8	57.6	100.0
	栗原	2.7	31.9	34.6	53.5	11.9	65.4	100.0
	登米	2.3	34.4	36.7	52.6	10.7	63.3	100.0
	石巻	3.8	26.8	30.6	57.9	11.5	69.4	100.0
	気山沼・本吉	2.6	32.9	35.5	53.4	11.1	64.5	100.0

有効回答者数 1,599 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 53.7%、低認知度群は 46.3%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（71.4%）が 17.7 ポイント、登米圏域（66.6%）が 12.9 ポイント、仙南圏域（60.7%）が 7.0 ポイント、石巻圏域（59.0%）が 5.3 ポイント高い。

仙台圏域（46.4%）が、回答者全体と比較して 7.3 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 60.6%、低認知度群は 39.4%である。

(%)

政策 22 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	7.7	46.0	53.7	40.8	5.5	46.3	100.0	
圏域別	仙台	7.1	39.3	46.4	46.4	7.1	53.5	100.0
	仙南	12.5	48.2	60.7	35.7	3.6	39.3	100.0
	大崎	5.2	45.5	50.7	44.2	5.2	49.4	100.0
	栗原	14.3	57.1	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	8.3	58.3	66.6	33.3	0.0	33.3	100.0
	石巻	4.5	54.5	59.0	27.3	13.6	40.9	100.0
	気山沼・本吉	5.6	50.0	55.6	41.7	2.8	44.5	100.0

有効回答者数 326 名

学識者等全体	7.6	53.0	60.6	36.4	3.0	39.4	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

## 2. 政策 22 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 87.4%、低関心度群は 12.6%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性（89.1%）が男性（85.6%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳未満（87.6%）が 65 歳以上（86.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策 22 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	36.1	51.3	87.4	10.6	2.0	12.6	100.0

性別	男性	34.4	51.2	85.6	11.9	2.5	14.4	100.0
	女性	36.8	52.3	89.1	9.5	1.4	10.9	100.0
年齢別	65 歳未満	34.3	53.3	87.6	11.0	1.3	12.3	100.0
	65 歳以上	39.4	47.4	86.8	9.6	3.6	13.2	100.0

圏 域 別	仙台	38.6	51.6	90.2	8.8	0.9	9.7	100.0
	仙南	42.3	46.3	88.6	10.6	0.9	11.5	100.0
	大崎	36.4	50.0	86.4	11.8	1.8	13.6	100.0
	栗原	35.2	53.0	88.2	10.2	1.5	11.7	100.0
	登米	37.6	49.3	86.9	10.4	2.7	13.1	100.0
	石巻	29.6	55.9	85.5	12.4	2.2	14.6	100.0
	気山沼・本吉	30.2	56.6	86.8	10.7	2.5	13.2	100.0

有効回答者数 1,627 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 92.8%、低関心度群は 7.2%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（100.0%）、登米圏域（100.0%）では共に 7.2 ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は 95.4%、低関心度群は 4.5%である。

(%)

政策 22 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった		
市町村職員全体	34.2	58.6	92.8	7.2	0.0	7.2	100.0
圏 域 別	仙台	38.5	91.5	8.5	0.0	8.5	100.0
	仙南	39.3	94.7	5.4	0.0	5.4	100.0
	大崎	26.0	89.6	10.4	0.0	10.4	100.0
	栗原	28.6	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	26.1	95.7	4.3	0.0	4.3	100.0
	気山沼・本吉	27.0	94.6	5.4	0.0	5.4	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	51.5	43.9	95.4	4.5	0.0	4.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

### 3. 政策 22 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 30.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 46.3%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 44.4%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 40.0%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	70.0	40.0	30.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	9.2	(90.8)
満足度 60点未満の割合		55.5
要検討領域にある回答者全体の割合		46.3

有効回答者数；重視度 1,604人、満足度 1,576人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	1604	1576
	欠損値	117	145
平均値		79.19	52.38
平均値の標準誤差		.410	.446
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.415	17.715
分散		269.461	313.827
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	65.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	5.4	(94.6)
満足度 60点未満の割合		49.8
要検討領域にある回答者全体の割合		44.4

有効回答者数；重視度 334人、満足度 331人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	334	331
	欠損値	4	7
平均値		79.82	54.59
平均値の標準誤差		.755	.835
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		13.802	15.198
分散		190.508	230.970
範囲		70	90
最小値		30	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	75.0	50.0	25.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

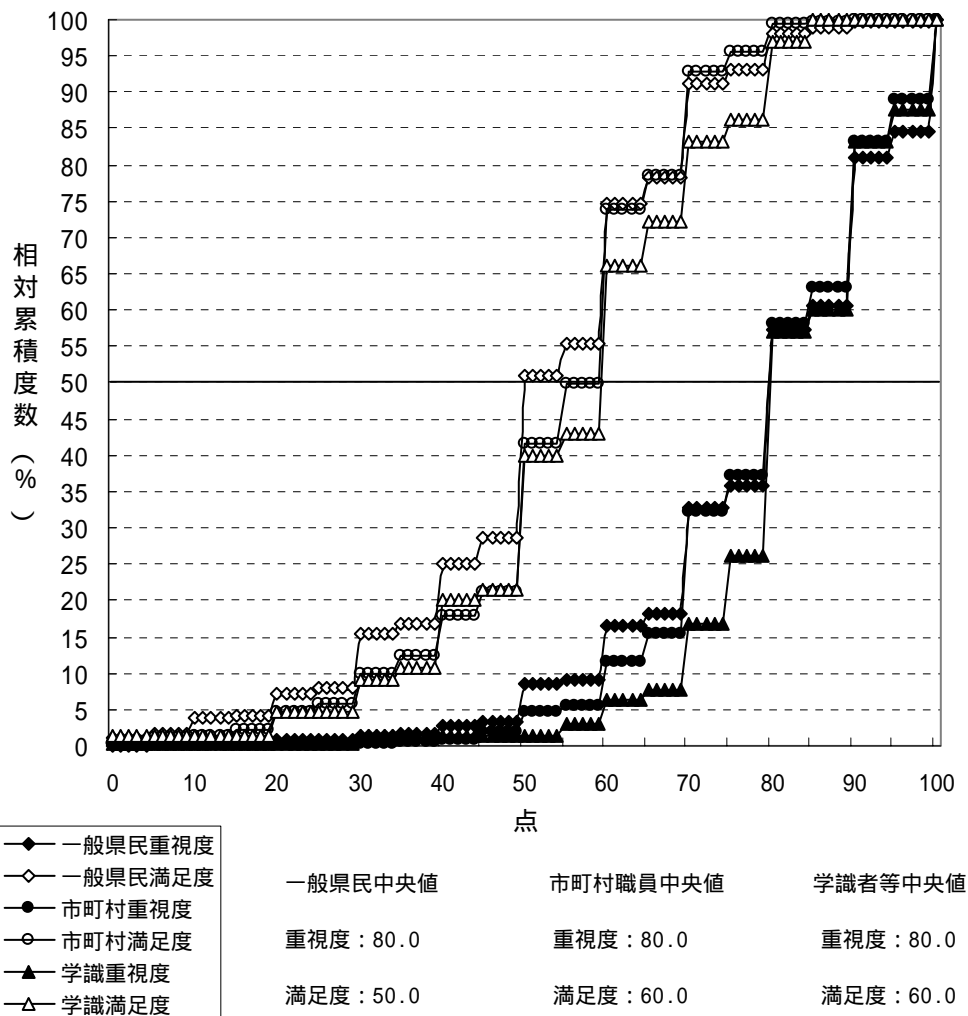
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.1	(96.9)
満足度 60点未満の割合		43.1
要検討領域にある回答者全体の割合		40.0

有効回答者数；重視度 65人、満足度 65人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	65	65
	欠損値	4	4
平均値		82.23	56.85
平均値の標準誤差		1.551	2.085
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		12.501	16.807
分散		156.274	282.476
範囲		70	80
最小値		30	5
最大値		100	85
パーセンタイル	25	75.00	50.00
	40	80.00	52.00
	50	80.00	60.00
	60	88.00	60.00
	75	90.00	70.00

「政策22 個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進」





### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性 (55.0 点) が男性 (50.0 点) よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性 (30.0 点) が女性 (25.0 点) よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 48.8%、女性 43.9%と推定できる。

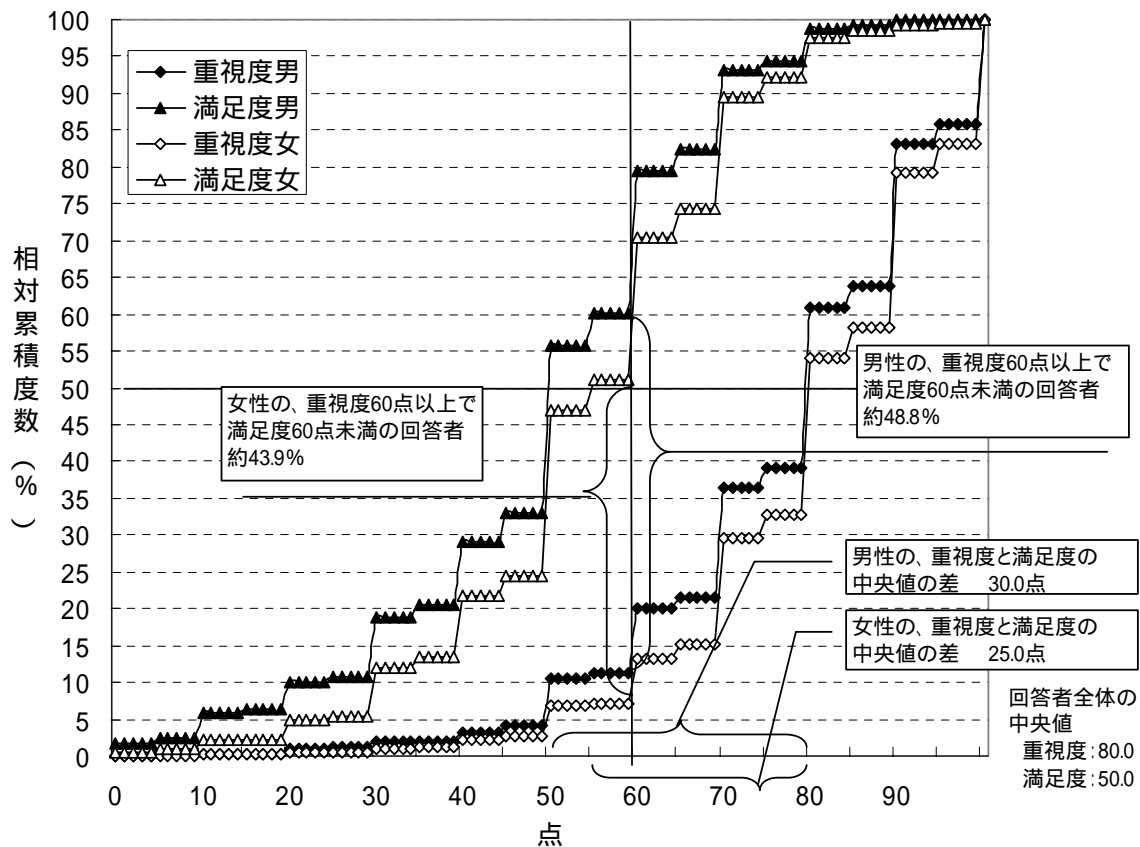
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	70.0
	かい離	25.0	30.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	12.5	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	11.3 (88.7)	7.2 (92.8)
満足度 60 点未満の割合	60.1	51.1
要検討領域にある回答者全体の割合	48.8	43.9

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	758	750
	欠損値	45	53
平均値		77.63	49.91
平均値の標準誤差		.622	.671
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.124	18.363
分散		293.229	337.209
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	828	808
	欠損値	68	88
平均値		80.57	54.66
平均値の標準誤差		.543	.592
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.637	16.823
分散		244.501	283.001
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	70.00

### 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（30.0 点）が 65 歳以上（25.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 48.5%、65 歳以上 39.6%と推定できる。

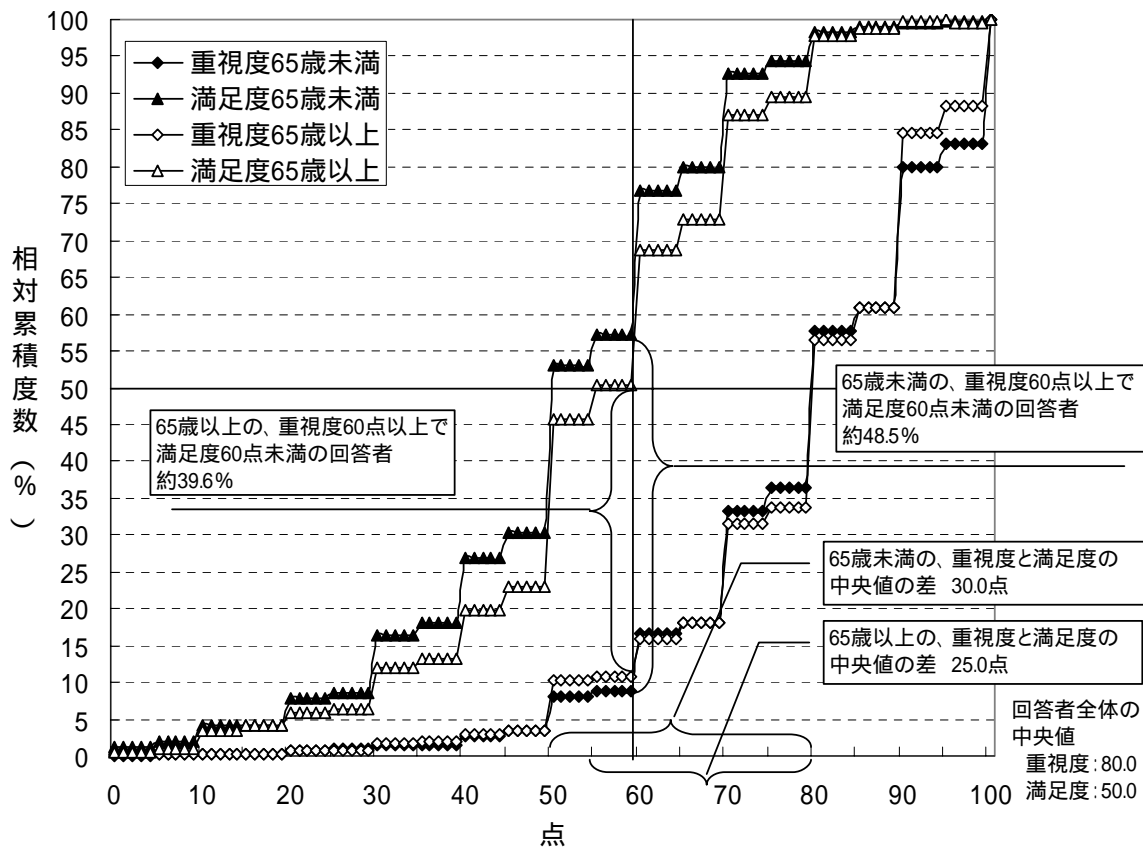
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	70.0
	かい離	25.0	30.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	12.5	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	8.7 (91.3)	10.7 (89.3)
満足度 60 点未満の割合	57.2	50.3
要検討領域にある回答者全体の割合	48.5	39.6

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	1182	1168
	欠損値	58	72
平均値		79.26	51.50
平均値の標準誤差		.480	.519
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.509	17.740
分散		272.531	314.720
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策22重視度	政策22満足度
度数	有効	402	388
	欠損値	55	69
平均値		78.88	55.03
平均値の標準誤差		.807	.889
中央値		80.00	55.00
最頻値		90	50
標準偏差		16.174	17.506
分散		261.587	306.459
範囲		80	95
最小値		20	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 ( 80.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、登米圏域 ( 57.5 点 ) が回答者全体 ( 50.0 点 ) よりも 7.5 ポイント、大崎圏域 ( 55.0 点 ) が 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域 ( 10.0 点 )、仙南圏域 ( 10.0 点 )、大崎圏域 ( 10.0 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 10.0 点 )、登米圏域 ( 7.5 点 )、石巻圏域 ( 6.3 点 ) の 6 圏域が回答者全体 ( 12.5 点 ) よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域 ( 85.0 点 )、登米圏域 ( 85.0 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 80.0 点 ) よりも 5 ポイント高く、石巻圏域 ( 70.0 点 ) が 10 ポイント低い。

満足度の中央値は、仙台圏域 ( 55.0 点 )、仙南圏域 ( 55.0 点 )、登米圏域 ( 55.0 点 )、石巻圏域 ( 55.0 点 ) の 4 圏域が回答者全体 ( 60.0 点 ) よりも 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、登米圏域 ( 12.5 点 ) が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きく、仙南圏域 ( 9.4 点 )、栗原圏域 ( 7.5 点 ) の 2 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、登米圏域 ( 10.6 点 )、大崎圏域 ( 10.0 点 )、栗原圏域 ( 10.0 点 )、石巻圏域 ( 10.0 点 ) の 4 圏域が回答者全体 ( 7.5 点 ) よりも大きく、気仙沼・本吉圏域 ( 6.9 点 )、仙南圏域 ( 5.0 点 ) の 2 圏域が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	57.5	50.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	30.0	22.5	30.0	30.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0	50.0	47.5	40.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	30.0	20.0	22.5	30.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	60.0	65.0	65.0	65.0	60.0	60.0
	かい離	25.0	30.0	30.0	25.0	25.0	25.0	30.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	12.5	10.0	10.0	10.0	12.5	7.5	6.3	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	85.0	85.0	70.0	80.0
	満足度	60.0	55.0	55.0	60.0	60.0	55.0	55.0	57.5
	かい離	20.0	25.0	25.0	20.0	25.0	30.0	15.0	22.5
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	71.3	70.0	75.0	70.0	65.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	46.3	40.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	21.3	20.0	25.0	23.8	25.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	95.0	85.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	70.0	70.0	67.5	60.0	63.8
	かい離	25.0	25.0	30.0	20.0	20.0	27.5	25.0	26.3
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	9.4	10.0	7.5	12.5	10.0	10.0
	満足度	7.5	7.5	5.0	10.0	10.0	10.6	10.0	6.9

#### 4. 政策 22 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 7 「地域社会と学校教育との協働の推進」(41.0%) である。

第 2 位は施策 1 「特色ある学校づくり」(18.7%) である。

第 3 位は施策 6 「地域に開かれた学校づくり」(14.5%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 7 「地域社会と学校教育との協働の推進」(43.1%) である。

第 2 位は施策 1 「特色ある学校づくり」(24.9%) である。

第 3 位は施策 6 「地域に開かれた学校づくり」(11.1%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 7 「地域社会と学校教育との協働の推進」(41.8%) である。

第 2 位は施策 1 「特色ある学校づくり」(32.8%) である。

第 3 位は施策 6 「地域に開かれた学校づくり」(9.0%) である。

性別

一般県民では、

性別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、男性では施策 6 「地域に開かれた学校づくり」、女性では施策 2 「不登校児童生徒等への支援」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

#### 圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 7 「地域社会と学校教育との協働の推進」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 6 圏域では施策 1 「特色ある学校づくり」、気仙沼・本吉圏域では施策 6 「地域に開かれた学校づくり」である。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米の 5 圏域では施策 6 「地域に開かれた学校づくり」、石巻圏域では施策 2 「不登校児童生徒等への支援」、気仙沼・本吉圏域では施策 1 「特色ある学校づくり」である。

市町村職員では、

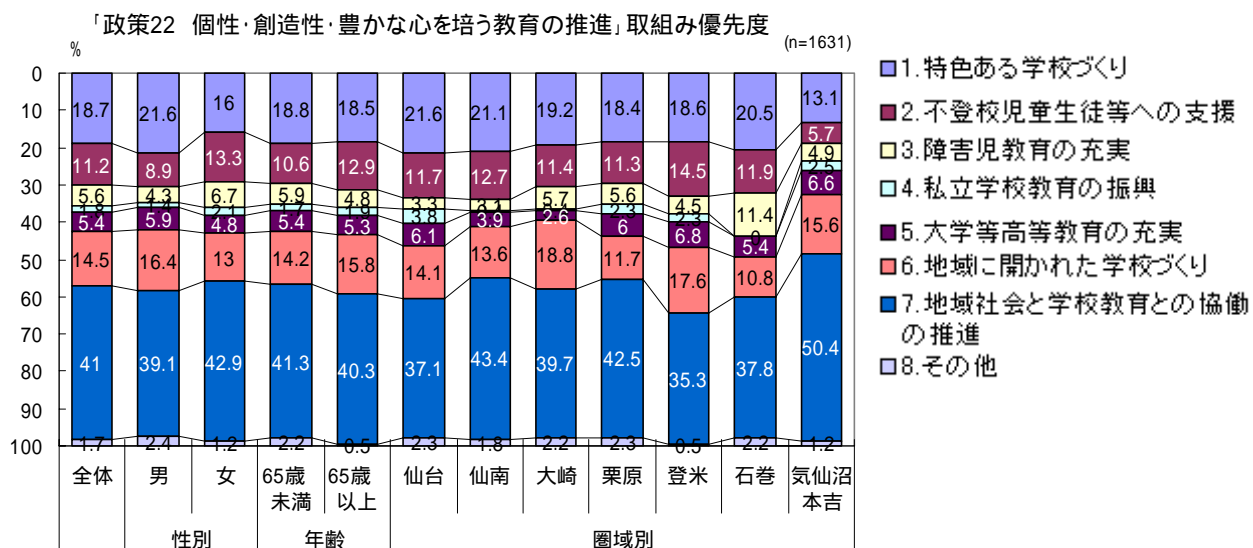
第 1 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 7 「地域社会と学校教育との協働の推進」、栗原圏域では施策 1 「特色ある学校づくり」と施策 2 「不登校児童生徒等への支援」である（栗原圏域では施策 1 と施策 2 が共に第 1 位になっている）。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 1 「特色ある学校づくり」である。

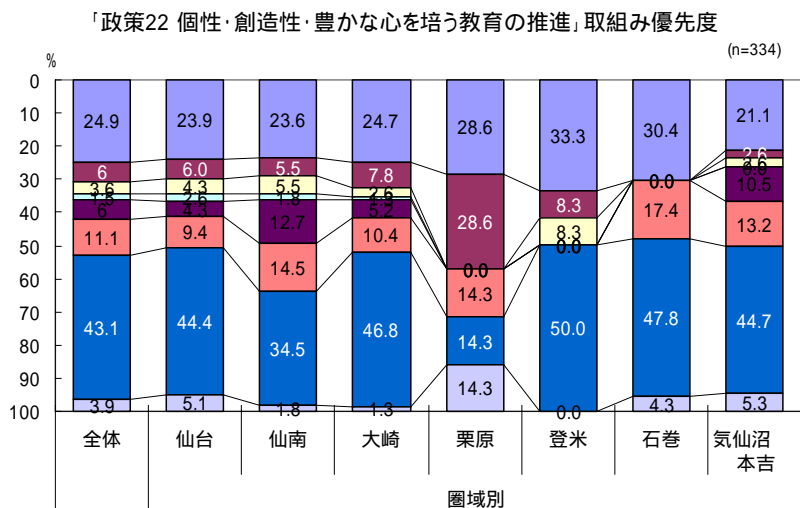
第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 6 「地域に開かれた学校づくり」、栗原圏域では施策 7 「地域社会と学校教育との協働の推進」と施策 8 「その他」、登米圏域では施策 2 「不登校児童生徒等への支援」と施策 3 「障害児教育の充実」である（栗原圏域では施策 6 と施策 7 と施策 8 が、登米圏域では施策 2 と施策 3 が共に第 3 位になっている）。



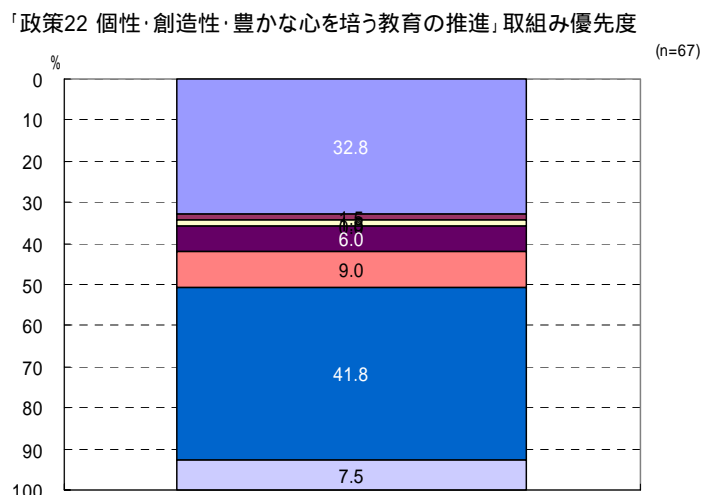
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 22 「個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.特色ある学校づくり	18.7	21.6	16.0	18.8	18.5	21.6	21.1	19.2	18.4	18.6	20.5	13.1
2	2.不登校児童生徒等への支援	11.2	8.9	13.3	10.6	12.9	11.7	12.7	11.4	11.3	14.5	11.9	5.7
3	3.障害児教育の充実	5.6	4.3	6.7	5.9	4.8	3.3	3.1	5.7	5.6	4.5	11.4	4.9
4	4.私立学校教育の振興	1.8	1.4	2.1	1.7	1.9	3.8	0.4	0.4	2.3	2.3	0.0	2.5
5	5.大学等高等教育の充実	5.4	5.9	4.8	5.4	5.3	6.1	3.9	2.6	6.0	6.8	5.4	6.6
6	6.地域に開かれた学校づくり	14.5	16.4	13.0	14.2	15.8	14.1	13.6	18.8	11.7	17.6	10.8	15.6
7	7.地域社会と学校教育との協働の推進	41.0	39.1	42.9	41.3	40.3	37.1	43.4	39.7	42.5	35.3	37.8	50.4
8	8.その他	1.7	2.4	1.2	2.2	0.5	2.3	1.8	2.2	2.3	0.5	2.2	1.2

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.特色ある学校づくり	24.9	23.9	23.6	24.7	28.6	33.3	30.4	21.1
2	2.不登校児童生徒等への支援	6.0	6.0	5.5	7.8	28.6	8.3	0.0	2.6
3	3.障害児教育の充実	3.6	4.3	5.5	2.6	0.0	8.3	0.0	2.6
4	4.私立学校教育の振興	1.5	2.6	1.8	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
5	5.大学等高等教育の充実	6.0	4.3	12.7	5.2	0.0	0.0	0.0	10.5
6	6.地域に開かれた学校づくり	11.1	9.4	14.5	10.4	14.3	0.0	17.4	13.2
7	7.地域社会と学校教育との協働の推進	43.1	44.4	34.5	46.8	14.3	50.0	47.8	44.7
8	8.その他	3.9	5.1	1.8	1.3	14.3	0.0	4.3	5.3

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.特色ある学校づくり	32.8
2	2.不登校児童生徒等への支援	1.5
3	3.障害児教育の充実	1.5
4	4.私立学校教育の振興	0.0
5	5.大学等高等教育の充実	6.0
6	6.地域に開かれた学校づくり	9.0
7	7.地域社会と学校教育との協働の推進	41.8
8	8.その他	7.5

政策 22 「個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進」

## 政策 23 「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」

政策 23 「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」は、県民のだれもが、いつでも、主体的、自発的に学ぶことができ、生涯にわたって、自分を磨き、自己を充実させ、豊かで生きがいのある生活を送ることができるような環境づくりを目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 23 の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 34.6%、低認知度群は 65.4% である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、女性（34.3%）が男性（34.2%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（49.1%）が 65 歳未満（29.3%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域（43.3%）では、回答者全体と比較して 8.7 ポイント高い。

石巻圏域（25.7%）では、回答者全体と比較して 8.9 ポイント低い。

(%)

政策 23 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.1	31.5	34.6	53.5	11.9	65.4	100.0

性別	男性	2.8	31.4	34.2	52.2	13.6	65.8	100.0
	女性	3.1	31.2	34.3	55.2	10.5	65.7	100.0
年齢別	65 歳未満	1.9	27.4	29.3	57.0	13.7	70.7	100.0
	65 歳以上	6.1	43.0	49.1	44.0	6.9	50.9	100.0

圏域別	仙台	1.4	35.5	36.9	50.5	12.6	63.1	100.0
	仙南	2.6	28.1	30.7	54.1	15.2	69.3	100.0
	大崎	4.4	38.9	43.3	46.3	10.5	56.8	100.0
	栗原	3.2	32.5	35.7	53.6	10.7	64.3	100.0
	登米	2.9	31.6	34.5	54.5	11.0	65.5	100.0
	石巻	2.7	23.0	25.7	61.0	13.4	74.4	100.0
	気仙沼・本吉	3.8	29.3	33.1	55.6	11.3	66.9	100.0

有効回答者数 1,601 名

政策 23 「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 53.3%、低認知度群は 46.7%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

登米圏域（83.3%）では、回答者全体と比較して 30 ポイント高い。

学識等全体における高認知度群は 57.6%、低認知度群は 42.5%である。

(%)

政策 23 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	6.9	46.4	53.3	39.5	7.2	46.7	100.0	
圏 域 別	仙台	6.9	43.1	50.0	39.7	10.3	50.0	100.0
	仙南	5.4	44.6	50.0	41.1	8.9	50.0	100.0
	大崎	7.7	47.4	55.1	38.5	6.4	44.9	100.0
	栗原	14.3	42.9	57.2	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	8.3	75.0	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	9.1	40.9	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0
	気山沼・本吉	5.6	47.2	52.8	44.4	2.8	47.2	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	6.1	51.5	57.6	36.4	6.1	42.5	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

## 2. 政策 23 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 80.8%、低関心度群は 19.2%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性（82.8%）が男性（78.6%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（88.9%）が 65 歳未満（78.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、石巻圏域（73.7%）では 5.9 ポイント、気仙沼・本吉圏域（75.8%）では 5.0 ポイント低い。

(%)

政策 23 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった		
一般県民全体	27.7	53.1	80.8	16.8	2.4	19.2	100.0

性別	男性	27.2	51.4	78.6	18.9	2.6	21.5	100.0
	女性	27.7	55.1	82.8	15.0	2.1	17.1	100.0
年齢別	65 歳未満	23.8	54.2	78.0	19.6	2.4	22.0	100.0
	65 歳以上	38.2	50.7	88.9	8.9	2.2	11.1	100.0

圏域別	仙台	32.3	53.0	85.3	12.9	1.8	14.7	100.0
	仙南	29.2	51.9	81.1	18.0	0.9	18.9	100.0
	大崎	27.5	55.8	83.3	13.3	3.4	16.7	100.0
	栗原	27.9	52.8	80.7	17.0	2.3	19.3	100.0
	登米	28.6	54.5	83.1	14.6	2.3	16.9	100.0
	石巻	19.8	55.1	74.9	23.0	2.1	25.1	100.0
	気仙沼・本吉	26.2	49.6	75.8	20.9	3.3	24.2	100.0

有効回答者数 1,636 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 76.4%、低関心度群は 23.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(100.0%)では 23.6 ポイント、栗原圏域(85.7%)では 9.3 ポイント、仙南圏域(83.9%)では 7.5 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域(68.6%)では 7.8 ポイント、石巻圏域(71.4%)では 5.0 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 83.3%、低関心度群は 16.7%である。

(%)

政策 23 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	19.5	56.9	76.4	21.9	1.8	23.7	100.0	
圏 域 別	仙台	22.0	68.6	28.0	3.4	31.4	100.0	
	仙南	19.6	83.9	16.1	0.0	16.1	100.0	
	大崎	15.4	65.4	80.8	17.9	1.3	19.2	100.0
	栗原	28.6	57.1	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	25.0	75.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	23.8	47.6	71.4	23.8	4.8	28.6	100.0
	気山沼・本吉	13.5	62.2	75.7	24.3	0.0	24.3	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	34.8	48.5	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

### 3. 政策 23 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 39.8%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 27.9%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 29.0%と推定できる。



政策 23 「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	15.7	(84.3)
満足度 60点未満の割合		55.5
要検討領域にある回答者全体の割合		39.8

有効回答者数；重視度 1,614人、満足度 1,594人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	1614	1594
	欠損値	107	127
平均値		72.30	52.21
平均値の標準誤差		.423	.438
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.002	17.501
分散		289.074	306.294
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	60.0	10.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	18.6	(81.4)
満足度 60点未満の割合		46.5
要検討領域にある回答者全体の割合		27.9

有効回答者数；重視度 334人、満足度 333人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	334	333
	欠損値	4	5
平均値		70.40	55.48
平均値の標準誤差		.868	.810
中央値		70.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		15.856	14.780
分散		251.413	218.443
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	53.00
	50	70.00	60.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	60.0	10.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	65.0	50.0	15.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	85.0	65.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.4	(89.6)
満足度 60点未満の割合		39.4
要検討領域にある回答者全体の割合		29.0

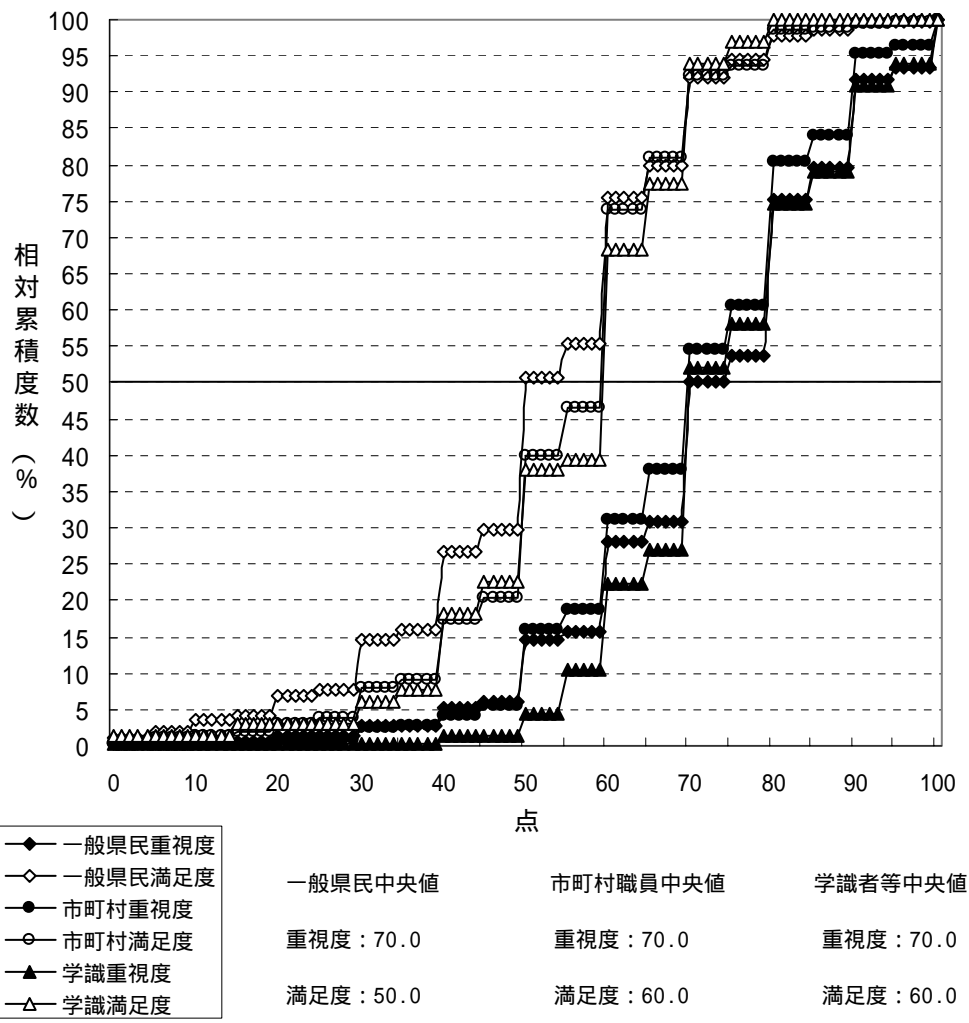
有効回答者数；重視度 67人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	67	66
	欠損値	2	3
平均値		74.18	55.91
平均値の標準誤差		1.663	1.803
中央値		70.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		13.613	14.647
分散		185.301	214.545
範囲		60	80
最小値		40	0
最大値		100	80
パーセンタイル	25	65.00	50.00
	40	70.00	59.00
	50	70.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

政策 23 「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」

「政策23 生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」



### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、女性(75.0点)が男性(70.0点)よりも高い。

満足度の中央値は、女性(55.0点)が男性(50.0点)よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに20.0点で同じである。

重視度の四分位偏差は、女性(12.5点)が男性(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性女性共に10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性41.1%、女性38.6%と推定できる。

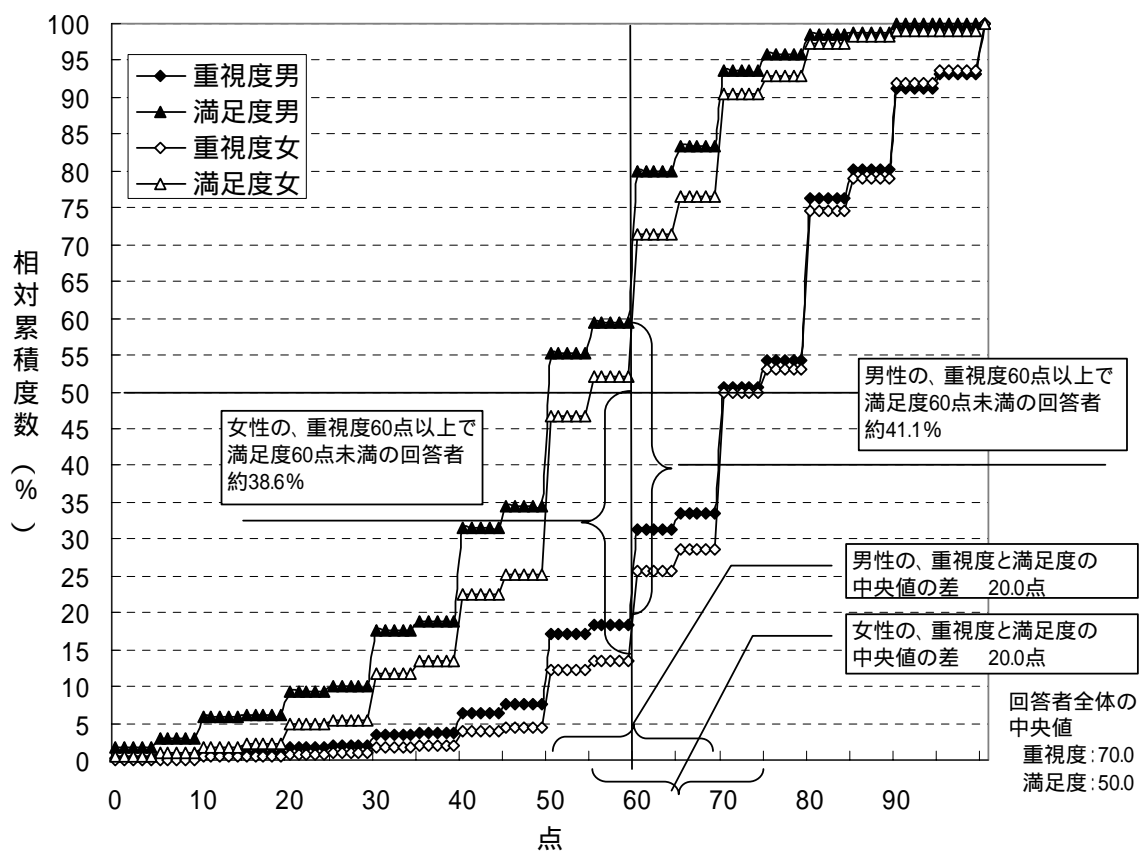
#### 中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値(点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	75.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	18.4 (81.6)	13.4 (86.6)
満足度 60点未満の割合	59.5	52.0
要検討領域にある回答者全体の割合	41.1	38.6

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	767	761
	欠損値	36	42
平均値		71.32	49.82
平均値の標準誤差		.651	.657
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.016	18.112
分散		324.569	328.058
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	830	816
	欠損値	66	80
平均値		73.16	54.38
平均値の標準誤差		.553	.584
中央値		75.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.944	16.677
分散		254.197	278.137
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

### 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満（70.0 点）が 65 歳以上（80.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（60.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（7.5 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 40.9%、65 歳以上 36.7%と推定できる。

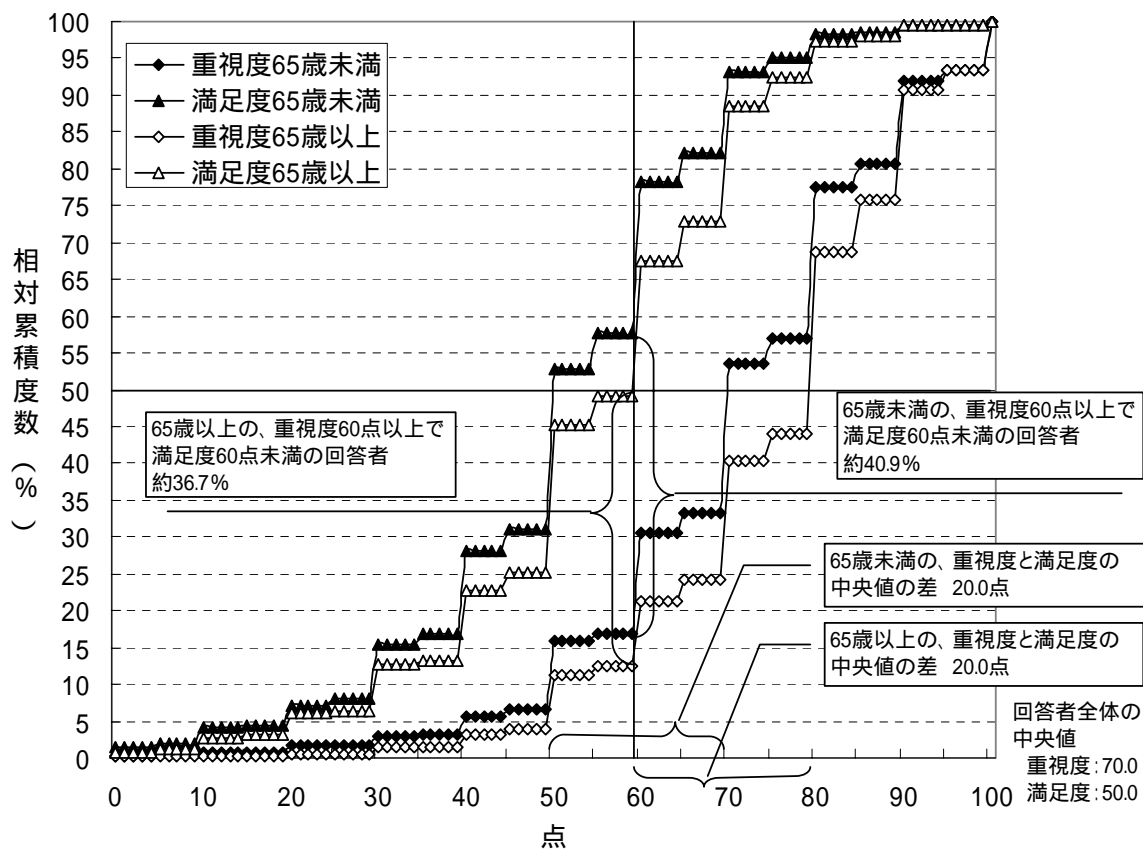
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	25.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	7.5
	満足度	10.0	10.0	12.5

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	16.9(83.1)	12.4 (87.6)
満足度 60 点未満の割合	57.8	49.1
要検討領域にある回答者全体の割合	40.9	36.7

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	1192	1180
	欠損値	48	60
平均値		71.25	51.32
平均値の標準誤差		.502	.508
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.338	17.438
分散		300.609	304.093
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策23重視度	政策23満足度
度数	有効	403	395
	欠損値	54	62
平均値		75.32	54.77
平均値の標準誤差		.776	.884
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.570	17.566
分散		242.433	308.577
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	70.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙南圏域 ( 80.0 点 ) が回答者全体 ( 70.0 点 ) よりも 10 ポイント、仙台圏域 ( 75.0 点 )、大崎圏域 ( 75.0 点 )、栗原圏域 ( 75.0 点 )、登米圏域 ( 75.0 点 ) の 4 圏域が 5 ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域 ( 60.0 点 ) が回答者全体 ( 50.0 点 ) よりも 10 ポイント、登米圏域 ( 55.0 点 )、石巻圏域 ( 55.0 点 ) が 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、仙台圏域 ( 12.5 点 )、登米圏域 ( 12.5 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域 ( 12.5 点 )、大崎圏域 ( 12.5 点 )、栗原圏域 ( 12.5 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きく、登米圏域 ( 7.5 点 )、石巻圏域 ( 7.5 点 ) の 2 圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域 ( 77.5 点 ) が回答者全体 ( 70.0 点 ) よりも 7.5 ポイント、大崎圏域 ( 75.0 点 ) が 5 ポイント高く、石巻圏域 ( 60.0 点 ) が 10 ポイント低い。

満足度の中央値は、石巻圏域 ( 50.0 点 ) が回答者全体 ( 60.0 点 ) よりも 10 ポイント、仙南圏域 ( 55.0 点 ) が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙台圏域 ( 12.5 点 )、栗原圏域 ( 12.5 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 10.6 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きく、登米圏域 ( 8.8 点 )、石巻圏域 ( 8.1 点 )、仙南圏域 ( 7.5 点 ) の 3 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 ( 10.6 点 )、仙南圏域 ( 10.0 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 7.5 点 ) よりも大きく、栗原圏域 ( 5.0 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 5.0 点 ) の 2 圏域が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	75.0	80.0	75.0	75.0	75.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	50.0	55.0	55.0	50.0
	かい離	20.0	25.0	30.0	15.0	25.0	20.0	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0	50.0	45.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	25.0	10.0	15.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	85.0	80.0	80.0	85.0	85.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	65.0	60.0	70.0	65.0	65.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	10.0	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0
	満足度	10.0	12.5	10.0	12.5	12.5	7.5	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	75.0	70.0	77.5	60.0	70.0
	満足度	60.0	60.0	55.0	60.0	60.0	60.0	50.0	60.0
	かい離	10.0	10.0	15.0	15.0	10.0	17.5	10.0	10.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	65.0	60.0	65.0	62.5	58.8	58.8
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	55.0	55.0	40.0	50.0
	かい離	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	7.5	18.8	8.8
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	85.0	80.0	80.0	90.0	80.0	75.0	80.0
	満足度	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	70.0	61.3	60.0
	かい離	15.0	20.0	15.0	15.0	25.0	10.0	13.8	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	7.5	10.0	12.5	8.8	8.1	10.6
	満足度	7.5	7.5	10.0	7.5	5.0	7.5	10.6	5.0



#### 4. 政策 23 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

- 第 1 位は施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」(31.3%) である。
- 第 2 位は施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」(29.8%) である。
- 第 3 位は施策 2 「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」(17.6%) である。

市町村職員では、

- 第 1 位は施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」(33.9%) である。
- 第 2 位は施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」(21.3%) である。
- 第 3 位は施策 2 「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」(19.5%) である。

学識者では、

- 第 1 位は施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」(31.3%) である。
- 第 2 位は施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」(28.4%) である。
- 第 3 位は施策 5 「生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実」(17.9%) である。

性別

一般県民では、

- 第 1 位は、男性では施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」、女性では施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」である。
- 第 2 位は、男性では施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」、女性では施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」である。
- 第 3 位は、男性女性とも、施策 2 「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

- 第 1 位は、65 歳未満では施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」、65 歳以上では施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」である。
- 第 2 位は、65 歳未満では施策 4 「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」、65 歳以上では施策 2 「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」である。
- 第 3 位は、65 歳未満では施策 5 「生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実」、65 歳以上では施策 1 「多様なニーズに対応した学習機会の提供」である。

#### 圏域別

一般県民では、

第1位は、仙台、仙南、大崎、登米の4圏域では施策4「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」、栗原、石巻、気仙沼・本吉の3圏域では施策1「多様なニーズに対応した学習機会の提供」である。

第2位は、仙台、仙南、大崎、登米の4圏域では施策1「多様なニーズに対応した学習機会の提供」、栗原、石巻、気仙沼・本吉の3圏域では施策4「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」である。

第3位は、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の5圏域では施策2「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」、仙台、石巻の2圏域では施策5「生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実」である。

市町村職員では、

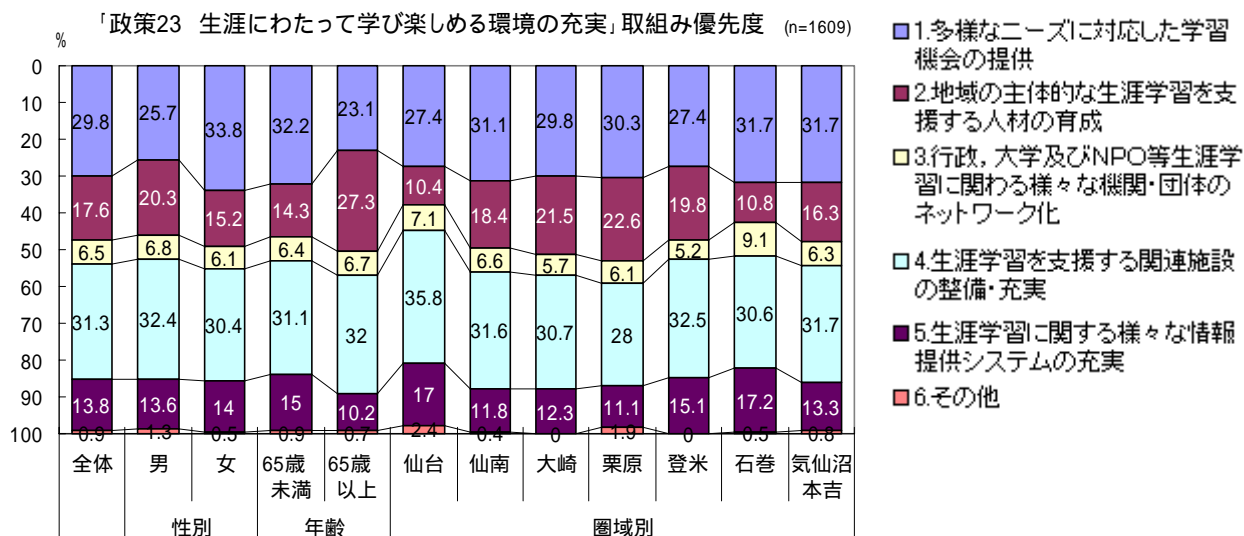
第1位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の6圏域では施策1「多様なニーズに対応した学習機会の提供」、石巻圏域では施策5「生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実」、気仙沼・本吉圏域では施策4「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」である（気仙沼・本吉圏域では施策1と施策4が共に第1位になっている）。

第2位は、大崎、登米、石巻に3圏域では施策2「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」、仙台、仙南の2圏域では施策4「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」、栗原圏域では施策6「その他」、登米圏域では施策3「行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク化」である（登米圏域では施策2と施策3が共に第2位になっている）。

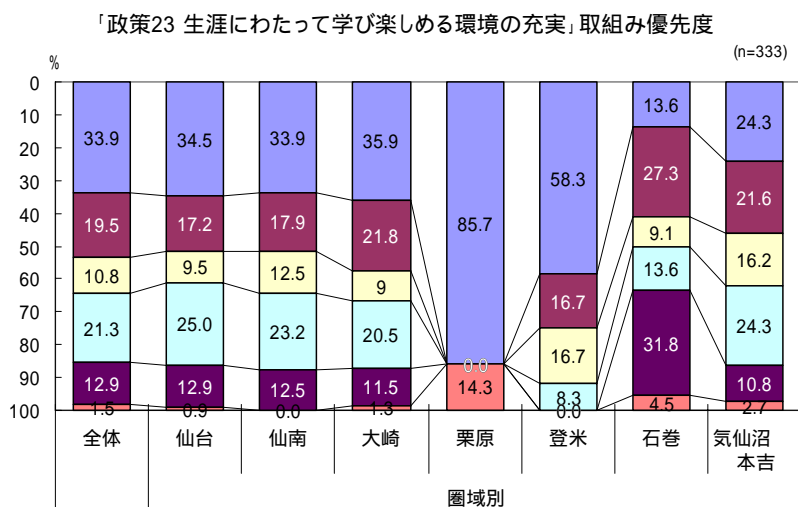
第3位は、仙台、仙南、栗原、気仙沼・本吉の4圏域では施策2「地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成」、大崎、栗原、石巻の3圏域では施策4「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」、栗原圏域では施策3「行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク化」と施策5「生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実」、石巻圏域では施策1「多様なニーズに対応した学習機会の提供」である（栗原圏域では施策2、施策3、施策4、施策5が、石巻圏域では施策1と施策4が、共に第3位であった）。

政策 23 「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」

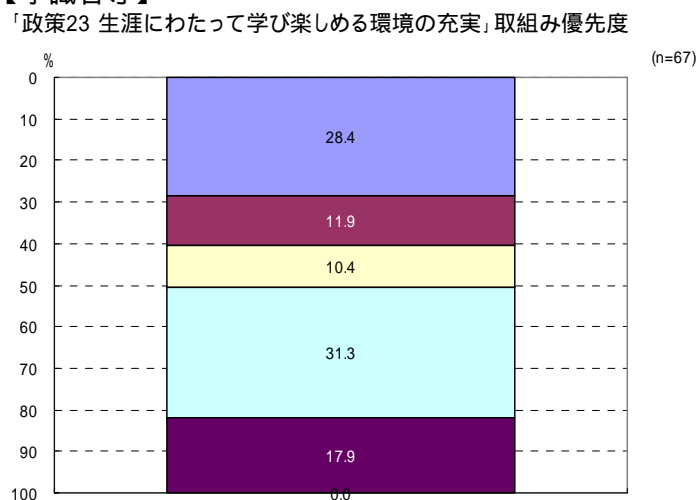
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 23 「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.多様なニーズに対応した学習機会の提供	29.8	25.7	33.8	32.2	23.1	27.4	31.1	29.8	30.3	27.4	31.7	31.7
2	2.地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成	17.6	20.3	15.2	14.3	27.3	10.4	18.4	21.5	22.6	19.8	10.8	16.3
3	3.行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク	6.5	6.8	6.1	6.4	6.7	7.1	6.6	5.7	6.1	5.2	9.1	6.3
4	4.生涯学習を支援する関連施設の整備・充実	31.3	32.4	30.4	31.1	32.0	35.8	31.6	30.7	28.0	32.5	30.6	31.7
5	5.生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実	13.8	13.6	14.0	15.0	10.2	17.0	11.8	12.3	11.1	15.1	17.2	13.3
6	6.その他	0.9	1.3	0.5	0.9	0.7	2.4	0.4	0.0	1.9	0.0	0.5	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.多様なニーズに対応した学習機会の提供	33.9	34.5	33.9	35.9	85.7	58.3	13.6	24.3
2	2.地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成	19.5	17.2	17.9	21.8	0.0	16.7	27.3	21.6
3	3.行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク	10.8	9.5	12.5	9.0	0.0	16.7	9.1	16.2
4	4.生涯学習を支援する関連施設の整備・充実	21.3	25.0	23.2	20.5	0.0	8.3	13.6	24.3
5	5.生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実	12.9	12.9	12.5	11.5	0.0	0.0	31.8	10.8
6	6.その他	1.5	0.9	0.0	1.3	14.3	0.0	4.5	2.7

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.多様なニーズに対応した学習機会の提供	28.4
2	2.地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成	11.9
3	3.行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク	10.4
4	4.生涯学習を支援する関連施設の整備・充実	31.3
5	5.生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実	17.9
6	6.その他	0.0



## 政策 24 「男女共同参画社会の実現と全ての人に参加できる社会の形成」

政策 24 「男女共同参画社会の実現と全ての人に参加できる社会の形成」は、家庭、地域、職場などあらゆる場面において、性別や年齢、障害の有無などに関係なく、一人ひとりの個性や能力を十分に発揮できる社会の実現を目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 24 の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 32.9%、低認知度群は 67.0%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（32.8%）が女性（32.3%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（42.3%）が 65 歳未満（29.1%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、石巻圏域（26.2%）では、回答者全体と比較して 6.7 ポイント低い。

（%）

政策 24 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.8	30.1	32.9	54.1	12.9	67.0	100.0

性別	男性	3.3	29.5	32.8	53.9	13.3	67.2	100.0
	女性	2.3	30.0	32.3	55.1	12.7	67.8	100.0
年齢別	65 歳未満	2.4	26.7	29.1	56.6	14.4	71.0	100.0
	65 歳以上	3.9	38.4	42.3	48.7	9.0	57.7	100.0

圏域別	仙台	2.8	30.0	32.8	53.5	13.6	67.1	100.0
	仙南	3.9	29.7	33.6	52.4	14.0	66.4	100.0
	大崎	2.6	33.0	35.6	52.9	11.5	64.4	100.0
	栗原	3.5	32.4	35.9	52.1	12.0	64.1	100.0
	登米	2.7	30.1	32.8	54.3	12.8	67.1	100.0
	石巻	2.1	24.1	26.2	59.9	13.9	73.8	100.0
	気仙沼・本吉	1.7	28.3	30.0	57.1	12.9	70.0	100.0

有効回答者数 1,616 名

政策 24 「男女共同参画社会の実現と  
全ての人に参加できる社会の形成」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 49.1%、低認知度群は 50.9%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

登米圏域（75.0%）では、回答者全体と比較して 25.9 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（39.1%）では 10 ポイント、栗原圏域（42.9%）  
では 6.2 ポイント、仙台圏域（44.0%）では 5.1 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 61.8%、低認知度群は 38.2%である。

(%)

政策 24 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度 知っていた		あまり知ら なかった	知らなかった			
市町村職員全体	5.5	43.6	49.1	46.7	4.2	50.9	100.0	
圏 域 別	仙台	7.8	36.2	44.0	50.9	5.2	56.1	100.0
	仙南	3.6	47.3	50.9	43.6	5.5	49.1	100.0
	大崎	6.7	46.7	53.4	42.7	4.0	46.7	100.0
	栗原	14.3	28.6	42.9	57.1	0.0	57.1	100.0
	登米	0.0	75.0	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0
	石巻	4.3	34.8	39.1	52.2	8.7	60.9	100.0
	気山沼・本吉	0.0	52.6	52.6	47.4	0.0	47.4	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	4.4	57.4	61.8	35.3	2.9	38.2	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

## 2. 政策 24 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 79.2%、低関心度群は 20.9%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性（82.0%）が男性（75.7%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（84.8%）が 65 歳未満（77.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

大崎圏域（84.5%）では、回答者全体と比較して 5.3 ポイント高い。

石巻圏域（73.7%）では、回答者全体と比較して 5.5 ポイント低い。

(%)

政策 24 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があつた	ある程度関心があつた		あまり関心 がなかつた	関心が なかつた		
一般県民全体	25.0	54.2	79.2	18.7	2.2	20.9	100.0

性別	男性	21.9	53.8	75.7	21.8	2.5	24.3	100.0
	女性	27.2	54.8	82.0	16.2	1.9	18.1	100.0
年齢別	65 歳未満	22.0	55.0	77.0	21.0	2.0	23.0	100.0
	65 歳以上	32.5	52.3	84.8	12.6	2.6	15.2	100.0

圏域別	仙台	25.5	50.5	76.0	21.3	2.8	24.1	100.0
	仙南	26.2	52.3	78.5	19.4	2.1	21.5	100.0
	大崎	25.4	59.1	84.5	14.7	0.9	15.6	100.0
	栗原	26.8	53.2	80.0	18.5	1.5	20.0	100.0
	登米	25.2	55.9	81.1	16.2	2.7	18.9	100.0
	石巻	17.6	56.1	73.7	24.1	2.1	26.2	100.0
	気山沼・本吉	24.3	53.1	77.4	20.2	2.5	22.7	100.0

有効回答者数 1,647 名



政策 24 「男女共同参画社会の実現と  
全ての人に参加できる社会の形成」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 66.4%、低関心度群は 33.6%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(85.7%)では 19.3 ポイント、登米圏域(83.3%)  
では 16.9 ポイント、仙南圏域(78.6%)では 12.2 ポイント、気仙沼・本吉圏域(73.7%)  
では 7.3 ポイント高い。

石巻圏域(43.4%)では、回答者全体と比較して 23.0 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 92.7%、低関心度群は 7.4%である。

(%)

政策 24 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	13.5	52.9	66.4	29.1	4.5	33.6	100.0	
圏 域 別	仙台	15.4	61.6	32.5	6.0	38.5	100.0	
	仙南	12.5	66.1	17.9	3.6	21.5	100.0	
	大崎	7.9	56.6	64.5	32.9	2.6	35.5	100.0
	栗原	28.6	57.1	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	25.0	58.3	83.3	8.3	8.3	16.6	100.0
	石巻	4.3	39.1	43.4	43.5	13.0	56.5	100.0
	気仙沼・本吉	18.4	55.3	73.7	26.3	0.0	26.3	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	26.5	66.2	92.7	5.9	1.5	7.4	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 68 名

### 3. 政策 24 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 43.0%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.1%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 28.4%と推定できる。

政策 24 「男女共同参画社会の実現と  
全ての人に参加できる社会の形成」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	15.8	(84.2)
満足度 60点未満の割合		58.8
要検討領域にある回答者全体の割合		43.0

有効回答者数；重視度 1,621人、満足度 1,604人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	1621	1604
	欠損値	100	117
平均値		72.14	51.11
平均値の標準誤差		.421	.429
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.949	17.168
分散		287.267	294.744
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	20.8	(79.2)
満足度 60点未満の割合		53.9
要検討領域にある回答者全体の割合		33.1

有効回答者数；重視度 337人、満足度 336人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	337	336
	欠損値	1	2
平均値		66.91	53.56
平均値の標準誤差		.939	.838
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.242	15.354
分散		297.293	235.746
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	60.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	65.0	50.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	70.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.4	(86.6)
満足度 60点未満の割合		41.8
要検討領域にある回答者全体の割合		28.4

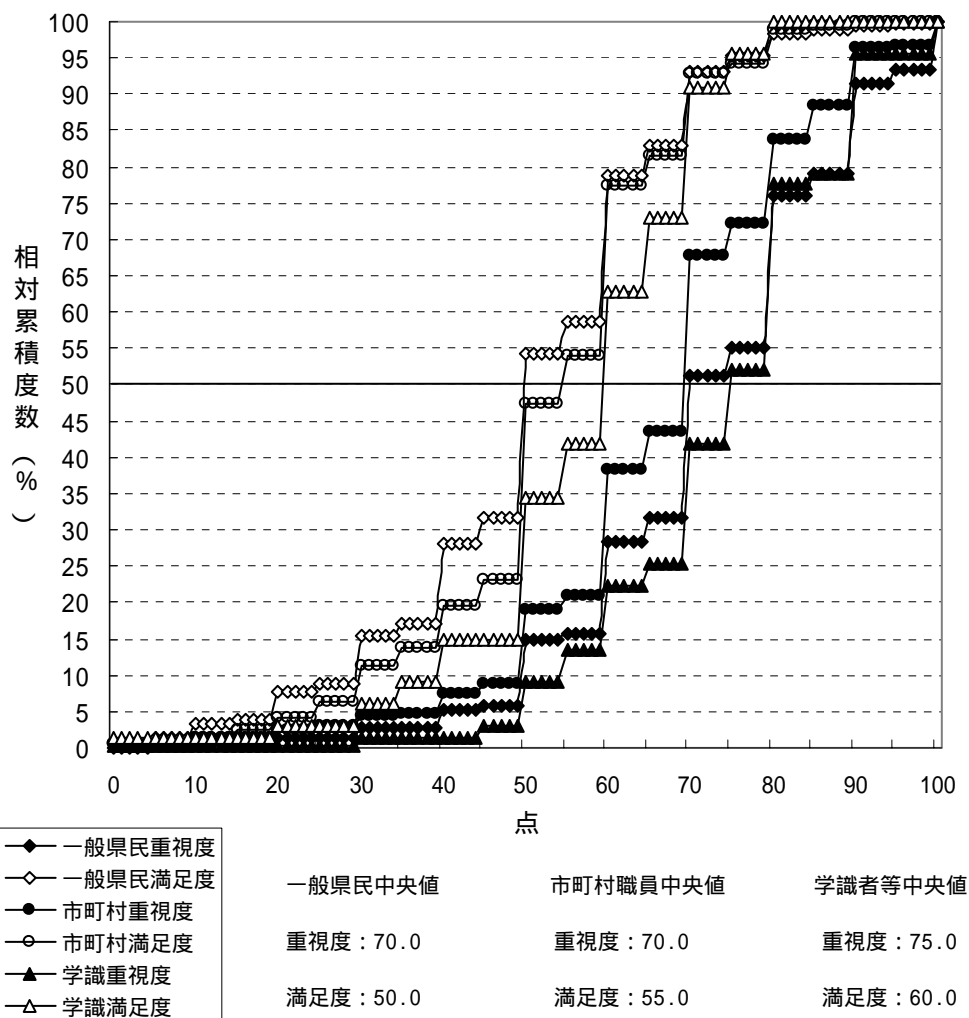
有効回答者数；重視度 67人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	67	67
	欠損値	2	2
平均値		74.03	57.46
平均値の標準誤差		1.732	1.683
中央値		75.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		14.175	13.772
分散		200.938	189.677
範囲		70	65
最小値		30	15
最大値		100	80
パーセントイル	25	65.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	75.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	70.00

政策 24 「男女共同参画社会の実現と  
 全ての人に参加できる社会の形成」

「政策24 男女共同参画社会の実現と全ての人に参加できる社会の形成」



### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、女性(75.0点)が男性(70.0点)よりも高い。

満足度の中央値は、男性女性ともに50.0点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、女性(25.0点)が男性(20.0点)よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、女性(12.5点)が男性(10.0点)寄りも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性女性共に10.0点で同じである

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性43.7%、女性42.6%と推定できる。

#### 中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値(点)

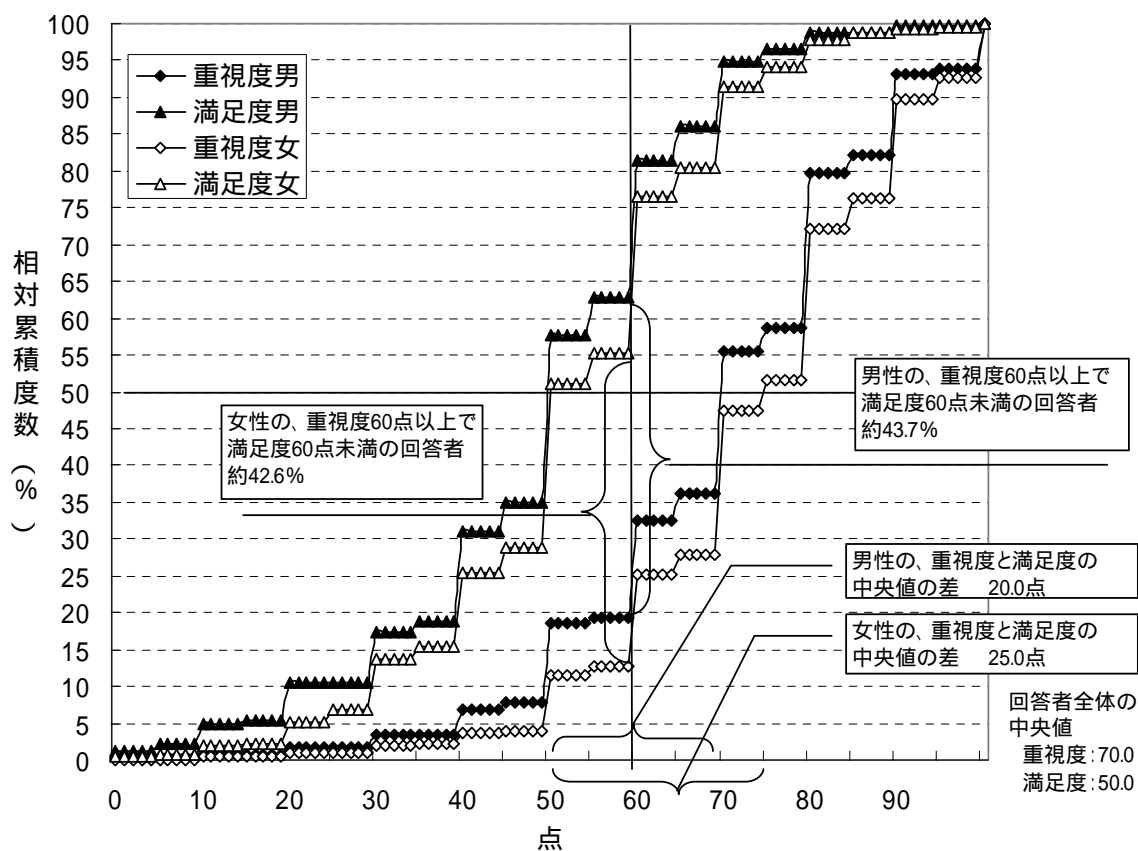
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	75.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	25.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	19.2 (80.8)	12.7 (87.3)
満足度 60点未満の割合	62.9	55.3
要検討領域にある回答者全体の割合	43.7	42.6

政策 24 「男女共同参画社会の実現と  
全ての人に参加できる社会の形成」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	771	762
	欠損値	32	41
平均値		70.14	49.33
平均値の標準誤差		.635	.637
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.618	17.577
分散		310.404	308.947
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	832	825
	欠損値	64	71
平均値		73.92	52.75
平均値の標準誤差		.561	.577
中央値		75.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.180	16.583
分散		261.808	275.008
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	60.00

### 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満（70.0 点）が 65 歳以上（80.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（20.0 点）が 65 歳以上（25.0 点）よりも小さい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 44.1%、65 歳以上 40.3%と推定できる。

#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

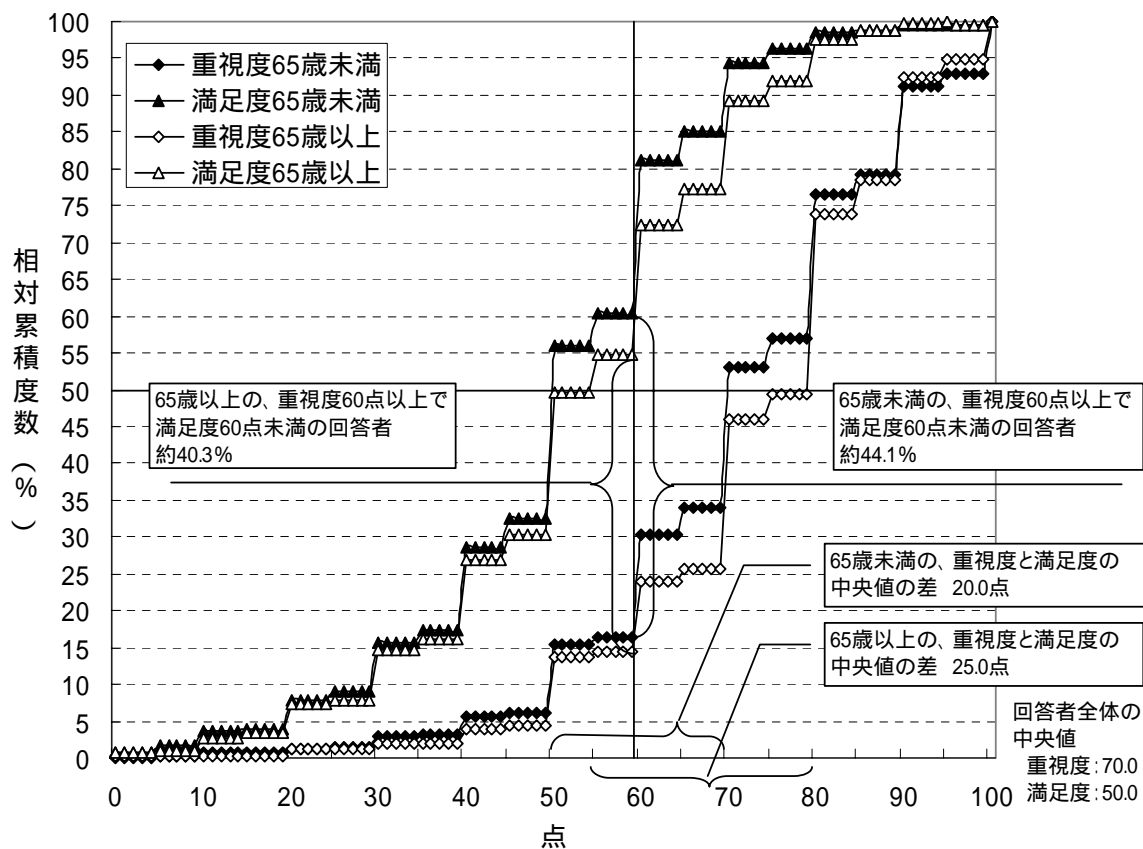
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	25.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	25.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	16.3 (83.7)	14.4 (85.6)
満足度 60 点未満の割合	60.4	54.7
要検討領域にある回答者全体の割合	44.1	40.3

政策 24 「男女共同参画社会の実現と  
全ての人が参加できる社会の形成」

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	1199	1188
	欠損値	41	52
平均値		71.61	50.49
平均値の標準誤差		.498	.491
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.259	16.920
分散		297.866	286.299
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	402	397
	欠損値	55	60
平均値		73.58	52.90
平均値の標準誤差		.804	.890
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.112	17.740
分散		259.581	314.694
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	65.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00



### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、大崎圏域 ( 80.0 点 ) が回答者全体 ( 70.0 点 ) よりも 10 ポイント、仙南圏域 ( 75.0 点 )、栗原圏域 ( 75.0 点 ) の 2 圏域が 5 ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域 ( 60.0 点 ) が回答者全体 ( 50.0 点 ) よりも 10 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域 ( 12.5 点 )、登米圏域 ( 12.5 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 ( 7.5 点 ) が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、石巻圏域 ( 60.0 点 ) が回答者全体 ( 70.0 点 ) よりも 10 ポイント、栗原圏域 ( 65.0 点 ) が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域 ( 60.0 点 )、栗原圏域 ( 60.0 点 )、登米圏域 ( 60.0 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 55.0 点 ) よりも 5 ポイント高く、仙南圏域 ( 50.0 点 )、石巻圏域 ( 50.0 点 ) の 2 圏域が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域 ( 15.0 点 ) が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きく、登米圏域 ( 9.4 点 ) が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 ( 15.0 点 )、仙台圏域 ( 8.8 点 )、仙南圏域 ( 7.5 点 )、栗原圏域 ( 7.5 点 )、大崎圏域 ( 5.6 点 )、登米圏域 ( 5.6 点 ) の 6 圏域が回答者全体 ( 5.0 点 ) よりも大きい。

政策 24 「男女共同参画社会の実現と  
全ての人に参加できる社会の形成」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	75.0	80.0	75.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	25.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0	20.0	15.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	85.0	80.0	85.0	85.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	25.0	25.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0	70.0	60.0	70.0
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	60.0	60.0	50.0	57.5
	かい離	15.0	15.0	20.0	10.0	5.0	10.0	10.0	12.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	50.0	60.0
	満足度	50.0	45.0	45.0	50.0	50.0	56.3	30.0	50.0
	かい離	10.0	15.0	15.0	10.0	10.0	3.8	20.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	78.8	70.0	80.0
	満足度	60.0	62.5	60.0	61.3	65.0	67.5	60.0	60.0
	かい離	20.0	17.5	20.0	18.8	25.0	11.3	10.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0	9.4	10.0	10.0
	満足度	5.0	8.8	7.5	5.6	7.5	5.6	15.0	5.0

#### 4. 政策 24 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」(37.5%)である。

第 2 位は施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」(25.4%)である。

第 3 位は施策 5 「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」(21.9%)である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」(47.3%)である。

第 2 位は施策 2 「青少年の社会参加」(17.6%)である。

第 3 位は施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」(16.1%)である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」(39.7%)である。

第 2 位は施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」(27.9%)である。

第 3 位は施策 2 「青少年の社会参加」(11.8%)である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性女性とも、施策 1 「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」である。

第 2 位は、男性では施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」、女性では施策 5 「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」である。

第 3 位は、男性では施策 5 「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」、女性では施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 1 「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」、65 歳以上では施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 5 「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」、65 歳以上では施策 1 「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」、65 歳以上では施策 5 「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」である。

#### 圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 1「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」である。

第 2 位は、仙台、仙南、栗原、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 4「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」、大崎、石巻の 2 圏域では施策 5「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」である。

第 3 位は、仙台、仙南、栗原、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 5「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」、大崎、石巻の 2 圏域では施策 4「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」である。

市町村職員では、

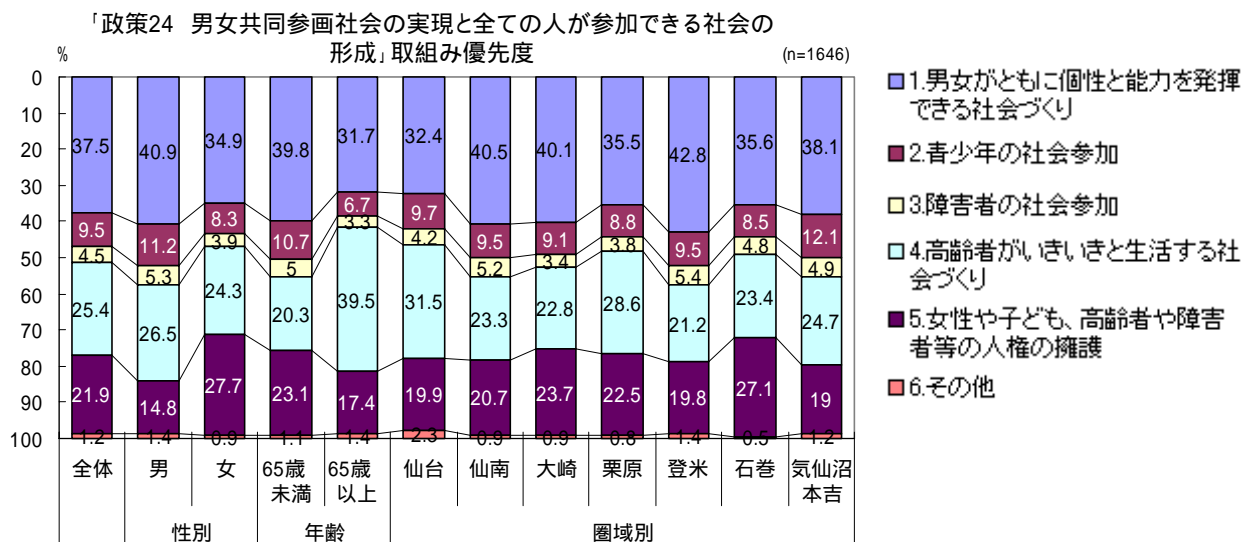
第 1 位は、全圏域とも施策 1「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」である。

第 2 位は、仙台、仙南、栗原、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 2「青少年の社会参加」、仙南、大崎、栗原、石巻の 4 圏域では施策 4「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」、栗原圏域では施策 3「障害者の社会参加」である（仙南圏域では施策 2 と施策 4 が、栗原圏域では施策 2 と施策 3 と施策 4 が共に第 2 位になっている）。

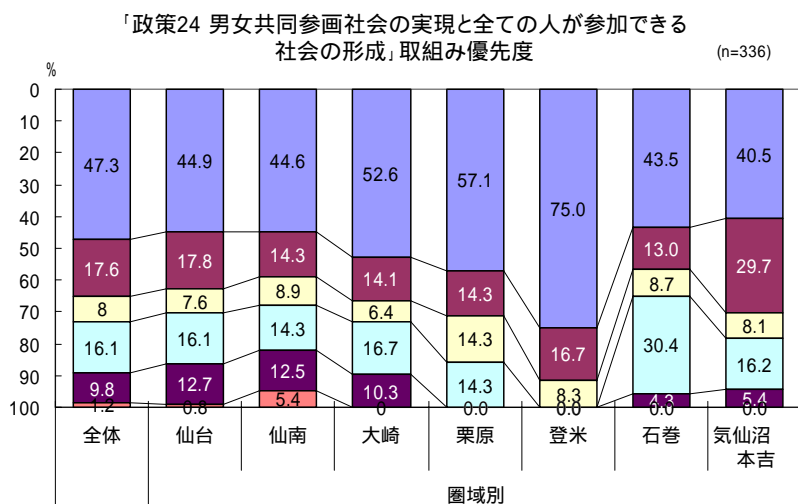
第 3 位は、仙台、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 4「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」、大崎、石巻の 2 圏域では施策 2「青少年の社会参加」、登米圏域では施策 3「障害者の社会参加」である。

政策 24 「男女共同参画社会の実現と  
全ての人が参加できる社会の形成」

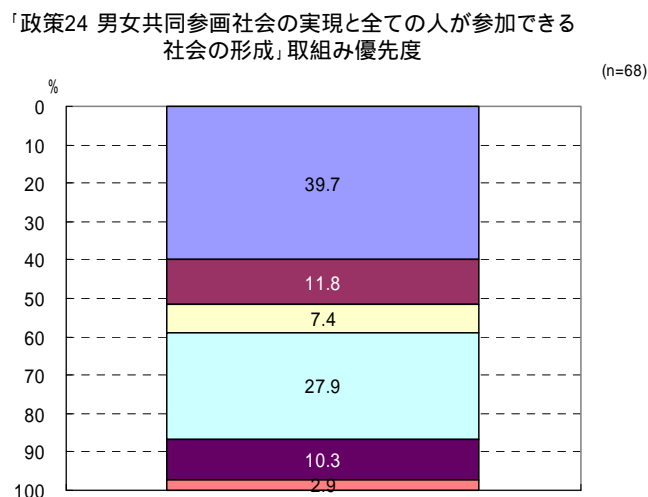
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 24 「男女共同参画社会の実現と  
全ての人に参加できる社会の形成」

【一般県民】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳 未満	65歳 以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり	37.5	40.9	34.9	39.8	31.7	32.4	40.5	40.1	35.5	42.8	35.6	38.1
2	2.青少年の社会参加	9.5	11.2	8.3	10.7	6.7	9.7	9.5	9.1	8.8	9.5	8.5	12.1
3	3.障害者の社会参加	4.5	5.3	3.9	5.0	3.3	4.2	5.2	3.4	3.8	5.4	4.8	4.9
4	4.高齢者がいきいきと生活する社会づくり	25.4	26.5	24.3	20.3	39.5	31.5	23.3	22.8	28.6	21.2	23.4	24.7
5	5.女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護	21.9	14.8	27.7	23.1	17.4	19.9	20.7	23.7	22.5	19.8	27.1	19.0
6	6.その他	1.2	1.4	0.9	1.1	1.4	2.3	0.9	0.9	0.8	1.4	0.5	1.2

【市町村職員】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり	47.3	44.9	44.6	52.6	57.1	75.0	43.5	40.5
2	2.青少年の社会参加	17.6	17.8	14.3	14.1	14.3	16.7	13.0	29.7
3	3.障害者の社会参加	8.0	7.6	8.9	6.4	14.3	8.3	8.7	8.1
4	4.高齢者がいきいきと生活する社会づくり	16.1	16.1	14.3	16.7	14.3	0.0	30.4	16.2
5	5.女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護	9.8	12.7	12.5	10.3	0.0	0.0	4.3	5.4
6	6.その他	1.2	0.8	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体
1	1.男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり	39.7
2	2.青少年の社会参加	11.8
3	3.障害者の社会参加	7.4
4	4.高齢者がいきいきと生活する社会づくり	27.9
5	5.女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護	10.3
6	6.その他	2.9

政策 24 「男女共同参画社会の実現と  
全ての人に参加できる社会の形成」

## 政策 25 「実り豊かなスポーツライフの実現」

政策 25 「実り豊かなスポーツライフの実現」は、県民の誰もが、スポーツのもつ素晴らしさを実感し、生涯にわたって様々な形でスポーツに親しみ、充実したスポーツライフを遅れる「県民総スポーツ社会」の実現を目指す様々な施策で構成されている。

## 1. 政策 25 の認知度

## 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 34.4%、低認知度群は 65.5%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（38.2%）が女性（30.6%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（48.0%）が 65 歳未満（29.3%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

石巻圏域（28.5%）では、回答者全体と比較して 5.9 ポイント低い。

（%）

政策 25 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.7	30.7	34.4	51.0	14.5	65.5	100.0

性別	男性	4.1	34.1	38.2	48.6	13.3	61.9	100.0
	女性	3.3	27.3	30.6	53.6	15.8	69.4	100.0
年齢別	65 歳未満	2.0	27.3	29.3	54.8	15.9	70.7	100.0
	65 歳以上	8.4	39.6	48.0	41.1	10.9	52.0	100.0

圏域別	仙台	4.3	26.2	30.5	53.3	16.2	69.5	100.0
	仙南	3.9	31.3	35.2	51.1	13.7	64.8	100.0
	大崎	7.1	31.4	38.5	48.2	13.3	61.5	100.0
	栗原	3.8	32.7	36.5	47.1	16.3	63.4	100.0
	登米	3.3	35.1	38.4	46.0	15.6	61.6	100.0
	石巻	1.6	26.9	28.5	58.2	13.2	71.4	100.0
	気仙沼・本吉	1.7	30.1	31.8	55.1	13.1	68.2	100.0

有効回答者数 1,602 名



政策 25 「実り豊かなスポーツライフの実現」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 45.6%、低認知度群は 54.4%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（75.0%）が 29.4 ポイント、栗原圏域（57.1%）が 11.5 ポイント高い。

学識等全体における高認知度群は 46.3%、低認知度群は 53.8%である。

(%)

政策 25 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	4.9	40.7	45.6	45.4	9.0	54.4	100.0	
圏 域 別	仙台	5.4	36.6	42.0	46.4	11.6	58.0	100.0
	仙南	3.7	37.0	40.7	50.0	9.3	59.3	100.0
	大崎	5.3	38.7	44.0	49.3	6.7	56.0	100.0
	栗原	0.0	57.1	57.1	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	0.0	75.0	75.0	16.7	8.3	25.0	100.0
	石巻	9.1	40.9	50.0	31.8	18.2	50.0	100.0
	気山沼・本吉	5.3	44.7	50.0	47.4	2.6	50.0	100.0

有効回答者数 324 名

学識者等全体	6.0	40.3	46.3	49.3	4.5	53.8	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

## 2. 政策 25 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 67.5%、低関心度群は 32.5%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（70.6%）が女性（64.7%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（75.6%）が 65 歳未満（64.6%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

石巻圏域（61.3%）では、回答者全体と比較して 6.2 ポイント低い。

(%)

政策 25 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	17.9	49.6	67.5	26.8	5.7	32.5	100.0

性別	男性	20.3	50.3	70.6	24.2	5.3	29.5	100.0
	女性	15.5	49.2	64.7	29.2	6.0	35.2	100.0
年齢別	65 歳未満	14.9	49.7	64.6	29.4	6.0	35.4	100.0
	65 歳以上	26.1	49.5	75.6	19.6	4.8	24.4	100.0

圏 域 別	仙台	21.5	50.9	72.4	23.4	4.2	27.6	100.0
	仙南	18.6	49.2	67.8	28.0	4.2	32.2	100.0
	大崎	19.0	50.6	69.6	22.9	7.4	30.3	100.0
	栗原	18.1	48.7	66.8	26.9	6.3	33.2	100.0
	登米	19.6	49.5	69.1	25.2	5.6	30.8	100.0
	石巻	15.1	46.2	61.3	33.3	5.4	38.7	100.0
	気山沼・本吉	13.6	52.1	65.7	28.9	5.4	34.3	100.0

有効回答者数 1,637 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 66.1%、低関心度群は 33.9%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（75.0%）では 8.9 ポイント、大崎圏域（72.0%）では 5.9 ポイント、栗原圏域（71.4%）では 5.3 ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域（55.3%）では、回答者全体と比較して 10.8 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 71.6%、低関心度群は 28.4%である。

(%)

政策 25 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	14.6	51.5	66.1	29.9	4.0	33.9	100.0	
圏 域 別	仙台	17.5	49.1	66.6	28.9	4.4	33.3	100.0
	仙南	16.4	47.3	63.7	34.5	1.8	36.3	100.0
	大崎	14.7	57.3	72.0	25.3	2.7	28.0	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	16.7	58.3	75.0	16.7	8.3	25.0	100.0
	石巻	13.6	54.5	68.1	13.6	18.2	31.8	100.0
	気仙沼・本吉	7.9	47.4	55.3	44.7	0.0	44.7	100.0

有効回答者数 328 名

学識者等全体	31.3	40.3	71.6	26.9	1.5	28.4	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

### 3. 政策 25 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 32.5%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 28.2%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 20.3%と推定できる。

政策 25 「実り豊かなスポーツライフの実現」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	45.0	15.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	22.3	(77.7)
満足度 60 点未満の割合		54.8
要検討領域にある回答者全体の割合		32.5

有効回答者数；重視度 1,599 人、満足度 1,586 人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策25重視度	政策25満足度
度数	有効	1599	1586
	欠損値	122	135
平均値		67.84	52.68
平均値の標準誤差		.434	.442
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.361	17.622
分散		301.412	310.542
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	22.6	(77.4)
満足度 60 点未満の割合		50.8
要検討領域にある回答者全体の割合		28.2

有効回答者数；重視度 327 人、満足度 325 人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策25重視度	政策25満足度
度数	有効	327	325
	欠損値	11	13
平均値		66.45	54.82
平均値の標準誤差		.934	.831
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.893	14.973
分散		285.383	224.194
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	60.0	10.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	70.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	21.2	(78.8)
満足度 60 点未満の割合		41.5
要検討領域にある回答者全体の割合		20.3

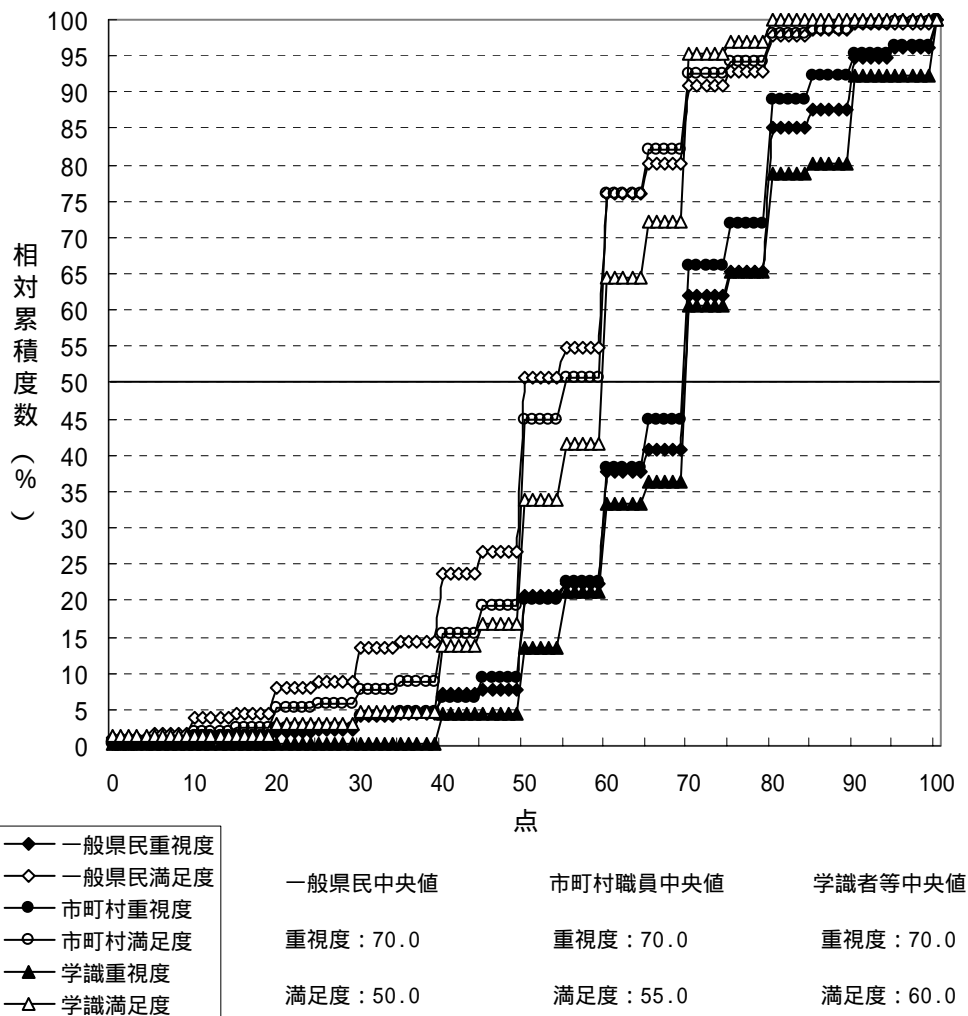
有効回答者数；重視度 66 人、満足度 65 人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策25重視度	政策25満足度
度数	有効	66	65
	欠損値	3	4
平均値		70.83	57.38
平均値の標準誤差		1.927	1.612
中央値		70.00	60.00
最頻値		70	60 <sup>a</sup>
標準偏差		15.655	12.994
分散		245.064	168.834
範囲		60	65
最小値		40	15
最大値		100	80
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	70.00	60.00
	60	71.00	60.00
	75	80.00	70.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されません。

「政策25 実り豊かなスポーツライフの実現」



### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性 (55.0 点) が男性 (50.0 点) よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性 (20.0 点) が女性 (15.0 点) よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0 点)が女性(7.5 点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 34.7%、女性 30.5%と推定できる。

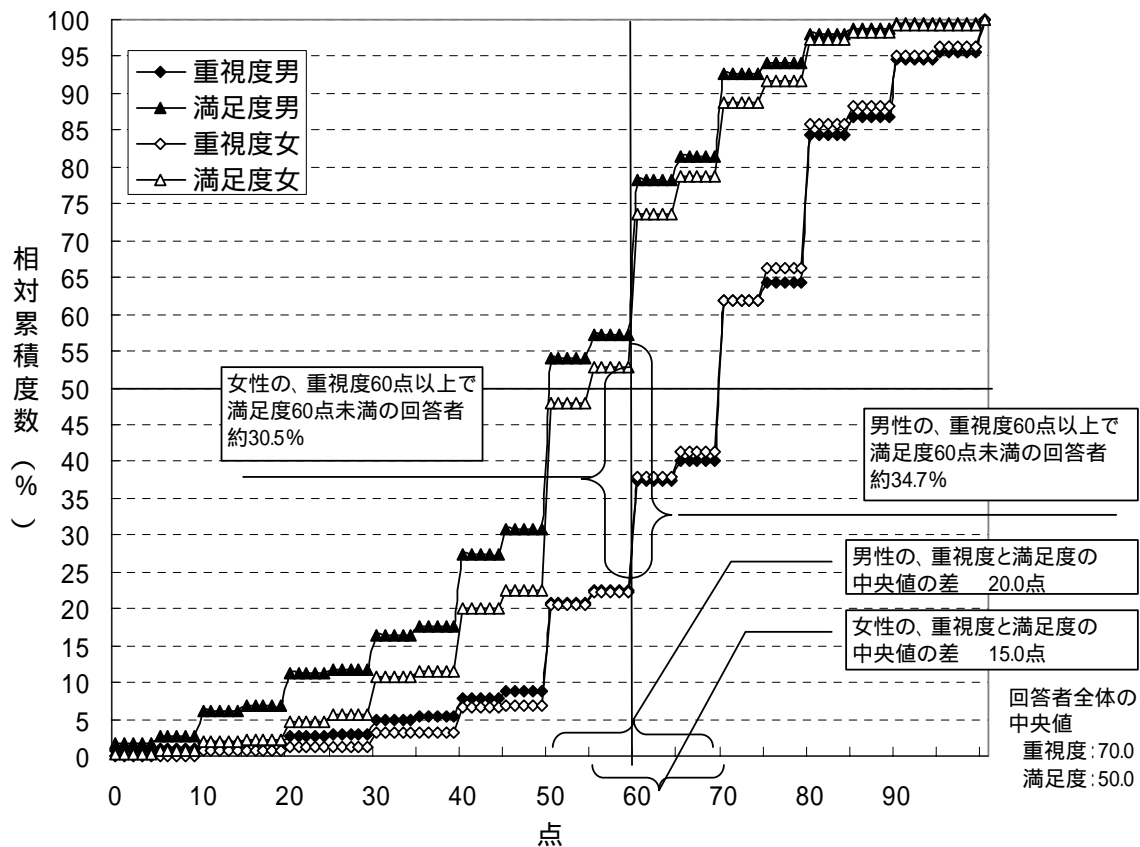
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	45.0	40.0	50.0
	かい離	15.0	20.0	10.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	7.5	10.0	7.5

#### 要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	22.5 (77.5)	22.2 (77.8)
満足度 60 点未満の割合	57.2	52.7
要検討領域にある回答者全体の割合	34.7	30.5

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策25重視度	政策25満足度
度数	有効	765	762
	欠損値	38	41
平均値		67.71	50.68
平均値の標準誤差		.661	.679
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.271	18.744
分散		333.834	351.349
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	67.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策25重視度	政策25満足度
度数	有効	816	807
	欠損値	80	89
平均値		68.03	54.62
平均値の標準誤差		.574	.574
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.389	16.295
分散		268.611	265.521
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	65.00



### 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（60.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（20.0 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（7.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 32.3%、65 歳以上 33.4%と推定できる。

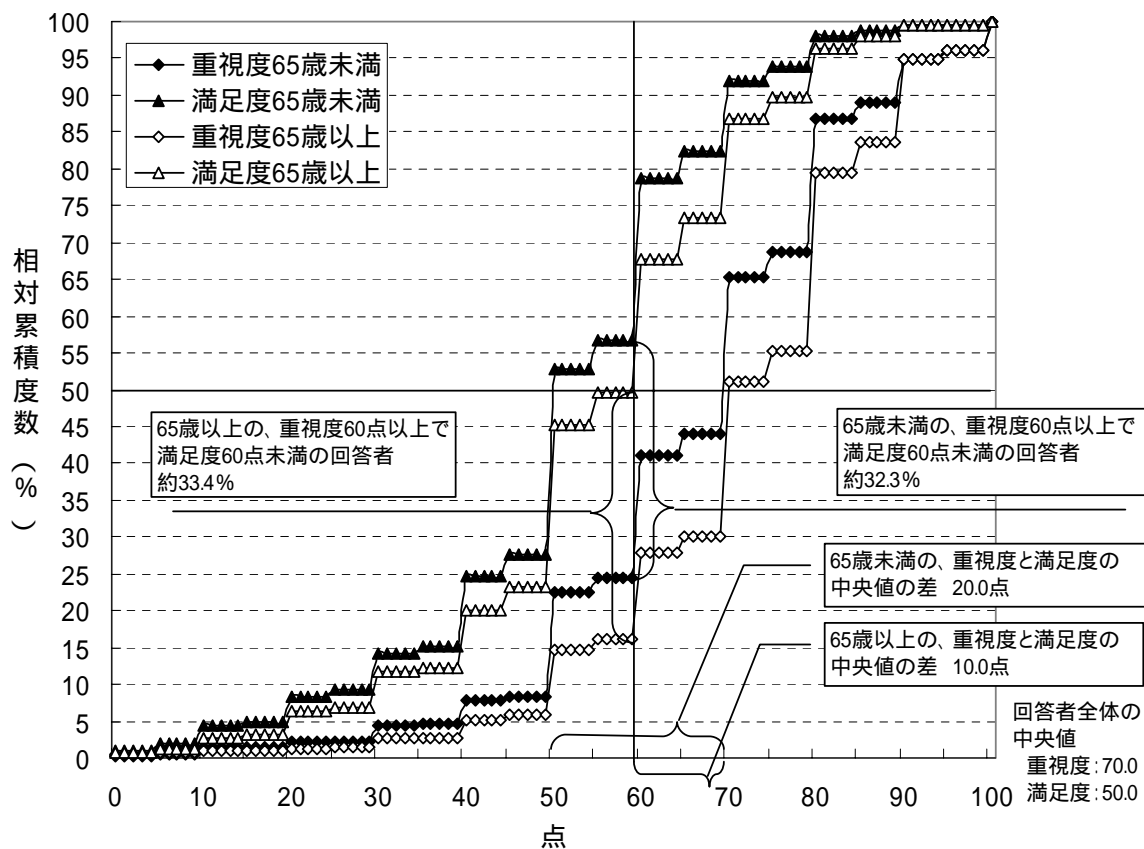
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	10.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	45.0	45.0	50.0
	かい離	15.0	15.0	10.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	10.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	7.5	7.5	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	24.4 (75.6)	16.2 (83.8)
満足度 60 点未満の割合	56.7	49.6
要検討領域にある回答者全体の割合	32.3	33.4

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策25重視度	政策25満足度
度数	有効	1184	1174
	欠損値	56	66
平均値		66.69	51.83
平均値の標準誤差		.507	.512
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.432	17.548
分散		303.871	307.939
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策25重視度	政策25満足度
度数	有効	395	393
	欠損値	62	64
平均値		71.41	55.28
平均値の標準誤差		.832	.892
中央値		70.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.537	17.690
分散		273.465	312.932
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	70.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 ( 70.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、大崎圏域 ( 60.0 点 ) が回答者全体 ( 50.0 点 ) よりも 10 ポイント、栗原圏域 ( 55.0 点 )、登米圏域 ( 55.0 点 ) の 2 圏域が 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域 ( 15.0 点 ) が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域 ( 11.9 点 )、仙南圏域 ( 10.0 点 )、大崎圏域 ( 10.0 点 )、登米圏域 ( 10.0 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 10.0 点 ) の 5 圏域が回答者全体 ( 7.5 点 ) よりも大きく、石巻圏域 ( 5.0 点 ) が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域 ( 65.0 点 ) が回答者全体 ( 70.0 点 ) よりも 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、仙台圏域 ( 60.0 点 )、大崎圏域 ( 60.0 点 )、栗原圏域 ( 60.0 点 )、登米圏域 ( 60.0 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 60.0 点 ) の 5 圏域が回答者全体 ( 55.0 点 ) よりも大きく、仙南圏域 ( 50.0 点 )、石巻圏域 ( 50.0 点 ) の 2 圏域が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域 ( 15.0 点 )、仙台圏域 ( 13.1 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 12.5 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きく、登米圏域 ( 9.4 点 )、栗原圏域 ( 2.5 点 ) の 2 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 ( 13.8 点 )、栗原圏域 ( 10.0 点 )、仙南圏域 ( 7.5 点 )、大崎圏域 ( 7.5 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 7.5 点 )、仙台圏域 ( 6.9 点 ) の 6 圏域が回答者全体 ( 5.0 点 ) よりも大きく、登米圏域 ( 4.4 点 ) が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	55.0	55.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	10.0	15.0	15.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	50.0	60.0
	満足度	45.0	40.0	40.0	45.0	50.0	50.0	50.0	40.0
	かい離	15.0	20.0	20.0	15.0	10.0	10.0	0.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	63.8	60.0	65.0	65.0	70.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	16.3	20.0	15.0	15.0	10.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0	10.0
	満足度	7.5	11.9	10.0	10.0	7.5	10.0	5.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0	67.5	70.0
	満足度	55.0	60.0	50.0	60.0	60.0	60.0	50.0	60.0
	かい離	15.0	10.0	20.0	10.0	10.0	5.0	17.5	10.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	53.8	60.0	60.0	65.0	60.0	50.0	50.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	50.0	55.0	37.5	50.0
	かい離	10.0	3.8	15.0	10.0	15.0	5.0	12.5	0.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	70.0	78.8	80.0	75.0
	満足度	60.0	63.8	60.0	65.0	70.0	63.8	65.0	65.0
	かい離	20.0	16.3	20.0	15.0	0.0	15.0	15.0	10.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	13.1	10.0	10.0	2.5	9.4	15.0	12.5
	満足度	5.0	6.9	7.5	7.5	10.0	4.4	13.8	7.5

#### 4. 政策 25 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実」( 36.5% ) である。

第 2 位は施策 3 「地域と連携した学校体育・スポーツの推進に向けた環境の充実」( 32.0% ) である。

第 3 位は施策 4 「スポーツ施設の整備充実」( 23.2% ) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実」( 47.8% ) である。

第 2 位は施策 3 「地域と連携した学校体育・スポーツの推進に向けた環境の充実」( 30.7% ) である。

第 3 位は施策 4 「スポーツ施設の整備充実」( 13.7% ) である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実」( 41.5% ) である。

第 2 位は施策 3 「地域と連携した学校体育・スポーツの推進に向けた環境の充実」( 26.2% ) である。

第 3 位は施策 4 「スポーツ施設の整備充実」( 21.5% ) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 1 「生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実」、登米圏域では施策 3 「地域と連携した学校体育・スポーツの推進に向けた環境の充実」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 3 「地域と連携した学校体育・スポーツの推進に向けた環境の充実」、登米圏域では施策 1 「生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実」である

第 3 位は、全圏域とも施策 4 「スポーツ施設の整備充実」である。

市町村職員では、

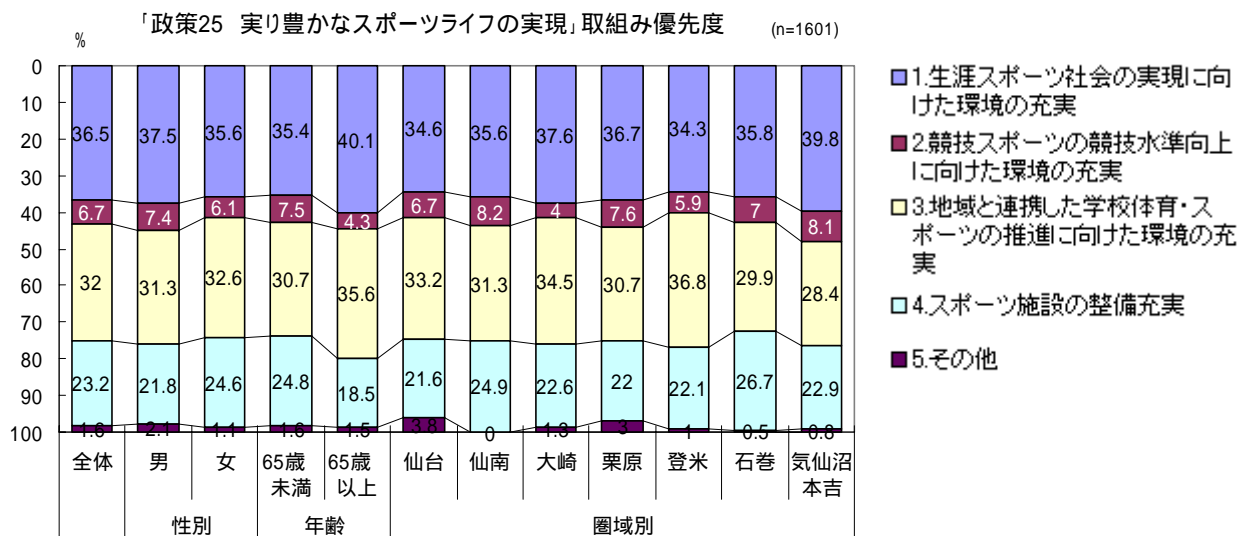
第 1 位は、全圏域とも施策 1 「生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 7 圏域では施策 3 「地域と連携した学校体育・スポーツの推進に向けた環境の充実」、栗原圏域では施策 2 「競技スポーツの競技水準向上に向けた環境の充実」である（栗原圏域では施策 2 と施策 3 が共に第 2 位になっている）。

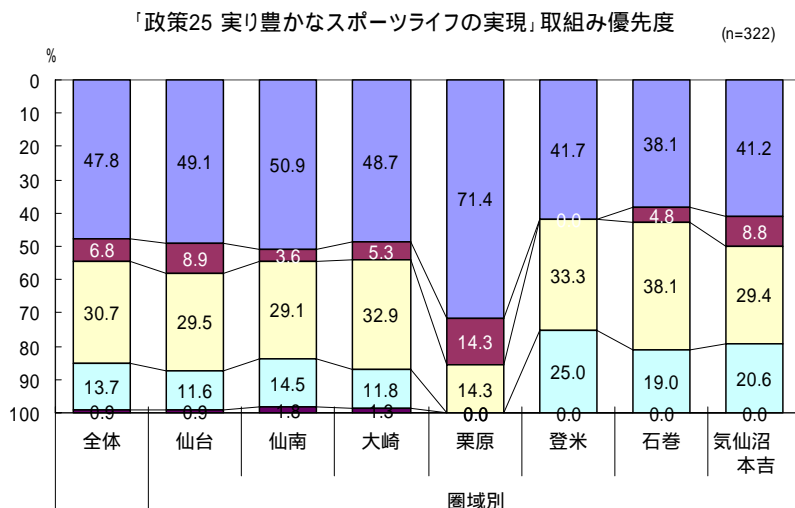
第 3 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 4 「スポーツ施設の整備充実」である。

政策 25 「実り豊かなスポーツライフの実現」

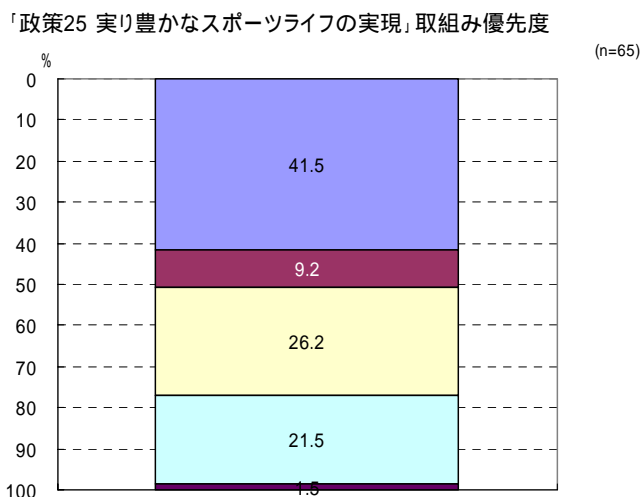
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 25 「実り豊かなスポーツライフの実現」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実	36.5	37.5	35.6	35.4	40.1	34.6	35.6	37.6	36.7	34.3	35.8	39.8
2	2.競技スポーツの競技水準向上に向けた環境の充実	6.7	7.4	6.1	7.5	4.3	6.7	8.2	4.0	7.6	5.9	7.0	8.1
3	3.地域と連携した学校体育・スポーツの推進に向けた環境の充実	32.0	31.3	32.6	30.7	35.6	33.2	31.3	34.5	30.7	36.8	29.9	28.4
4	4.スポーツ施設の整備充実	23.2	21.8	24.6	24.8	18.5	21.6	24.9	22.6	22.0	22.1	26.7	22.9
5	5.その他	1.6	2.1	1.1	1.6	1.5	3.8	0.0	1.3	3.0	1.0	0.5	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実	47.8	49.1	50.9	48.7	71.4	41.7	38.1	41.2
2	2.競技スポーツの競技水準向上に向けた環境の充実	6.8	8.9	3.6	5.3	14.3	0.0	4.8	8.8
3	3.地域と連携した学校体育・スポーツの推進に向けた環境の充実	30.7	29.5	29.1	32.9	14.3	33.3	38.1	29.4
4	4.スポーツ施設の整備充実	13.7	11.6	14.5	11.8	0.0	25.0	19.0	20.6
5	5.その他	0.9	0.9	1.8	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実	41.5
2	2.競技スポーツの競技水準向上に向けた環境の充実	9.2
3	3.地域と連携した学校体育・スポーツの推進に向けた環境の充実	26.2
4	4.スポーツ施設の整備充実	21.5
5	5.その他	1.5





## 政策 26 「地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興」

政策 26 「地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興」は、余暇時間の増大や価値観の多様化を背景として文化や芸術への関心が高まっていることを受け、地域の誇りとなる文化・芸術の振興や保存を目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 26 の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 32.2%、低認知度群は 67.9%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、女性（33.1%）が男性（31.0%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（41.8%）が 65 歳未満（28.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、高認知度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策 26 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.3	29.9	32.2	52.9	15.0	67.9	100.0

性別	男性	1.9	29.1	31.0	54.2	14.8	69.0	100.0
	女性	2.7	30.4	33.1	51.6	15.3	66.9	100.0
年齢別	65 歳未満	1.9	26.9	28.8	55.1	16.2	71.3	100.0
	65 歳以上	3.7	38.1	41.8	46.4	11.8	58.2	100.0

圏域別	仙台	0.9	30.2	31.1	52.1	16.7	68.8	100.0
	仙南	2.2	26.5	28.7	55.7	15.7	71.4	100.0
	大崎	2.6	31.6	34.2	52.8	13.0	65.8	100.0
	栗原	2.7	29.9	32.6	53.0	14.4	67.4	100.0
	登米	4.3	32.4	36.7	47.6	15.7	63.3	100.0
	石巻	2.7	26.8	29.5	55.2	15.3	70.5	100.0
	気仙沼・本吉	1.3	32.6	33.9	51.3	14.8	66.1	100.0

有効回答者数 1,614 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 40.1%、低認知度群は 59.9%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（66.7%）が 26.6 ポイント、石巻圏域（50.0%）が 9.9 ポイント、気仙沼・本吉圏域（47.4%）が 7.3 ポイント高い。

回答者全体と比較して、栗原圏域（33.3%）が 6.8 ポイント、大崎圏域（33.8%）が 6.3 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 57.5%、低認知度群は 42.5%である。

(%)

政策 26 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.7	36.4	40.1	49.2	10.7	59.9	100.0	
圏 域 別	仙台	3.5	33.9	37.4	48.7	13.9	62.6	100.0
	仙南	5.8	36.5	42.3	51.9	5.8	57.7	100.0
	大崎	3.9	29.9	33.8	57.1	9.1	66.2	100.0
	栗原	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	66.7	100.0
	登米	0.0	66.7	66.7	25.0	8.3	33.3	100.0
	石巻	9.1	40.9	50.0	22.7	27.3	50.0	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	47.4	47.4	47.4	5.3	52.7	100.0

有効回答者数 327 名

学識者等全体	3.0	54.5	57.5	36.4	6.1	42.5	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

## 2. 政策 26 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 62.9%、低関心度群は 37.1% である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性（64.4%）が男性（61.2%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（71.2%）が 65 歳未満（59.9%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

石巻圏域（57.4%）では、回答者全体と比較して 5.5 ポイント低い。

(%)

政策 26 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	15.5	47.4	62.9	31.3	5.8	37.1	100.0

性別	男性	15.4	45.8	61.2	32.8	6.0	38.8	100.0
	女性	15.5	48.9	64.4	30.1	5.5	35.6	100.0
年齢別	65 歳未満	12.5	47.4	59.9	34.4	5.7	40.1	100.0
	65 歳以上	23.7	47.5	71.2	22.8	6.0	28.8	100.0

圏 域 別	仙台	14.8	50.5	65.3	28.7	6.0	34.7	100.0
	仙南	14.0	48.3	62.3	31.8	5.9	37.7	100.0
	大崎	17.7	44.8	62.5	31.0	6.5	37.5	100.0
	栗原	15.6	47.2	62.8	31.6	5.6	37.2	100.0
	登米	17.7	48.4	66.1	27.9	6.0	33.9	100.0
	石巻	13.7	43.7	57.4	37.2	5.5	42.7	100.0
	気山沼・本吉	15.1	50.8	65.9	29.4	4.6	34.0	100.0

有効回答者数 1,634 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 63.8%、低関心度群は 36.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（91.7%）では 27.9 ポイント、気仙沼・本吉圏域（71.1%）では 7.3 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域（56.1%）では 7.7 ポイント、栗原圏域（57.2%）では 6.6 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 77.3%、低関心度群は 22.7%である。

(%)

政策 26 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	12.0	51.8	63.8	31.3	4.8	36.1	100.0	
圏 域 別	仙台	12.1	44.0	56.1	37.9	6.0	43.9	100.0
	仙南	14.5	52.7	67.2	30.9	1.8	32.7	100.0
	大崎	10.4	55.8	66.2	28.6	5.2	33.8	100.0
	栗原	14.3	42.9	57.2	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	16.7	75.0	91.7	8.3	0.0	8.3	100.0
	石巻	13.6	54.5	68.1	13.6	18.2	31.8	100.0
	気仙沼・本吉	7.9	63.2	71.1	28.9	0.0	28.9	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	31.8	45.5	77.3	19.7	3.0	22.7	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

### 3. 政策 26 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 31.6%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 22.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 57.5 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 12.5 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.6%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	24.3	(75.7)
満足度 60点未満の割合		55.9
要検討領域にある回答者全体の割合		31.6

有効回答者数；重視度 1,598人、満足度 1,579人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	1598	1579
	欠損値	123	142
平均値		66.67	52.40
平均値の標準誤差		.453	.448
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.091	17.796
分散		327.268	316.700
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	65.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	55.0	50.0	5.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	28.0	(72.0)
満足度 60点未満の割合		50.5
要検討領域にある回答者全体の割合		22.5

有効回答者数；重視度 332人、満足度 329人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	332	329
	欠損値	6	9
平均値		65.29	55.23
平均値の標準誤差		.967	.826
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.614	14.980
分散		310.265	224.414
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	55.00	50.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	57.5	12.5
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	70.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

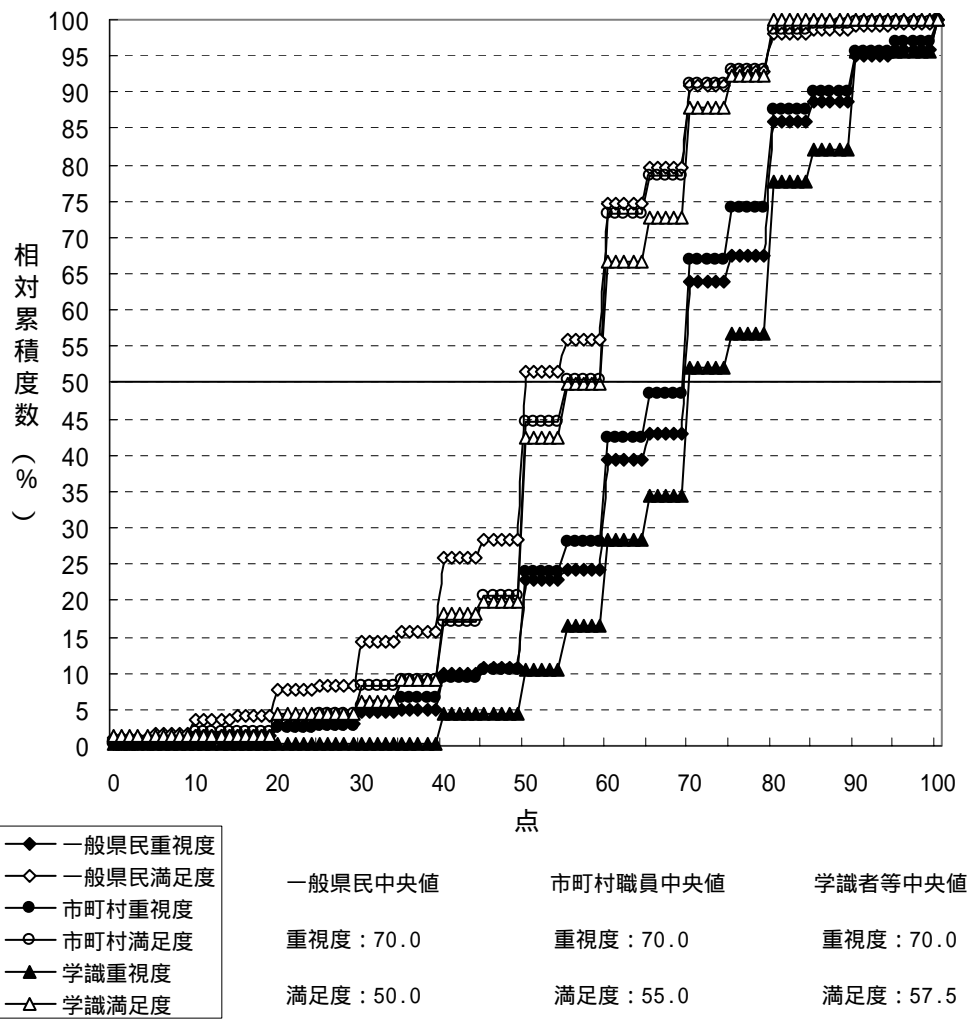
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.4	(83.6)
満足度 60点未満の割合		50.0
要検討領域にある回答者全体の割合		33.6

有効回答者数；重視度 67人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	67	66
	欠損値	2	3
平均値		72.09	56.21
平均値の標準誤差		1.796	1.835
中央値		70.00	57.50
最頻値		80	50
標準偏差		14.698	14.912
分散		216.022	222.354
範囲		60	65
最小値		40	15
最大値		100	80
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	57.50
	60	80.00	60.00
	75	80.00	70.00

「政策26 地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興」





### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性 (55.0 点) が男性 (50.0 点) よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性 (20.0 点) が女性 (15.0 点) よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性 (15.0 点) が女性 (10.0 点) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 33.1%、女性 29.8%と推定できる。

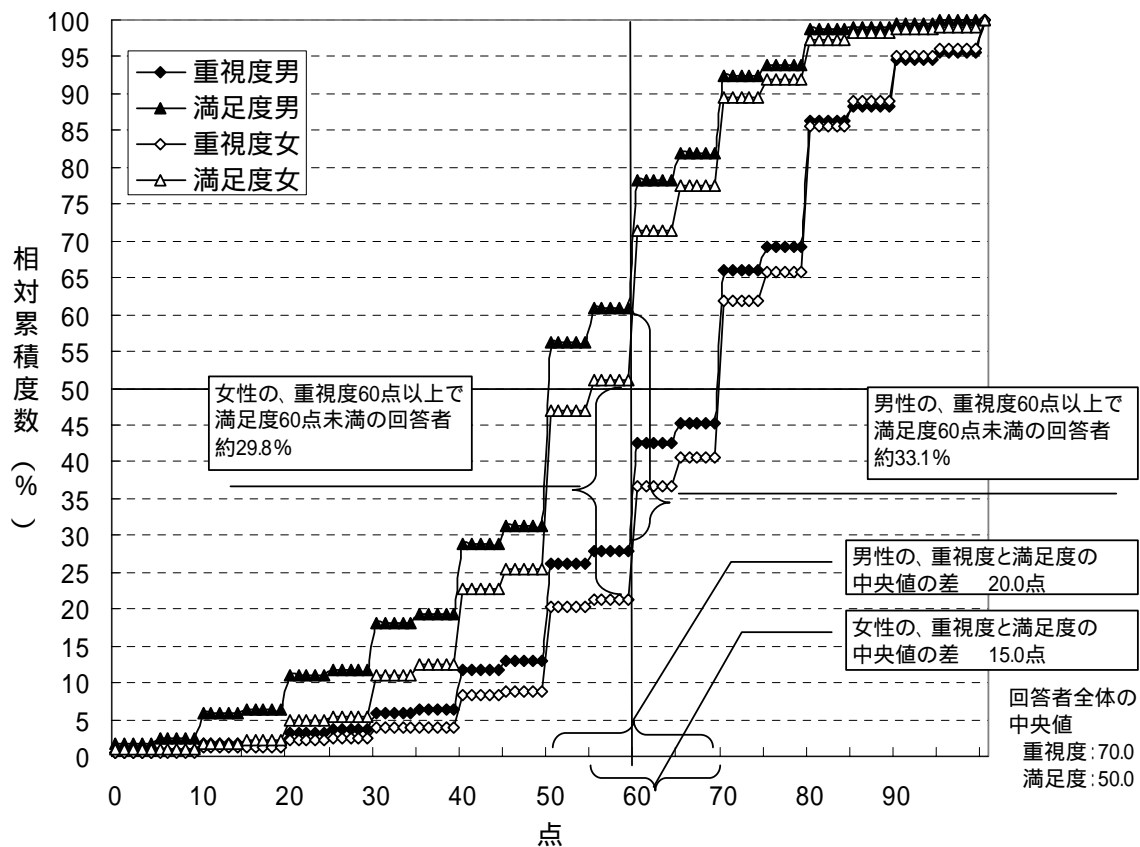
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	50.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	10.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	65.0	60.0	65.0
	かい離	15.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	15.0	10.0
	満足度	12.5	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	27.8 (72.2)	21.2 (78.8)
満足度 60 点未満の割合	60.9	51.0
要検討領域にある回答者全体の割合	33.1	29.8

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	759	751
	欠損値	44	52
平均値		65.49	50.15
平均値の標準誤差		.688	.680
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.943	18.642
分散		358.825	347.512
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	821	811
	欠損値	75	85
平均値		67.75	54.53
平均値の標準誤差		.603	.588
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.290	16.754
分散		298.941	280.706
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	65.00

### 3 2 - 2 65 歳年齢区別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（20.0 点）が 65 歳以上（15.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 31.7%、65 歳以上 30.4%と推定できる。

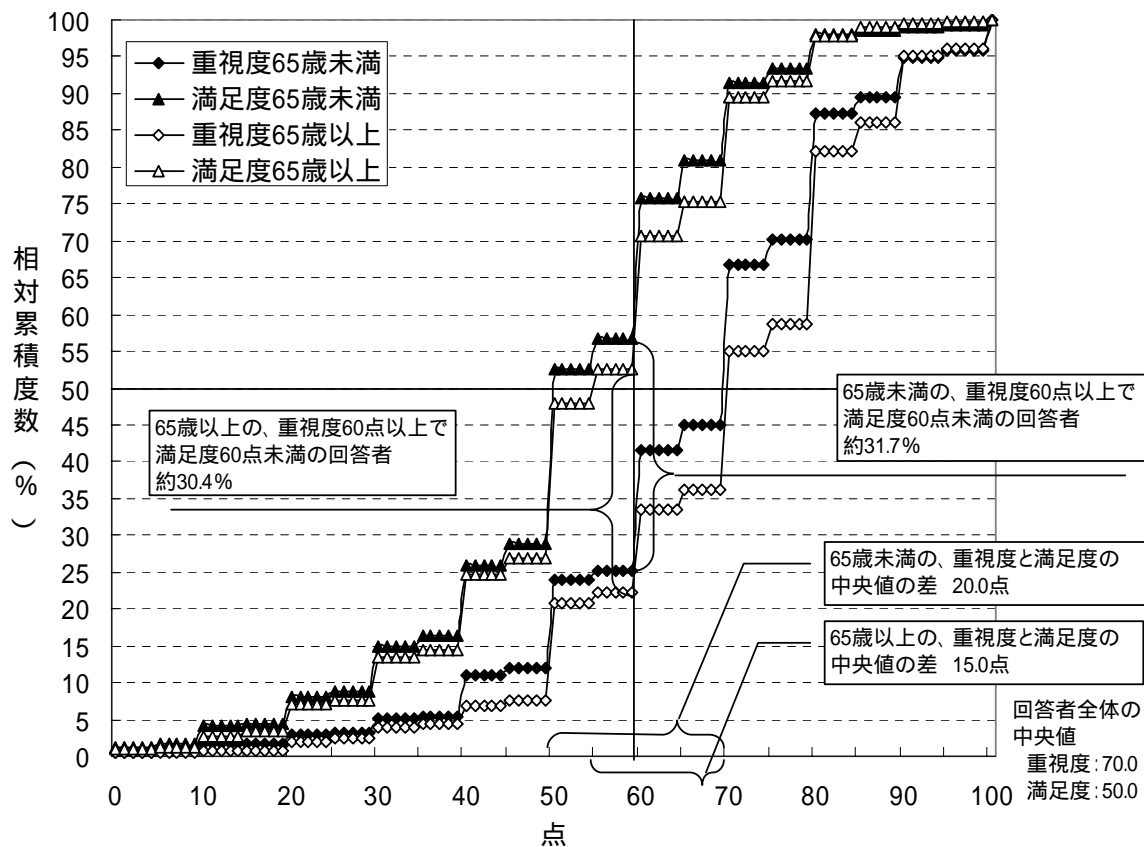
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	55.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	15.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	65.0	60.0	65.0
	かい離	15.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	10.0
	満足度	12.5	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	25.1 (74.9)	22.2 (77.8)
満足度 60 点未満の割合	56.8	52.6
要検討領域にある回答者全体の割合	31.7	30.4

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	1182	1172
	欠損値	58	68
平均値		65.79	51.99
平均値の標準誤差		.533	.522
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.312	17.881
分散		335.339	319.742
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	55.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	396	388
	欠損値	61	69
平均値		69.26	53.72
平均値の標準誤差		.873	.894
中央値		70.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.379	17.620
分散		302.039	310.448
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 ( 70.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、登米圏域 ( 55.0 点 ) が回答者全体 ( 50.0 点 ) よりも 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、登米圏域 ( 15.0 点 )、栗原圏域 ( 12.5 点 )、石巻圏域 ( 12.5 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域 ( 15.0 点 ) が回答者全体 ( 12.5 点 ) よりも大きく、仙南圏域 ( 10.0 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 10.0 点 )、登米圏域 ( 7.5 点 )、石巻圏域 ( 6.3 点 ) の 4 圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域 ( 62.5 点 )、石巻圏域 ( 62.5 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 70.0 点 ) よりも 7.5 ポイント、仙台圏域 ( 65.0 点 ) が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域 ( 60.0 点 )、栗原圏域 ( 60.0 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 60.0 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 55.0 点 ) よりも 5 ポイント高く、石巻圏域 ( 50.0 点 ) が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域 ( 16.9 点 )、仙台圏域 ( 15.0 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 13.1 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 12.5 点 ) よりも大きく、大崎圏域 ( 10.0 点 )、登米圏域 ( 8.8 点 )、仙南圏域 ( 7.5 点 )、栗原圏域 ( 7.5 点 ) の 4 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 ( 15.0 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 10.0 点 )、登米圏域 ( 8.1 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 7.5 点 ) よりも大きい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	52.5	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	17.5	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	55.0	50.0	55.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	50.0	50.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	0.0	5.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	65.0	70.0	65.0	62.5	60.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	15.0	10.0	15.0	17.5	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	15.0	12.5	10.0
	満足度	12.5	12.5	10.0	12.5	15.0	7.5	6.3	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	65.0	70.0	70.0	70.0	62.5	62.5	70.0
	満足度	55.0	55.0	55.0	60.0	60.0	57.5	50.0	60.0
	かい離	15.0	10.0	15.0	10.0	10.0	5.0	12.5	10.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	55.0	50.0	60.0	60.0	60.0	60.0	47.5	53.8
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	50.0	51.3	37.5	50.0
	かい離	5.0	0.0	15.0	10.0	10.0	8.8	10.0	3.8
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	75.0	80.0	75.0	77.5	81.3	80.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	65.0	65.0	67.5	67.5	70.0
	かい離	15.0	15.0	15.0	15.0	10.0	10.0	13.8	10.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	15.0	7.5	10.0	7.5	8.8	16.9	13.1
	満足度	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	8.1	15.0	10.0

#### 4. 政策 26 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「文化財、伝統文化の保存・継承・活用」( 37.6% ) である。

第 2 位は施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」( 25.1% ) である。

第 3 位は施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」( 16.6% ) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「文化財、伝統文化の保存・継承・活用」( 43.9% ) である。

第 2 位は施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」( 27.1% ) である。

第 3 位は施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」( 13.1% ) である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「文化財、伝統文化の保存・継承・活用」( 46.3% ) である。

第 2 位は施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」( 17.9% ) である。

第 3 位は施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」( 14.9% ) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 1 「文化財、伝統文化の保存・継承・活用」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」、65 歳以上では施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」、65 歳以上では施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」である。

#### 圏域別

一般県民では、  
圏域別毎の各施策の優先度は、全圏域とも、回答者全体と同じである。

市町村職員では、  
第 1 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 1 「文化財、伝統文化の保存・継承・活用」、登米圏域では施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」である。

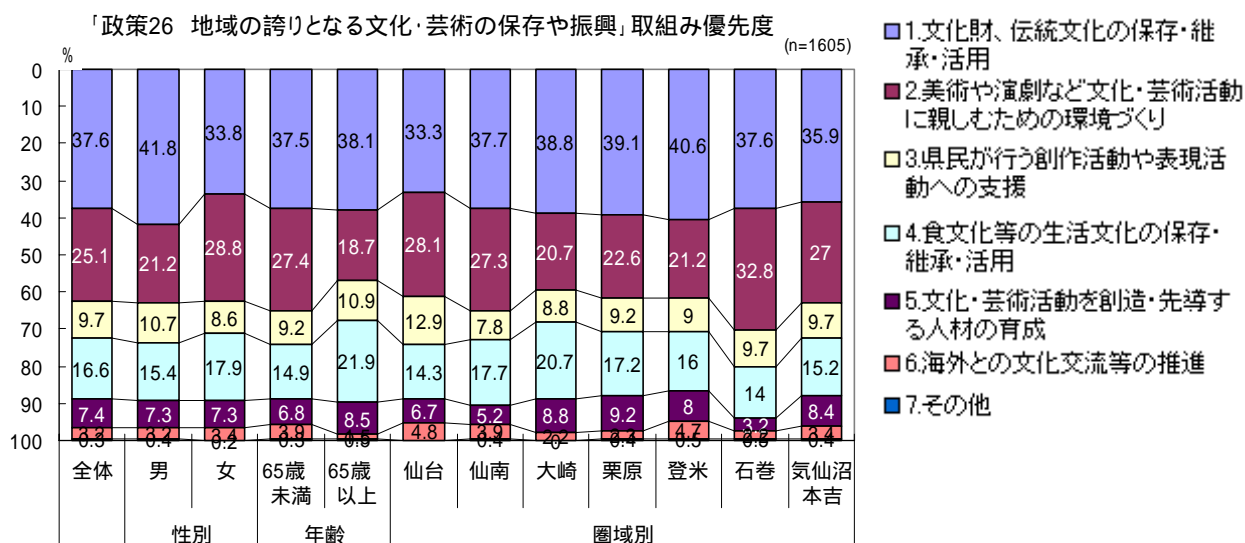
第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」、栗原圏域では施策 3 「県民が行う創作活動や表現活動への支援」、施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」、施策 5 「文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成」、施策 6 「海外との文化交流等の推進」、施策 7 「その他」、登米圏域では施策 1 「文化財、伝統文化の保存・継承・活用」である（栗原圏域では施策 2 と施策 3 と施策 4 と施策 5 と施策 6 と施策 7 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」、登米圏域では施策 3 「県民が行う創作活動や表現活動への支援」である。

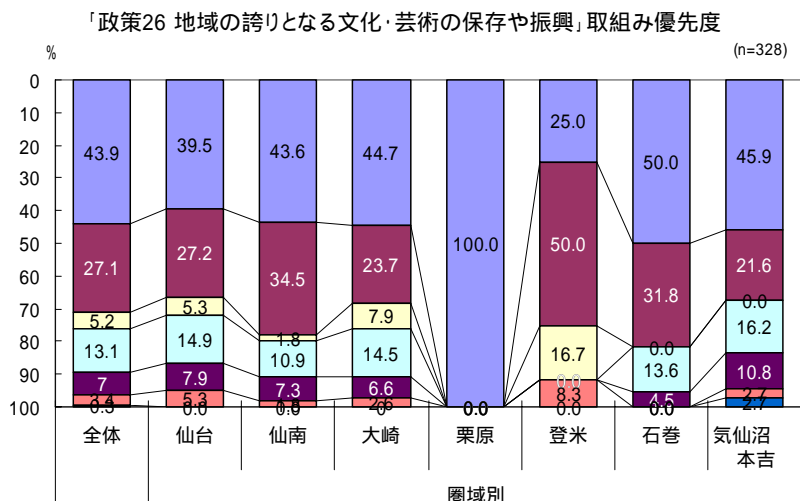


政策 26 「地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興」

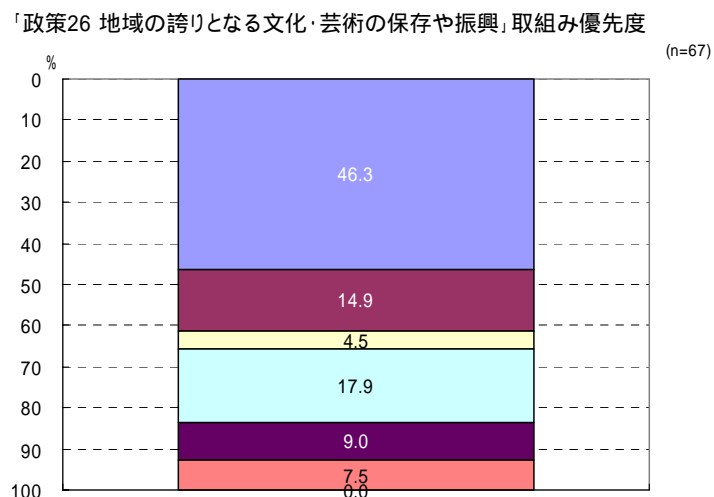
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 26 「地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.文化財、伝統文化の保存・継承・活用	37.6	41.8	33.8	37.5	38.1	33.3	37.7	38.8	39.1	40.6	37.6	35.9
2	2.美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり	25.1	21.2	28.8	27.4	18.7	28.1	27.3	20.7	22.6	21.2	32.8	27.0
3	3.県民が行う創作活動や表現活動への支援	9.7	10.7	8.6	9.2	10.9	12.9	7.8	8.8	9.2	9.0	9.7	9.7
4	4.食文化等の生活文化の保存・継承・活用	16.6	15.4	17.9	14.9	21.9	14.3	17.7	20.7	17.2	16.0	14.0	15.2
5	5.文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成	7.4	7.3	7.3	6.8	8.5	6.7	5.2	8.8	9.2	8.0	3.2	8.4
6	6.海外との文化交流等の推進	3.2	3.2	3.4	3.9	1.5	4.8	3.9	2.2	2.3	4.7	2.2	3.4
7	7.その他	0.3	0.4	0.2	0.3	0.5	0.0	0.4	0.0	0.4	0.5	0.5	0.4

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.文化財、伝統文化の保存・継承・活用	43.9	39.5	43.6	44.7	100.0	25.0	50.0	45.9
2	2.美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり	27.1	27.2	34.5	23.7	0.0	50.0	31.8	21.6
3	3.県民が行う創作活動や表現活動への支援	5.2	5.3	1.8	7.9	0.0	16.7	0.0	0.0
4	4.食文化等の生活文化の保存・継承・活用	13.1	14.9	10.9	14.5	0.0	0.0	13.6	16.2
5	5.文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成	7.0	7.9	7.3	6.6	0.0	0.0	4.5	10.8
6	6.海外との文化交流等の推進	3.4	5.3	1.8	2.6	0.0	8.3	0.0	2.7
7	7.その他	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.文化財、伝統文化の保存・継承・活用	46.3
2	2.美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり	14.9
3	3.県民が行う創作活動や表現活動への支援	4.5
4	4.食文化等の生活文化の保存・継承・活用	17.9
5	5.文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成	9.0
6	6.海外との文化交流等の推進	7.5
7	7.その他	0.0

政策 26 「地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興」

### 政策 27 「多様な主体の協働による地域づくりの推進」

政策 27 「多様な主体の協働による地域づくりの推進」は、それぞれの地域が抱える課題やニーズに住民が積極的に取り組み、解決していくことができるよう、自治体と住民とが共に進める地域づくりを目指す様々な施策で構成されている。

#### 1. 政策 27 の認知度

##### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 27.7%、低認知度群は 72.3%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（28.6%）が女性（26.5%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（42.9%）が 65 歳未満（22.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

登米圏域（34.6%）では、回答者全体と比較して 6.9 ポイント高い。

石巻圏域（15.7%）では、回答者全体と比較して 12 ポイント低い。

(%)

政策 27 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.9	25.8	27.7	54.6	17.7	72.3	100.0

性別	男性	1.9	26.7	28.6	55.3	16.1	71.4	100.0
	女性	1.9	24.6	26.5	54.0	19.5	73.5	100.0
年齢別	65 歳未満	1.3	20.9	22.2	58.3	19.5	77.8	100.0
	65 歳以上	3.7	39.2	42.9	43.9	13.2	57.1	100.0

圏域別	仙台	0.9	26.5	27.4	49.8	22.7	72.5	100.0
	仙南	2.2	24.0	26.2	57.6	16.2	73.8	100.0
	大崎	2.2	29.3	31.5	50.9	17.7	68.6	100.0
	栗原	1.9	27.2	29.1	55.2	15.7	70.9	100.0
	登米	1.9	32.7	34.6	47.2	18.2	65.4	100.0
	石巻	1.1	14.6	15.7	67.0	17.3	84.3	100.0
	気山沼・本吉	2.6	23.5	26.1	56.0	17.9	73.9	100.0

有効回答者数 1,607 名

政策 27 「多様な主体の協働による地域づくりの推進」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 54.1%、低認知度群は 45.8%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域( 71.4% )では 17.3 ポイント、登米圏域( 66.7% )

では 12.6 ポイント、気仙沼・本吉圏域( 62.9% )では 8.8 ポイント高い。

学識等全体における高認知度群は 49.3%、低認知度群は 50.8%である。

(%)

政策 27 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	5.5	48.6	54.1	38.8	7.0	45.8	100.0	
圏 域 別	仙台	4.3	48.3	52.6	37.9	9.5	47.4	100.0
	仙南	11.1	38.9	50.0	44.4	5.6	50.0	100.0
	大崎	6.6	44.7	51.3	43.4	5.3	48.7	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	33.3	100.0
	石巻	4.5	50.0	54.5	36.4	9.1	45.5	100.0
	気仙沼・本吉	2.9	60.0	62.9	28.6	8.6	37.2	100.0

有効回答者数 327 名

学識者等全体	6.0	43.3	49.3	46.3	4.5	50.8	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

## 2. 政策 27 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 63.7%、低関心度群は 36.2%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（64.8%）が女性（62.7%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（76.7%）が 65 歳未満（59.1%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

栗原圏域（69.0%）では、回答者全体と比較して 5.3 ポイント高い。

石巻圏域（49.8%）では、回答者全体と比較して 13.9 ポイント低い。

(%)

政策 27 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	12.7	51.0	63.7	30.1	6.1	36.2	100.0

性別	男性	15.3	49.5	64.8	29.9	5.2	35.1	100.0
	女性	9.9	52.8	62.7	30.4	6.9	37.3	100.0
年齢別	65 歳未満	8.5	50.6	59.1	34.5	6.4	40.9	100.0
	65 歳以上	23.8	52.9	76.7	17.8	5.5	23.3	100.0

圏域別	仙台	12.6	53.5	66.1	28.8	5.1	33.9	100.0
	仙南	8.1	54.9	63.0	31.9	5.1	37.0	100.0
	大崎	14.5	52.1	66.6	25.2	8.1	33.3	100.0
	栗原	14.8	54.2	69.0	26.5	4.5	31.0	100.0
	登米	16.7	48.1	64.8	27.8	7.4	35.2	100.0
	石巻	7.6	42.2	49.8	43.2	7.0	50.2	100.0
	気山沼・本吉	11.7	52.1	63.8	30.4	5.8	36.2	100.0

有効回答者数 1,632 名

政策 27 「多様な主体の協働による地域づくりの推進」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 76.7%、低関心度群は 23.3%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（91.6%）では 14.9 ポイント、栗原圏域（85.7%）

では 9.0 ポイント、気仙沼・本吉圏域（82.8%）では 6.1 ポイント高い。

仙台圏域（70.9%）では、回答者全体と比較して 5.8 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 83.6%、低関心度群は 16.4%である。

(%)

政策 27 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	19.9	56.8	76.7	21.5	1.8	23.3	100.0	
圏 域 別	仙台	17.9	53.0	70.9	26.5	2.6	29.1	100.0
	仙南	25.0	53.6	78.6	21.4	0.0	21.4	100.0
	大崎	19.5	61.0	80.5	18.2	1.3	19.5	100.0
	栗原	14.3	71.4	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	33.3	58.3	91.6	8.3	0.0	8.3	100.0
	石巻	22.7	50.0	72.7	22.7	4.5	27.2	100.0
	気仙沼・本吉	17.1	65.7	82.8	14.3	2.9	17.2	100.0

有効回答者数 331 名

学識者等全体	23.9	59.7	83.6	16.4	0.0	16.4	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

### 3. 政策 27 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 36.7%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 40.6%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 44.1%と推定できる。



政策 27 「多様な主体の協働による地域づくりの推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	22.7	(77.3)
満足度 60点未満の割合		59.4
要検討領域にある回答者全体の割合		36.7

有効回答者数；重視度 1,601人、満足度 1,581人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策27重視度	政策27満足度
度数	有効	1601	1581
	欠損値	120	140
平均値		67.16	50.77
平均値の標準誤差		.444	.432
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.760	17.173
分散		315.418	294.900
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	55.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	15.3	(84.7)
満足度 60点未満の割合		55.9
要検討領域にある回答者全体の割合		40.6

有効回答者数；重視度 334人、満足度 333人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策27重視度	政策27満足度
度数	有効	334	333
	欠損値	4	5
平均値		71.71	53.56
平均値の標準誤差		.893	.743
中央値		75.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.314	13.561
分散		266.148	183.910
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	65.0	50.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.4	(89.6)
満足度 60点未満の割合		54.5
要検討領域にある回答者全体の割合		44.1

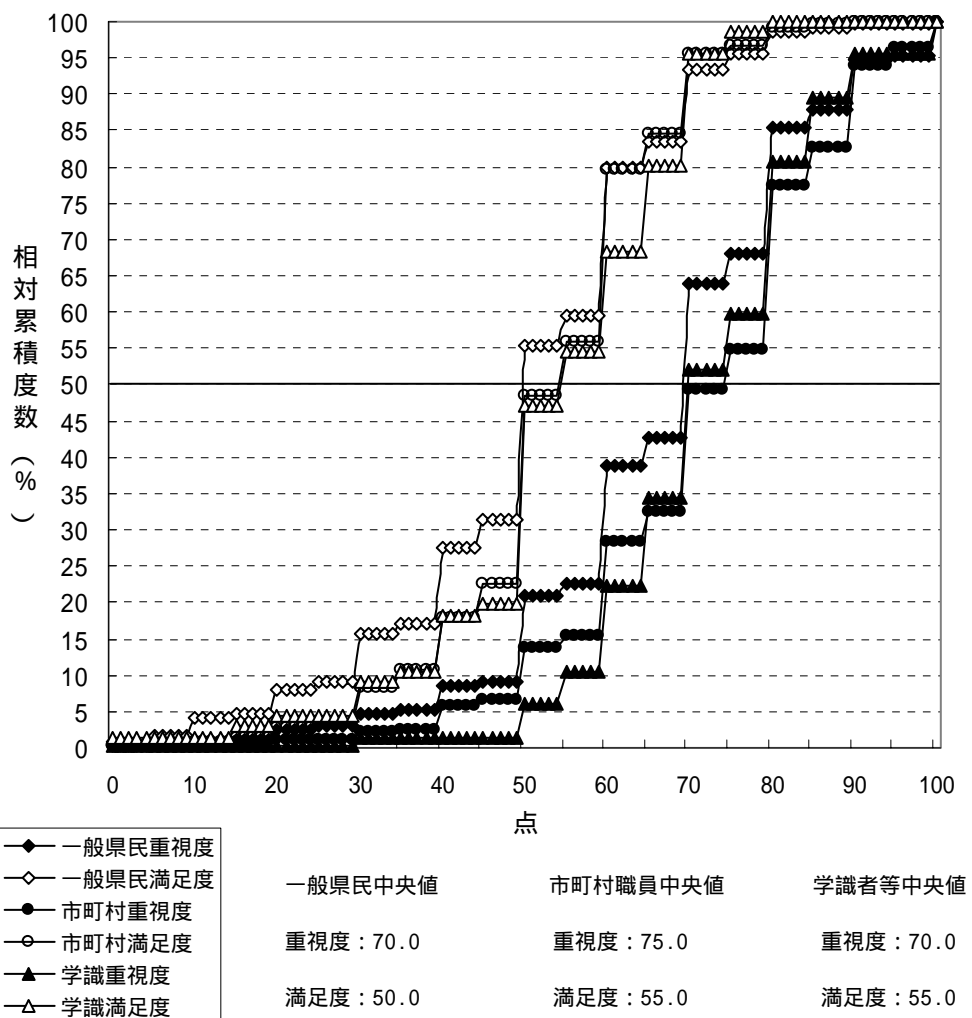
有効回答者数；重視度 67人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策27重視度	政策27満足度
度数	有効	67	66
	欠損値	2	3
平均値		72.39	54.24
平均値の標準誤差		1.596	1.771
中央値		70.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		13.066	14.391
分散		170.726	207.110
範囲		70	70
最小値		30	10
最大値		100	80
パーセントイル	25	65.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	79.00	60.00
	75	80.00	65.00

政策 27 「多様な主体の協働による地域づくりの推進」

「政策27 多様な主体の協働による地域づくりの推進」



### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0 点)が女性(7.5 点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 38.9%、女性 35.2%と推定できる。

#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

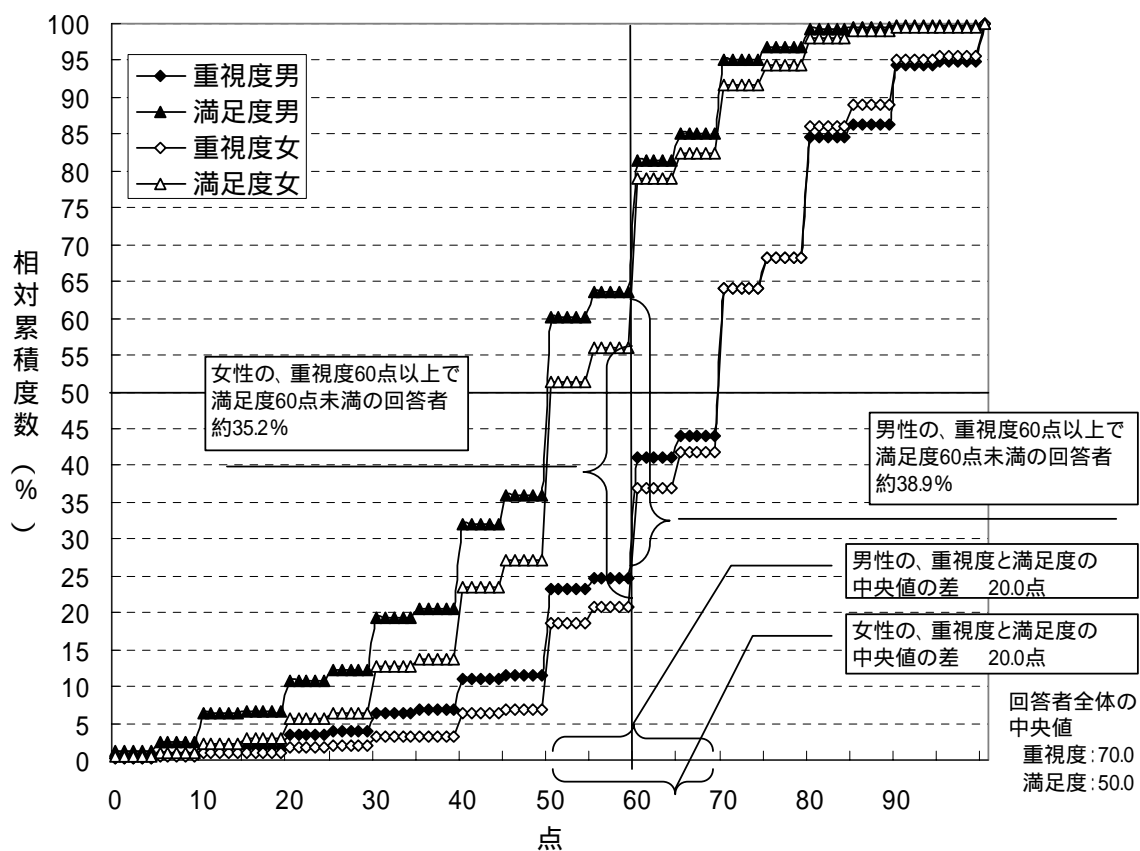
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5

#### 要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	24.7 (75.3)	20.7 (79.3)
満足度 60 点未満の割合	63.6	55.9
要検討領域にある回答者全体の割合	38.9	35.2

政策 27 「多様な主体の協働による地域づくりの推進」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策27重視度	政策27満足度
度数	有効	764	756
	欠損値	39	47
平均値		66.35	48.57
平均値の標準誤差		.688	.653
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		19.020	17.944
分散		361.760	321.996
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策27重視度	政策27満足度
度数	有効	820	809
	欠損値	76	87
平均値		67.92	52.72
平均値の標準誤差		.575	.570
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.452	16.201
分散		270.671	262.460
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 36.3%、65 歳以上 39.1%と推定できる。

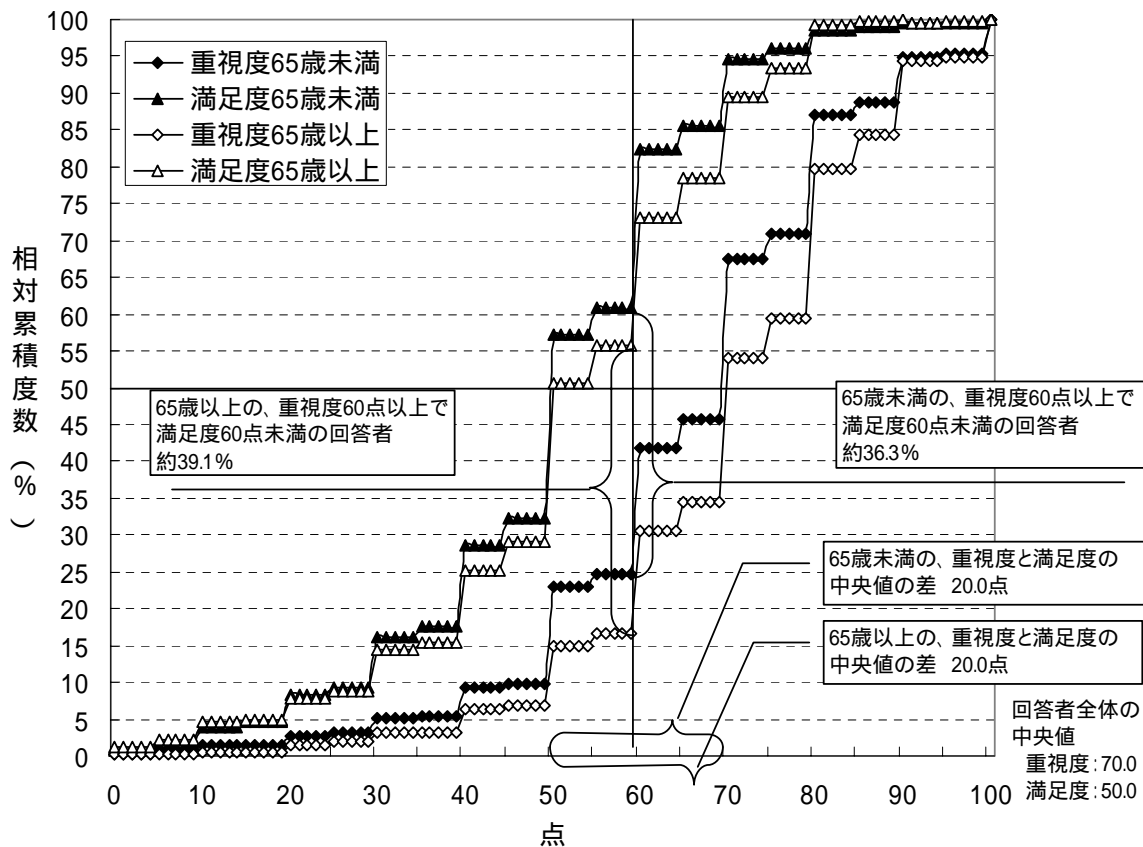
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	24.7 (75.3)	16.6 (83.4)
満足度 60 点未満の割合	61.0	55.7
要検討領域にある回答者全体の割合	36.3	39.1

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策27重視度	政策27満足度
度数	有効	1190	1177
	欠損値	50	63
平均値		66.03	50.17
平均値の標準誤差		.520	.494
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.947	16.941
分散		322.101	286.981
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策27重視度	政策27満足度
度数	有効	392	386
	欠損値	65	71
平均値		70.59	52.32
平均値の標準誤差		.845	.909
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.724	17.867
分散		279.706	319.220
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 ( 70.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、回答者全体 ( 50.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、大崎圏域 ( 12.5 点 )、石巻圏域 ( 12.5 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域 ( 8.1 点 )、石巻圏域 ( 7.5 点 )、登米圏域 ( 5.0 点 ) が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、大崎圏域 ( 80.0 点 )、栗原圏域 ( 80.0 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 75.0 点 ) よりも 5 ポイント高く、仙台圏域 ( 70.0 点 )、登米圏域 ( 70.0 点 )、石巻圏域 ( 70.0 点 ) の 3 圏域が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、石巻圏域 ( 55.0 点 ) が回答者全体 ( 55.0 点 ) よりも 10 ポイント、仙南圏域 ( 50.0 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 50.0 点 ) の 2 圏域が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、大崎圏域 ( 12.5 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 11.3 点 )、登米圏域 ( 10.6 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きく、石巻圏域 ( 7.5 点 )、仙南圏域 ( 5.0 点 )、栗原圏域 ( 5.0 点 ) の 3 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 ( 12.5 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 10.0 点 )、仙台圏域 ( 7.5 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 5.0 点 ) よりも大きい。

政策 27 「多様な主体の協働による地域づくりの推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0	55.0	60.0	60.0	55.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	43.8	50.0	45.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	16.3	10.0	10.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	8.1	5.0	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	75.0	70.0	75.0	80.0	80.0	70.0	70.0	75.0
	満足度	55.0	55.0	50.0	55.0	55.0	55.0	45.0	50.0
	かい離	20.0	15.0	25.0	25.0	25.0	15.0	25.0	25.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	70.0	65.0	70.0	65.0	60.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	35.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	20.0	15.0	20.0	15.0	25.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0	90.0	80.0	86.3	75.0	82.5
	満足度	60.0	65.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	15.0	20.0	30.0	20.0	26.3	15.0	22.5
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	5.0	12.5	5.0	10.6	7.5	11.3
	満足度	5.0	7.5	5.0	5.0	5.0	5.0	12.5	10.0



#### 4. 政策 27 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「県・市町村・住民の協働による地域づくり」( 50.0% ) である。

第 2 位は施策 4 「住民主体の地域福祉活動等の推進」( 23.0% ) である。

第 3 位は施策 3 「環境美化運動など地域コミュニティ活動」( 16.9% ) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「県・市町村・住民の協働による地域づくり」( 51.3% ) である。

第 2 位は施策 4 「住民主体の地域福祉活動等の推進」( 25.7% ) である。

第 3 位は施策 3 「環境美化運動など地域コミュニティ活動」( 13.1% ) である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「県・市町村・住民の協働による地域づくり」( 42.6% ) である。

第 2 位は施策 4 「住民主体の地域福祉活動等の推進」( 20.6% ) である。

第 3 位は施策 3 「環境美化運動など地域コミュニティ活動」( 14.7% ) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

#### 圏域別

一般県民では、  
圏域別毎の各施策の優先度は、全圏域とも、回答者全体と同じである。

市町村職員では、  
第 1 位は、全圏域とも施策 1 「県・市町村・住民の協働による地域づくり」である。

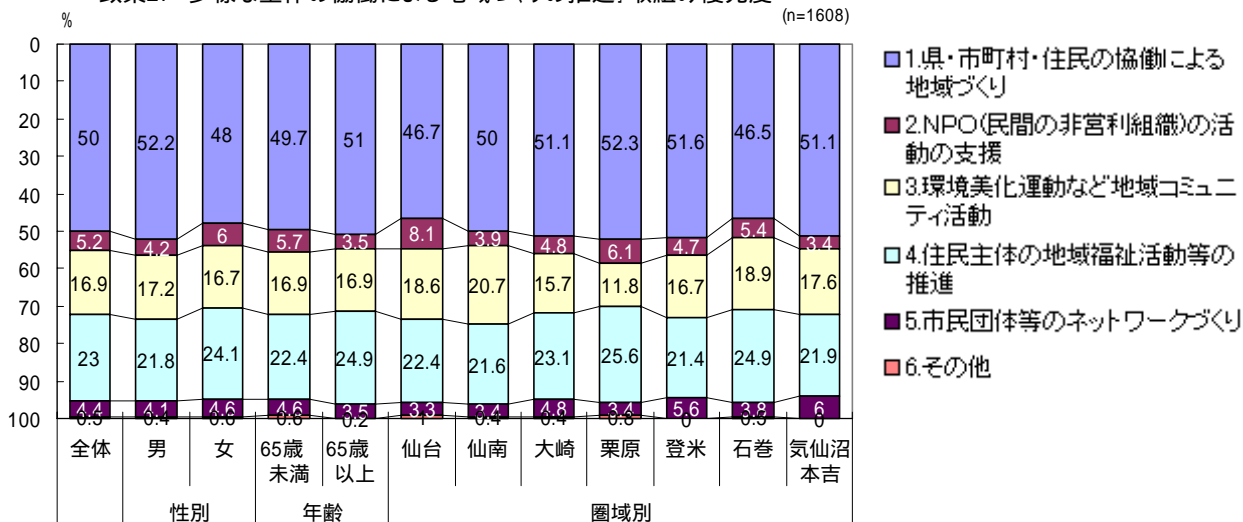
第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 6 圏域では施策 4 「住民主体の地域福祉活動等の推進」、栗原、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 3 「環境美化運動など地域コミュニティ活動」である（栗原圏域では施策 3 と施策 4 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻の 5 圏域では施策 3 「環境美化運動など地域コミュニティ活動」、登米圏域では施策 2 「NPO(民間の非営利組織)の活動の支援」、石巻圏域では施策 5 「市民団体等のネットワークづくり」、気仙沼・本吉圏域では施策 4 「住民主体の地域福祉活動等の推進」である（登米圏域では施策 2 と施策 3 が、石巻圏域では施策 3 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

政策 27 「多様な主体の協働による地域づくりの推進」

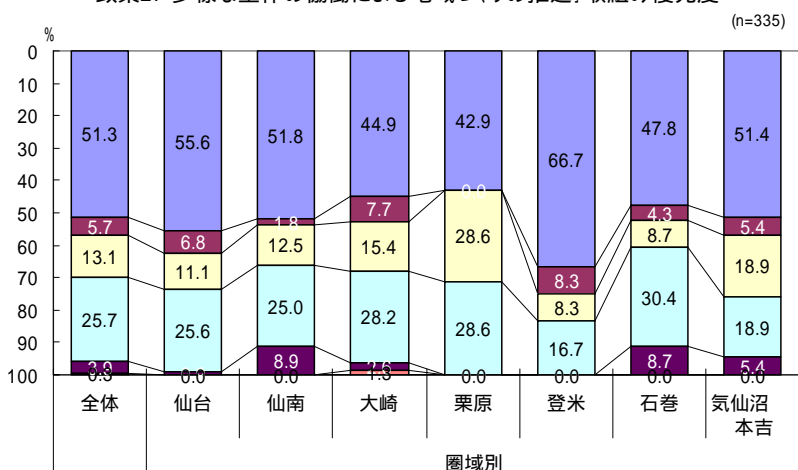
【一般県民】

「政策27 多様な主体の協働による地域づくりの推進」取組み優先度



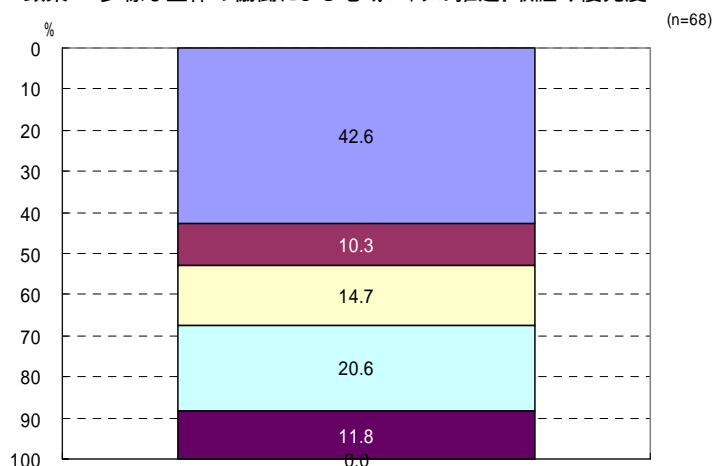
【市町村職員】

「政策27 多様な主体の協働による地域づくりの推進」取組み優先度



【学識者等】

「政策27 多様な主体の協働による地域づくりの推進」取組み優先度



政策 27 「多様な主体の協働による地域づくりの推進」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.県・市町村・住民の協働による地域づくり	50.0	52.2	48.0	49.7	51.0	46.7	50.0	51.1	52.3	51.6	46.5	51.1
2	2.NPO(民間の非営利組織)の活動の支援	5.2	4.2	6.0	5.7	3.5	8.1	3.9	4.8	6.1	4.7	5.4	3.4
3	3.環境美化運動など地域コミュニティ活動	16.9	17.2	16.7	16.9	16.9	18.6	20.7	15.7	11.8	16.7	18.9	17.6
4	4.住民主体の地域福祉活動等の推進	23.0	21.8	24.1	22.4	24.9	22.4	21.6	23.1	25.6	21.4	24.9	21.9
5	5.市民団体等のネットワークづくり	4.4	4.1	4.6	4.6	3.5	3.3	3.4	4.8	3.4	5.6	3.8	6.0
6	6.その他	0.5	0.4	0.6	0.6	0.2	1.0	0.4	0.4	0.8	0.0	0.5	0.0

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.県・市町村・住民の協働による地域づくり	51.3	55.6	51.8	44.9	42.9	66.7	47.8	51.4
2	2.NPO(民間の非営利組織)の活動の支援	5.7	6.8	1.8	7.7	0.0	8.3	4.3	5.4
3	3.環境美化運動など地域コミュニティ活動	13.1	11.1	12.5	15.4	28.6	8.3	8.7	18.9
4	4.住民主体の地域福祉活動等の推進	25.7	25.6	25.0	28.2	28.6	16.7	30.4	18.9
5	5.市民団体等のネットワークづくり	3.9	0.9	8.9	2.6	0.0	0.0	8.7	5.4
6	6.その他	0.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.県・市町村・住民の協働による地域づくり	42.6
2	2.NPO(民間の非営利組織)の活動の支援	10.3
3	3.環境美化運動など地域コミュニティ活動	14.7
4	4.住民主体の地域福祉活動等の推進	20.6
5	5.市民団体等のネットワークづくり	11.8
6	6.その他	0.0

政策 27 「多様な主体の協働による地域づくりの推進」

## 政策 28 「調和ある県土利用の推進」

政策 28「調和ある県土利用の推進」は、自然環境・生活・生活活動等が調和した県土の有効利用を図るため、社会経済情勢の変化に対応しながら、総合的かつ計画的な土地利用を目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 28 の認知度

#### 1 1 一般県民

- 一般県民全体における高認知度群は 19.0%、低認知度群は 81.0%である。
- 一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（21.7%）が女性（16.3%）よりも高い。
- 65 歳年齢区分別では、65 歳以上（29.5%）が 65 歳未満（15.2%）よりも高い。
- 一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、栗原圏域（24.9%）では、回答者全体と比較して 5.9 ポイント高い。
- 石巻圏域（13.0%）では、回答者全体と比較して 6.0 ポイント低い。

(%)

政策 28 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	0.9	18.1	19.0	58.2	22.8	81.0	100.0

性別	男性	1.2	20.5	21.7	57.9	20.4	78.3	100.0
	女性	0.7	15.6	16.3	58.4	25.3	83.7	100.0
年齢別	65 歳未満	0.9	14.3	15.2	58.9	25.8	84.7	100.0
	65 歳以上	1.0	28.5	29.5	55.9	14.6	70.5	100.0

圏域別	仙台	0.0	18.8	18.8	56.8	24.4	81.2	100.0
	仙南	2.6	16.5	19.1	55.7	25.2	80.9	100.0
	大崎	0.9	21.6	22.5	57.6	19.9	77.5	100.0
	栗原	1.6	23.3	24.9	53.5	21.7	75.2	100.0
	登米	0.5	15.9	16.4	60.3	23.4	83.7	100.0
	石巻	1.1	11.9	13.0	61.1	25.9	87.0	100.0
	気山沼・本吉	0.0	16.5	16.5	61.6	21.9	83.5	100.0

有効回答者数 1,612 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 28.1%、低認知度群は 71.9%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(41.6%)では 13.5 ポイント、石巻圏域(34.7%)  
では 6.6 ポイント高い。

学識等全体における高認知度群は 41.8%、低認知度群は 58.2%である。

(%)

政策 28 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度 知っていた		あまり知ら なかった	知らなかった			
市町村職員全体	2.4	25.7	28.1	58.6	13.3	71.9	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	23.3	25.0	61.2	13.8	75.0	100.0
	仙南	0.0	27.8	27.8	53.7	18.5	72.2	100.0
	大崎	2.6	24.7	27.3	61.0	11.7	72.7	100.0
	栗原	0.0	28.6	28.6	71.4	0.0	71.4	100.0
	登米	8.3	33.3	41.6	50.0	8.3	58.3	100.0
	石巻	13.0	21.7	34.7	39.1	26.1	65.2	100.0
	気山沼・本吉	0.0	31.6	31.6	63.2	5.3	68.5	100.0

有効回答者数 331 名

学識者等全体	3.0	38.8	41.8	50.7	7.5	58.2	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

## 2. 政策 28 の関心度

## 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 51.9%、低関心度群は 48.1%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（58.3%）が女性（45.6%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（64.6%）が 65 歳未満（47.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

栗原圏域（59.5%）では、回答者全体と比較して 7.6 ポイント高い。

石巻圏域（39.8%）では、回答者全体と比較して 12.1 ポイント低い。

(%)

政策 28 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	10.7	41.2	51.9	38.7	9.4	48.1	100.0

性別	男性	13.2	45.1	58.3	34.2	7.5	41.7	100.0
	女性	8.2	37.4	45.6	43.2	11.2	54.4	100.0
年齢別	65 歳未満	8.5	38.7	47.2	42.5	10.3	52.8	100.0
	65 歳以上	16.9	47.7	64.6	28.6	6.8	35.4	100.0

圏域別	仙台	11.7	39.3	51.0	41.6	7.5	49.1	100.0
	仙南	11.2	39.5	50.7	39.1	10.3	49.4	100.0
	大崎	10.7	45.9	56.6	33.9	9.4	43.3	100.0
	栗原	16.4	43.1	59.5	32.1	8.4	40.5	100.0
	登米	10.1	38.7	48.8	42.9	8.3	51.2	100.0
	石巻	3.8	36.0	39.8	46.8	13.4	60.2	100.0
	気山沼・本吉	8.4	42.7	51.1	39.3	9.6	48.9	100.0

有効回答者数 1,629 名



1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 49.5%、低関心度群は 50.4%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(71.4%)では 21.9 ポイント、登米圏域(58.3%)では 8.8 ポイント、気仙沼・本吉圏域(57.9%)では 8.4 ポイント、石巻圏域(56.5%)では 7.0 ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は 70.1%、低関心度群は 29.9%である。

(%)

政策 28 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	6.0	43.5	49.5	45.3	5.1	50.4	100.0	
圏 域 別	仙台	7.8	37.9	45.7	48.3	6.0	54.3	100.0
	仙南	0.0	50.9	50.9	43.6	5.5	49.1	100.0
	大崎	3.8	42.3	46.1	48.7	5.1	53.8	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	25.0	33.3	58.3	41.7	0.0	41.7	100.0
	石巻	13.0	43.5	56.5	34.8	8.7	43.5	100.0
	気仙沼・本吉	5.3	52.6	57.9	39.5	2.6	42.1	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	19.4	50.7	70.1	26.9	3.0	29.9	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

### 3. 政策 28 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 36.0%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 65.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 28.2%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 28.8%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	50.0	40.0	10.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	28.3	(71.7)
満足度 60点未満の割合		64.3
要検討領域にある回答者全体の割合		36.0

有効回答者数；重視度 1,594人、満足度 1,576人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	1594	1576
	欠損値	127	145
平均値		65.00	48.74
平均値の標準誤差		.453	.441
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.104	17.495
分散		327.762	306.087
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	65.0	55.0	10.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	55.0	48.8	6.3
第3四分位数(75パーセンタイル)	75.0	60.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	26.0	(74.0)
満足度 60点未満の割合		54.2
要検討領域にある回答者全体の割合		28.2

有効回答者数；重視度 334人、満足度 334人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	334	334
	欠損値	4	4
平均値		64.58	52.95
平均値の標準誤差		.860	.802
中央値		65.00	55.00
最頻値		60	60
標準偏差		15.715	14.655
分散		246.971	214.775
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	55.00	48.75
	40	60.00	50.00
	50	65.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	75.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	60.0	10.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

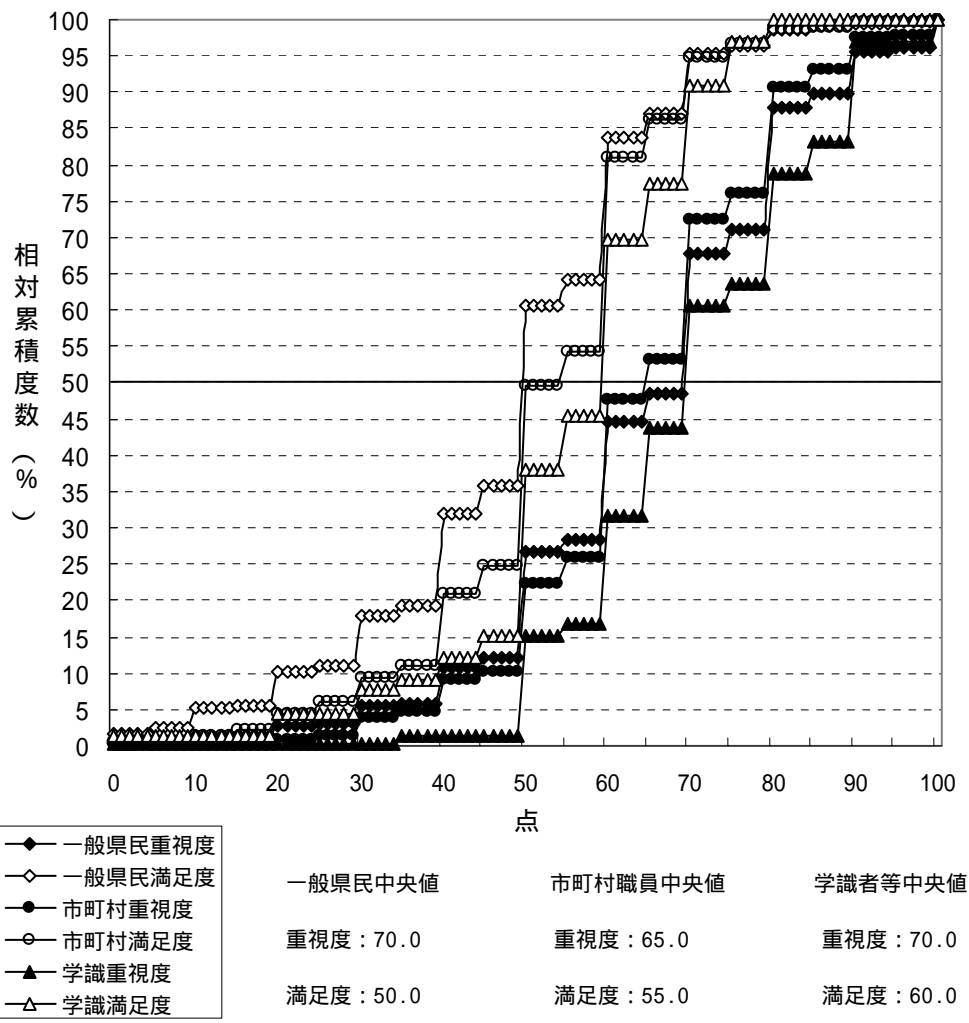
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.7	(83.3)
満足度 60点未満の割合		45.5
要検討領域にある回答者全体の割合		28.8

有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		70.38	56.36
平均値の標準誤差		1.765	1.699
中央値		70.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		14.340	13.799
分散		205.624	190.420
範囲		65	65
最小値		35	15
最大値		100	80
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	65.00	55.00
	50	70.00	60.00
	60	71.00	60.00
	75	80.00	65.00

「政策28 調和ある県土利用の推進」



### 3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 15.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 38.7%、女性 32.9%と推定できる。

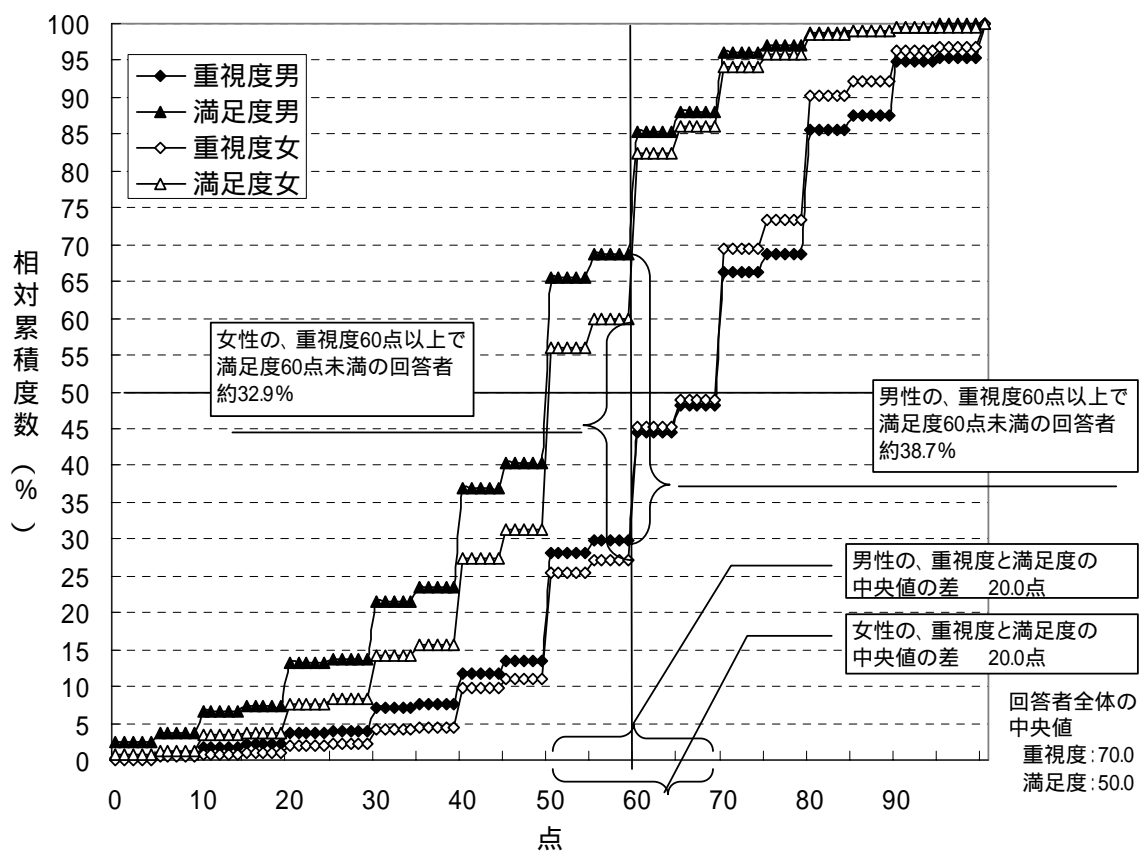
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	50.0	50.0	50.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	10.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	15.0	15.0	15.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	29.9 (70.1)	27.1 (72.9)
満足度 60 点未満の割合	68.6	60.0
要検討領域にある回答者全体の割合	38.7	32.9

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	769	758
	欠損値	34	45
平均値		64.92	46.61
平均値の標準誤差		.702	.666
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		19.464	18.330
分散		378.867	335.979
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	45.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	807	801
	欠損値	89	95
平均値		64.97	50.77
平均値の標準誤差		.592	.581
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.807	16.451
分散		282.474	270.629
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	56.00
	75	80.00	60.00

### 3 2 - 2 65 歳年齢区別

重視度の中央値は、65 歳未満（65.0 点）が 65 歳以上（70.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（15.0 点）が 65 歳以上（20.0 点）よりも小さい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（15.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 35.4%、65 歳以上 36.6%と推定できる。

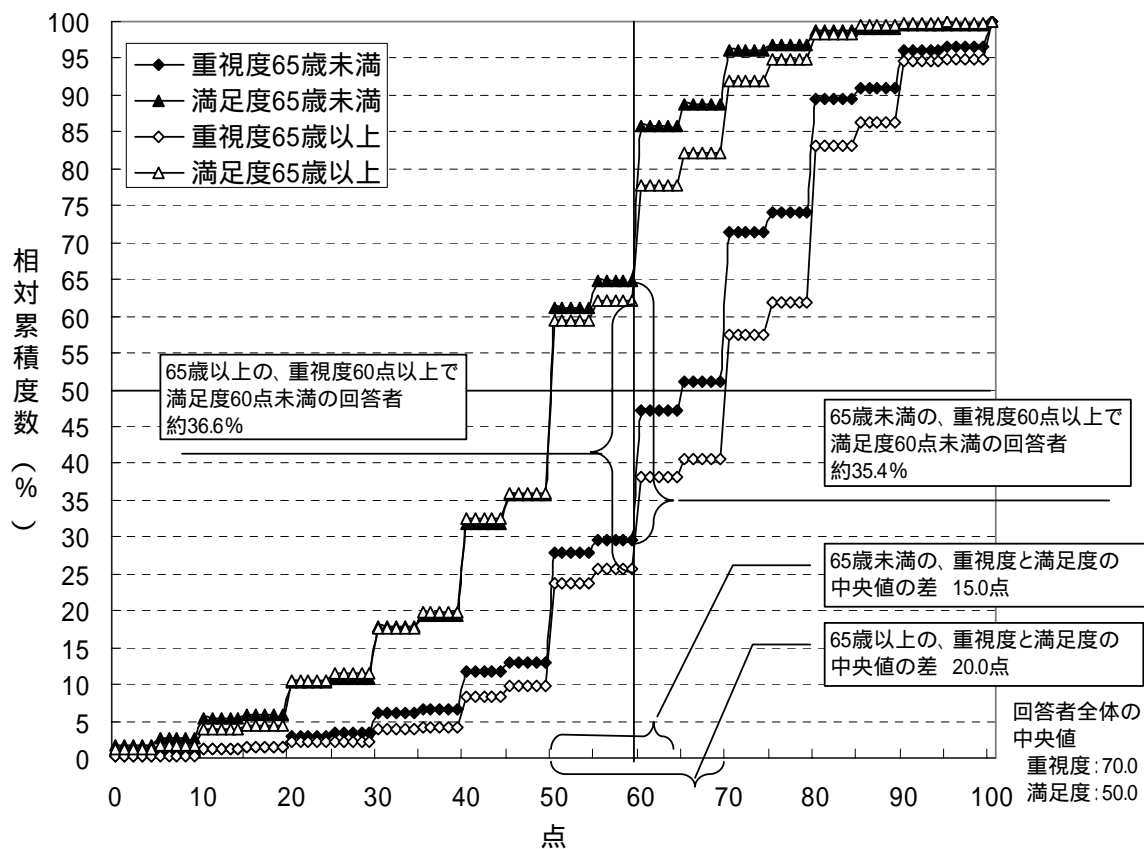
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	65.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	15.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	50.0	50.0	55.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	15.0	15.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	29.5 (70.5)	25.6 (74.4)
満足度 60 点未満の割合	64.9	62.2
要検討領域にある回答者全体の割合	35.4	36.6

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	1183	1171
	欠損値	57	69
平均値		63.93	48.40
平均値の標準誤差		.525	.507
中央値		65.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.052	17.344
分散		325.877	300.831
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	65.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	391	386
	欠損値	66	71
平均値		67.99	49.77
平均値の標準誤差		.917	.917
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.141	18.014
分散		329.100	324.491
範囲		95	95
最小値		5	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	55.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00



### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域(60.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント、登米圏域(65.0点)、石巻圏域(65.0点)の2圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、回答者全体(50.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域(13.8点)、栗原圏域(12.5点)、石巻圏域(12.5点)、大崎圏域(10.0点)の4圏域が回答者全体(15.0点)よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域(75.0点)が回答者全体(65.0点)よりも10ポイント、大崎圏域(70.0点)が5ポイント高く、仙南圏域(60.0点)、気仙沼・本吉圏域(60.0点)の2圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の3圏域が回答者全体(55.0点)よりも大きく、仙南圏域(50.0点)、石巻圏域(50.0点)、気仙沼・本吉圏域(50.0点)の3圏域が小さい。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(15.0点)、気仙沼・本吉圏域(15.0点)、登米圏域(14.4点)、仙台圏域(12.5点)の4圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(7.5点)、石巻圏域(7.5点)、仙南圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)、登米圏域(11.3点)、石巻圏域(10.0点)、仙南圏域(7.5点)の4圏域が回答者全体(5.6点)よりも大きく、仙台圏域(5.0点)、大崎圏域(5.0点)、気仙沼・本吉圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0	65.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	50.0	50.0	52.5	60.0	55.0	50.0	50.0	50.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	12.5	20.0	15.0	10.0	10.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	15.0	15.0	13.8	10.0	12.5	15.0	12.5	15.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	65.0	65.0	60.0	70.0	65.0	75.0	65.0	60.0
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	60.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	15.0	15.0	10.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	55.0	50.0	60.0	60.0	50.0	56.3	60.0	50.0
	満足度	48.8	50.0	45.0	50.0	40.0	50.0	40.0	50.0
	かい離	6.3	0.0	15.0	10.0	10.0	6.3	20.0	0.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	75.0	75.0	70.0	75.0	80.0	85.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	72.5	60.0	60.0
	かい離	15.0	15.0	10.0	15.0	15.0	12.5	15.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	5.0	7.5	15.0	14.4	7.5	15.0
	満足度	5.6	5.0	7.5	5.0	12.5	11.3	10.0	5.0

#### 4. 政策 28 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「土地の計画的利用の推進」( 80.4% ) である。

第 2 位は施策 2 「土地取引の適正化」( 17.3% ) である。

第 3 位は施策 3 「その他」( 2.3% ) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「土地の計画的利用の推進」( 83.2% ) である。

第 2 位は施策 2 「土地取引の適正化」( 14.6% ) である。

第 3 位は施策 3 「その他」( 2.1% ) である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「土地の計画的利用の推進」( 84.8% ) である。

第 2 位は施策 2 「土地取引の適正化」( 9.1% ) である。

第 3 位は施策 3 「その他」( 6.1% ) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

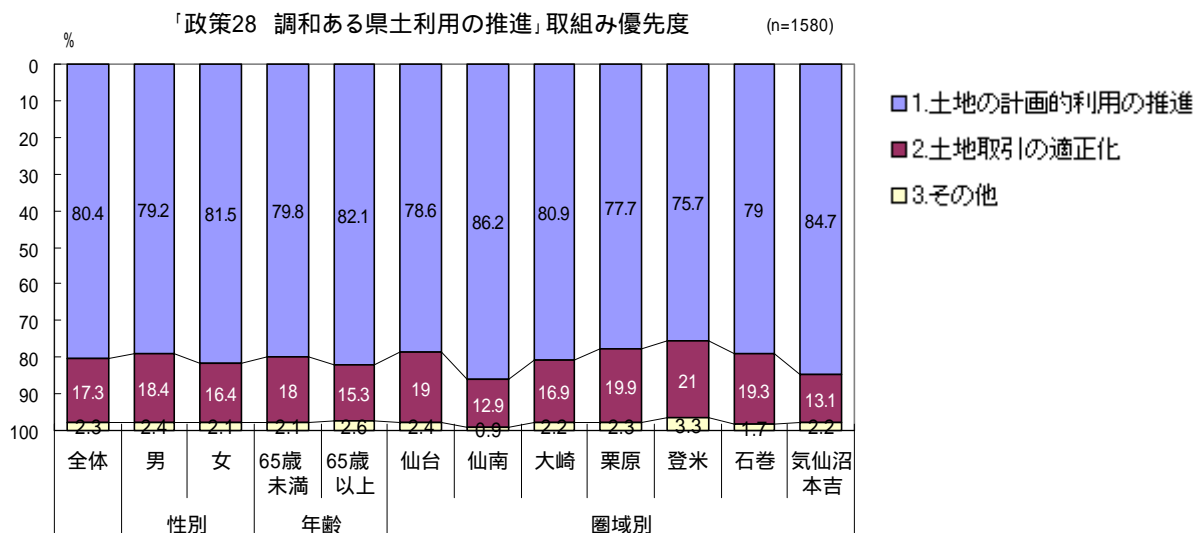
65 歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

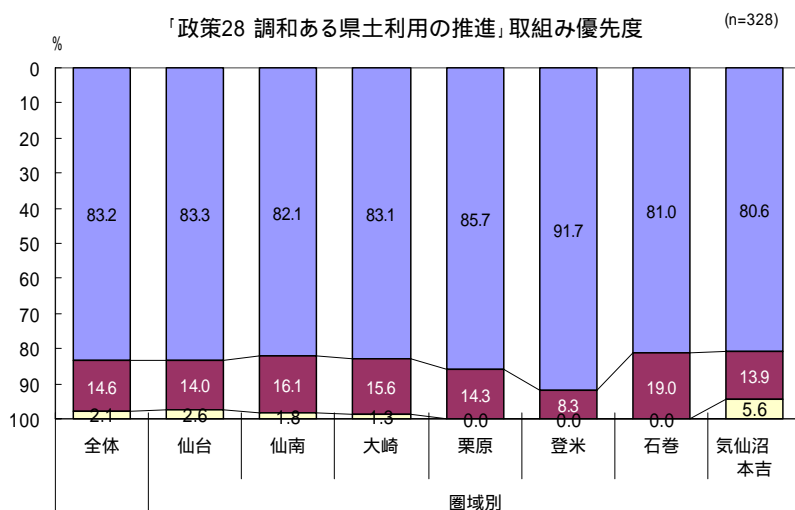
一般県民では、  
圏域別毎の各施策の優先度は、全圏域とも、回答者全体と同じである。

市町村職員では、  
圏域別毎の各施策の優先度は、全圏域とも、回答者全体と同じである。

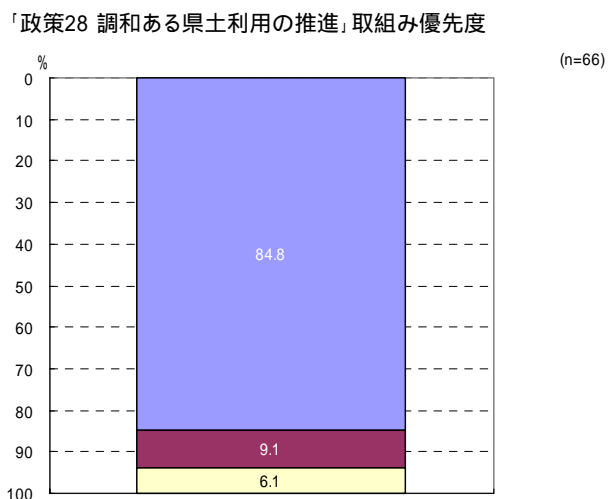
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 28 「調和ある県土利用の推進」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.土地の計画的利用の推進	80.4	79.2	81.5	79.8	82.1	78.6	86.2	80.9	77.7	75.7	79.0	84.7
2	2.土地取引の適正化	17.3	18.4	16.4	18.0	15.3	19.0	12.9	16.9	19.9	21.0	19.3	13.1
3	3.その他	2.3	2.4	2.1	2.1	2.6	2.4	0.9	2.2	2.3	3.3	1.7	2.2

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.土地の計画的利用の推進	83.2	83.3	82.1	83.1	85.7	91.7	81.0	80.6
2	2.土地取引の適正化	14.6	14.0	16.1	15.6	14.3	8.3	19.0	13.9
3	3.その他	2.1	2.6	1.8	1.3	0.0	0.0	0.0	5.6

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.土地の計画的利用の推進	84.8
2	2.土地取引の適正化	9.1
3	3.その他	6.1



## 政策 29 「条件不利地域の振興と都市と農山漁村との交流の推進」

政策 29 「条件不利地域の振興と都市と農山漁村との交流の推進」は、豊かな自然環境や伝統文化が継承されている農山漁村の特長を活かし、地域資源の広域的な活用を進め、自立できる地域づくりを目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 29 の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 24.0%、低認知度群は 76.1%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（24.4%）が女性（22.8%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（36.2%）が 65 歳未満（19.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域（30.3%）では、回答者全体と比較して 6.3 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（16.9%）では 7.1 ポイント、仙台圏域（17.1%）では 6.9 ポイント低い。

(%)

政策 29 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.8	22.2	24.0	58.4	17.7	76.1	100.0

性別	男性	2.0	22.4	24.4	60.0	15.6	75.6	100.0
	女性	1.6	21.2	22.8	57.4	19.8	77.2	100.0
年齢別	65 歳未満	1.2	18.0	19.2	61.2	19.6	80.8	100.0
	65 歳以上	3.5	32.7	36.2	51.1	12.6	63.7	100.0

圏域別	仙台	0.5	16.6	17.1	60.7	22.3	83.0	100.0
	仙南	3.0	17.7	20.7	57.3	22.0	79.3	100.0
	大崎	0.9	26.4	27.3	57.7	15.0	72.7	100.0
	栗原	3.5	26.8	30.3	54.9	14.8	69.7	100.0
	登米	1.9	23.6	25.5	55.7	18.9	74.6	100.0
	石巻	1.1	15.8	16.9	64.7	18.5	83.2	100.0
	気山沼・本吉	1.3	25.0	26.3	58.8	14.9	73.7	100.0

有効回答者数 1,589 名



## 1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 34.8%、低認知度群は 65.1%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（71.4%）では 36.6 ポイント、登米圏域（63.6%）では 28.8 ポイント、石巻圏域（50.0%）と気仙沼・本吉圏域（50.0%）では 12.2 ポイント高い。

仙台圏域（23.1%）では、回答者全体と比較して 11.7 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 41.2%、低認知度群は 58.8%である。

(%)

政策 29 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.9	30.9	34.8	51.5	13.6	65.1	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	23.1	59.0	17.9	76.9	100.0	
	仙南	7.1	33.9	51.8	14.3	66.1	100.0	
	大崎	2.6	35.9	53.8	10.3	64.1	100.0	
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	9.1	54.5	63.6	36.4	0.0	36.4	100.0
	石巻	13.6	36.4	50.0	31.8	18.2	50.0	100.0
	気仙沼・本吉	2.9	47.1	50.0	38.2	11.8	50.0	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	10.3	30.9	41.2	55.9	2.9	58.8	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

## 2. 政策 29 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 65.0%、低関心度群は 35.1%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（68.1%）が女性（62.0%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（74.6%）が 65 歳未満（61.5%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（73.1%）では 8.1 ポイント、栗原圏域（70.6%）では 5.6 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（59.3%）では 5.7 ポイント、仙台圏域（59.4%）では 5.6 ポイント低い。

(%)

政策 29 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	16.0	49.0	65.0	29.5	5.6	35.1	100.0

性別	男性	17.8	50.3	68.1	27.5	4.4	31.9	100.0
	女性	13.9	48.1	62.0	31.4	6.6	38.0	100.0
年齢別	65 歳未満	12.9	48.6	61.5	32.7	5.8	38.5	100.0
	65 歳以上	24.2	50.4	74.6	20.5	4.9	25.4	100.0

圏域別	仙台	10.8	48.6	59.4	37.7	2.8	40.5	100.0
	仙南	16.7	46.8	63.5	28.8	7.7	36.5	100.0
	大崎	17.2	46.1	63.3	30.6	6.0	36.6	100.0
	栗原	20.2	50.4	70.6	24.8	4.6	29.4	100.0
	登米	15.0	46.3	61.3	32.7	6.1	38.8	100.0
	石巻	7.1	52.2	59.3	34.8	6.0	40.8	100.0
	気仙沼・本吉	20.6	52.5	73.1	21.4	5.5	26.9	100.0

有効回答者数 1,617 名

## 1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 68.8%、低関心度群は 31.2%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)では 31.2 ポイント、登米圏域(90.9%)  
では 22.1 ポイント、気仙沼・本吉圏域(82.9%)では 14.1 ポイント、大崎圏域(76.9%)  
では 8.1 ポイント、仙南圏域(75.0%)では 6.2 ポイント、石巻圏域(73.9%)では  
5.1 ポイント高い。

仙台圏域(51.7%)では、回答者全体と比較して 17.1 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 79.5%、低関心度群は 20.6%である。

(%)

政策 29 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	13.5	55.3	68.8	27.3	3.9	31.2	100.0	
圏 域 別	仙台	6.8	44.9	51.7	41.5	6.8	48.3	100.0
	仙南	19.6	55.4	75.0	23.2	1.8	25.0	100.0
	大崎	11.5	65.4	76.9	20.5	2.6	23.1	100.0
	栗原	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	36.4	54.5	90.9	9.1	0.0	9.1	100.0
	石巻	21.7	52.2	73.9	17.4	8.7	26.1	100.0
	気仙沼・本吉	20.0	62.9	82.9	17.1	0.0	17.1	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	22.1	57.4	79.5	19.1	1.5	20.6	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

### 3. 政策 29 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 40.4%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 39.8%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 43.3%と推定できる。

政策 29「条件不利地域の振興と都市と農山漁村との交流の推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	22.7	(77.3)
満足度 60点未満の割合		63.1
要検討領域にある回答者全体の割合		40.4

有効回答者数；重視度 1,591人、満足度 1,573人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	1591	1573
	欠損値	130	148
平均値		68.29	49.52
平均値の標準誤差		.444	.436
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.699	17.296
分散		313.239	299.149
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	19.0	(81.0)
満足度 60点未満の割合		58.8
要検討領域にある回答者全体の割合		39.8

有効回答者数；重視度 332人、満足度 330人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	332	330
	欠損値	6	8
平均値		67.79	51.65
平均値の標準誤差		.958	.873
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.455	15.867
分散		304.676	251.747
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

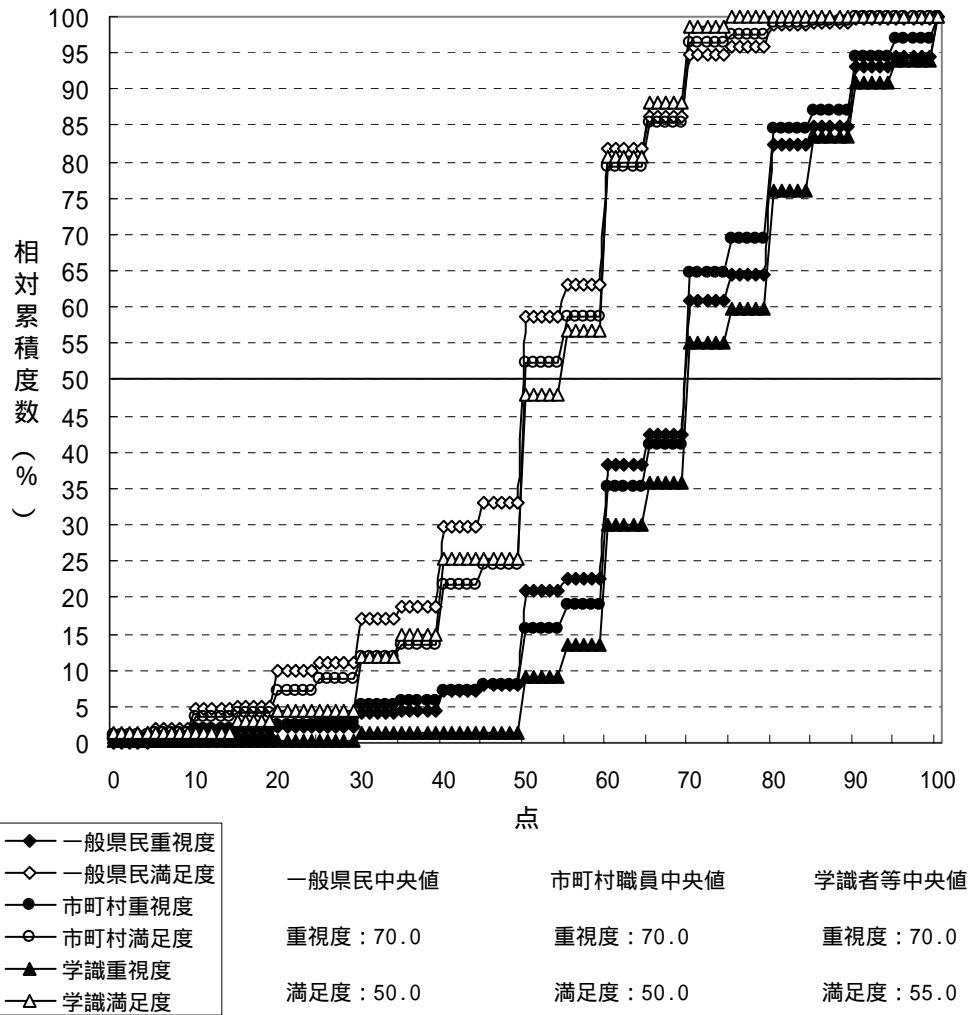
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.4	(86.6)
満足度 60点未満の割合		56.7
要検討領域にある回答者全体の割合		43.3

有効回答者数；重視度 67人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	67	67
	欠損値	2	2
平均値		72.31	51.79
平均値の標準誤差		1.796	1.740
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	60
標準偏差		14.702	14.241
分散		216.158	202.804
範囲		70	70
最小値		30	5
最大値		100	75
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	79.00	60.00
	75	80.00	60.00

「政策29 条件不利地域の振興と都市と農山漁村との交流の推進」



### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0 点)が女性(7.5 点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 44.9%、女性 36.1%と推定できる。

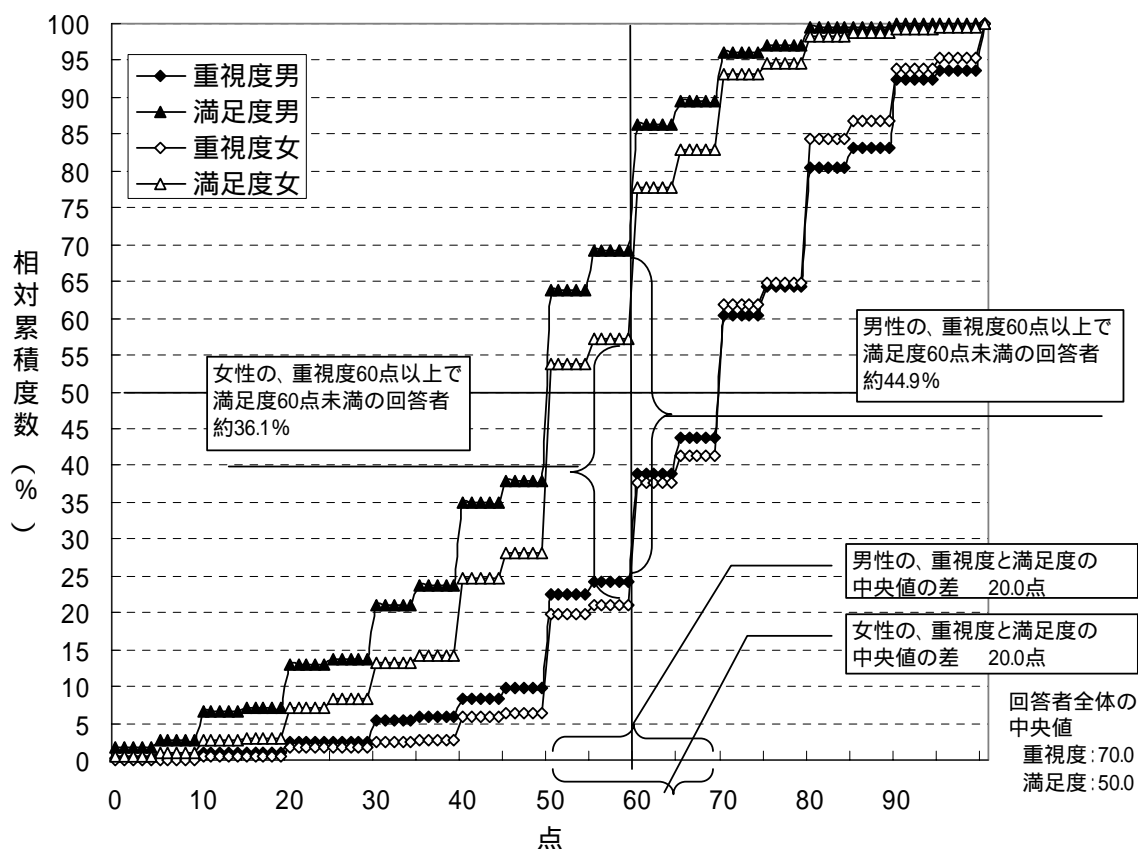
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値(点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5

#### 要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	24.3 (75.7)	21.1 (78.9)
満足度 60 点未満の割合	69.2	57.2
要検討領域にある回答者全体の割合	44.9	36.1

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	765	760
	欠損値	38	43
平均値		67.98	46.82
平均値の標準誤差		.679	.644
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.782	17.760
分散		352.755	315.407
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	809	797
	欠損値	87	99
平均値		68.57	52.13
平均値の標準誤差		.581	.584
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.525	16.498
分散		273.065	272.199
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00



### 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 40.3%、65 歳以上 40.6%と推定できる。

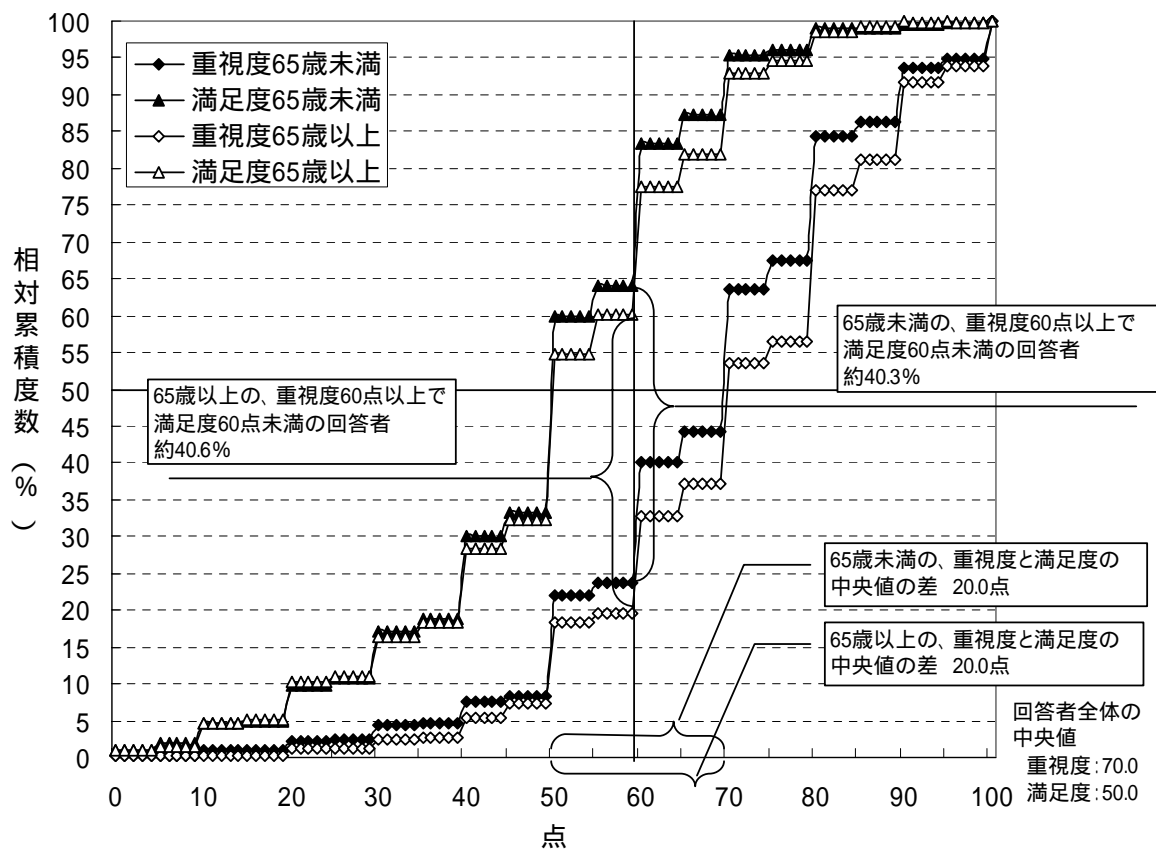
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	23.8 (76.2)	19.6 (80.4)
満足度 60 点未満の割合	64.1	60.2
要検討領域にある回答者全体の割合	40.3	40.6

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	1174	1161
	欠損値	66	79
平均値		67.38	49.19
平均値の標準誤差		.517	.503
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.730	17.130
分散		314.340	293.424
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	51.00
	75	80.00	60.00

		政策29重視度	政策29満足度
度数	有効	398	394
	欠損値	59	63
平均値		70.88	50.58
平均値の標準誤差		.860	.899
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.156	17.843
分散		294.313	318.361
範囲		85	90
最小値		15	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 ( 70.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、回答者全体 ( 50.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、登米圏域 ( 15.0 点 ) が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域 ( 7.5 点 ) 、石巻圏域 ( 7.5 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域 ( 80.0 点 ) が回答者全体 ( 70.0 点 ) よりも 10 ポイント高く、仙台圏域 ( 65.0 点 ) が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、栗原圏域 ( 60.0 点 ) が回答者全体 ( 50.0 点 ) よりも 10 ポイント、仙台圏域 ( 55.0 点 ) 、大崎圏域 ( 55.0 点 ) 、登米圏域 ( 55.0 点 ) の 3 圏域が 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域 ( 12.5 点 ) 、登米圏域 ( 12.5 点 ) 、気仙沼・本吉圏域 ( 13.8 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きく、仙台圏域 ( 7.5 点 ) が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 ( 15.0 点 ) 、気仙沼・本吉圏域 ( 10.0 点 ) 、栗原圏域 ( 7.5 点 ) 、登米圏域 ( 7.5 点 ) 、大崎圏域 ( 6.9 点 ) の 5 圏域が回答者全体 ( 5.0 点 ) よりも大きい。

政策 29 「条件不利地域の振興と  
都市と農山漁村との交流の推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	50.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0	45.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	10.0	15.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	65.0	70.0	70.0	80.0	70.0	70.0	72.5
	満足度	50.0	55.0	50.0	55.0	60.0	55.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	10.0	20.0	15.0	20.0	15.0	20.0	22.5
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	55.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	47.5	50.0	50.0	30.0	40.0
	かい離	10.0	5.0	10.0	12.5	10.0	10.0	30.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	70.0	80.0	80.0	85.0	85.0	80.0	87.5
	満足度	60.0	60.0	60.0	61.3	65.0	65.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	10.0	20.0	18.8	20.0	20.0	20.0	27.5
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	7.5	10.0	10.0	12.5	12.5	10.0	13.8
	満足度	5.0	5.0	5.0	6.9	7.5	7.5	15.0	10.0

#### 4. 政策 29 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 3 「過疎地域の振興」( 26.7% ) である。

第 2 位は施策 7 「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」( 23.1% ) である。

第 3 位は施策 1 「農山漁村環境の整備」( 21.0% ) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「農山漁村環境の整備」( 23.0% ) と施策 3 「過疎地域の振興」( 23.0% )  
である( 施策 1 と施策 3 が共に第 1 位になっている )。

第 3 位は施策 7 「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」( 22.4% ) である。

学識者では、

第 1 位は施策 7 「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」( 35.8% ) である。

第 2 位は施策 3 「過疎地域の振興」( 28.4% ) である。

第 3 位は施策 2 「都市と農山漁村の交流促進」( 17.9% ) である。

性別

一般県民では、

性別毎では、第 1 位から第 2 位まで、男性女性とも回答者全体と同じである。

第 3 位は、男性では施策 1 「農山漁村環境の整備」、女性では施策 2 「都市と農山漁村の  
交流促進」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 3 「過疎地域の振興」、65 歳以上では施策 2 「都市と農山漁  
村の交流促進」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 7 「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」、65 歳  
以上では施策 3 「過疎地域の振興」である。

第 3 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 1 「農山漁村環境の整備」である。

#### 圏域別

一般県民では、

第1位は、仙南、栗原、登米、石巻の45圏域では施策3「過疎地域の振興」、仙台、大崎の2圏域では施策7「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」、気仙沼・本吉圏域では施策1「農山漁村環境の整備」である。

第2位は、仙台、登米、気仙沼・本吉の3圏域では施策2「都市と農山漁村の交流促進」、仙南、栗原、石巻の3圏域では施策7「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」、大崎圏域では施策3「過疎地域の振興」である。

第3位は、仙南、大崎、登米、石巻の4圏域では施策1「農山漁村環境の整備」、仙台、気仙沼・本吉の2圏域では施策3「過疎地域の振興」、栗原圏域では施策2「都市と農山漁村の交流促進」である。

市町村職員では、

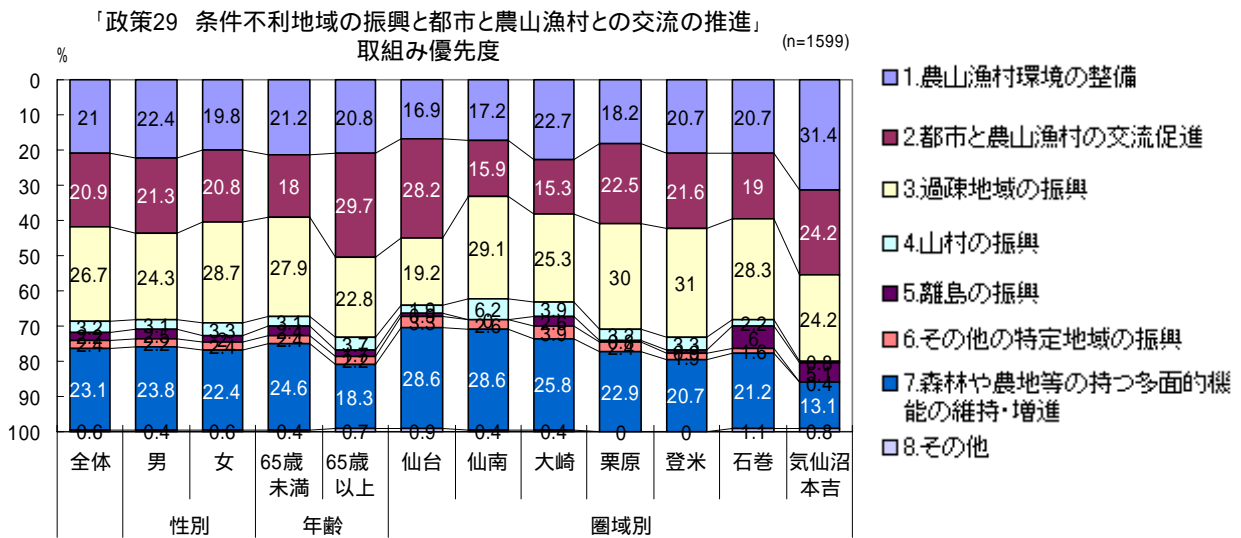
第1位は、仙台、石巻の2圏域では施策1「農山漁村環境の整備」、仙南、登米の2圏域では施策7「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」、大崎、栗原の2圏域では施策3「過疎地域の振興」、登米、気仙沼・本吉の2圏域では施策2「都市と農山漁村の交流促進」である（登米圏域では施策2と施策7が共に第1位になっている）。

第2位は、仙台、大崎、石巻の3圏域では施策7「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」、仙南、石巻の2圏域では施策3「過疎地域の振興」、栗原、気仙沼・本吉の2圏域では施策1「農山漁村環境の整備」である（石巻圏域では施策3と施策7が共に第2位になっている）。

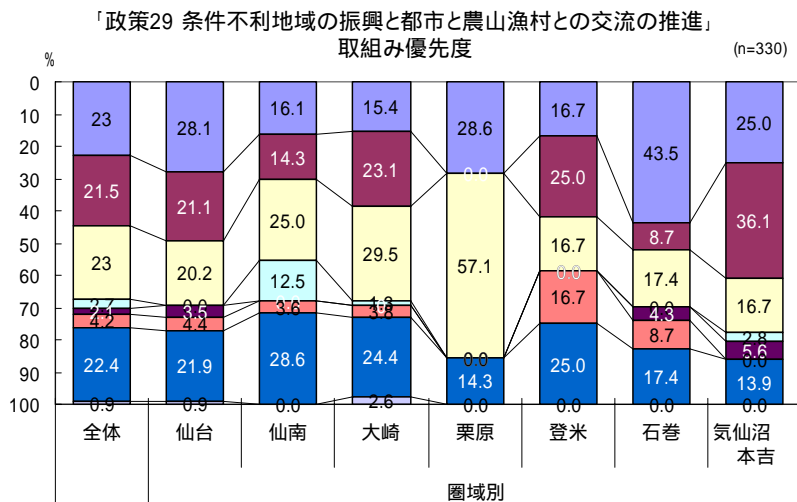
第3位は、仙台、大崎の2圏域では施策2「都市と農山漁村の交流促進」、仙南、登米の2圏域では施策1「農山漁村環境の整備」、登米、気仙沼・本吉の2圏域では施策3「過疎地域の振興」、栗原圏域では施策7「森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進」である（登米圏域では施策1と施策3が共に第3位である）。

政策 29 「条件不利地域の振興と都市と農山漁村との交流の推進」

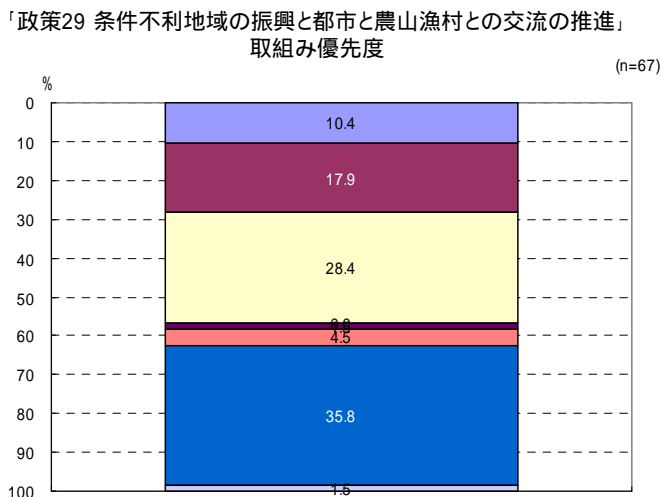
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 29 「条件不利地域の振興と  
都市と農山漁村との交流の推進」

【一般県民】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳 未満	65歳 以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.農山漁村環境の整備	21.0	22.4	19.8	21.2	20.8	16.9	17.2	22.7	18.2	20.7	20.7	31.4
2	2.都市と農山漁村の交流促進	20.9	21.3	20.8	18.0	29.7	28.2	15.9	15.3	22.5	21.6	19.0	24.2
3	3.過疎地域の振興	26.7	24.3	28.7	27.9	22.8	19.2	29.1	25.3	30.0	31.0	28.3	24.2
4	4.山村の振興	3.2	3.1	3.3	3.1	3.7	1.9	6.2	3.9	3.2	3.3	2.2	0.8
5	5.離島の振興	2.2	2.5	2.0	2.4	1.7	0.9	0.0	2.6	0.8	0.9	6.0	5.1
6	6.その他の特定地域の振興	2.4	2.2	2.4	2.4	2.2	3.3	2.6	3.9	2.4	1.9	1.6	0.4
7	7.森林や農地等の持つ多面的機能の 維持・増進	23.1	23.8	22.4	24.6	18.3	28.6	28.6	25.8	22.9	20.7	21.2	13.1
8	8.その他	0.6	0.4	0.6	0.4	0.7	0.9	0.4	0.4	0.0	0.0	1.1	0.8

【市町村職員】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.農山漁村環境の整備	23.0	28.1	16.1	15.4	28.6	16.7	43.5	25.0
2	2.都市と農山漁村の交流促進	21.5	21.1	14.3	23.1	0.0	25.0	8.7	36.1
3	3.過疎地域の振興	23.0	20.2	25.0	29.5	57.1	16.7	17.4	16.7
4	4.山村の振興	2.7	0.0	12.5	1.3	0.0	0.0	0.0	2.8
5	5.離島の振興	2.1	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	5.6
6	6.その他の特定地域の振興	4.2	4.4	3.6	3.8	0.0	16.7	8.7	0.0
7	7.森林や農地等の持つ多面的機能の 維持・増進	22.4	21.9	28.6	24.4	14.3	25.0	17.4	13.9
8	8.その他	0.9	0.9	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体
1	1.農山漁村環境の整備	10.4
2	2.都市と農山漁村の交流促進	17.9
3	3.過疎地域の振興	28.4
4	4.山村の振興	0.0
5	5.離島の振興	1.5
6	6.その他の特定地域の振興	4.5
7	7.森林や農地等の持つ多面的機能の 維持・増進	35.8
8	8.その他	1.5



政策 29「条件不利地域の振興と  
都市と農山漁村との交流の推進」

### 政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」は、県内各地域の住民が充実した医療・教育などの都市的サービスを受け、また、雇用の機会を得られるよう都市機能の整備と再生を目指す様々な施策で構成されている。

#### 1. 政策 30 の認知度

##### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 29.2%、低認知度群は 70.8%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（31.9%）が女性（26.5%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（42.6%）が 65 歳未満（24.4%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域（35.8%）では、回答者全体と比較して 6.6 ポイント低い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（22.9%）では 6.3 ポイント、気仙沼・本吉圏域（23.3%）では 5.9 ポイント低い。

(%)

政策 30 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.8	27.4	29.2	56.8	14.0	70.8	100.0

性別	男性	2.0	29.9	31.9	55.1	13.0	68.1	100.0
	女性	1.6	24.9	26.5	58.5	15.0	73.5	100.0
年齢別	65 歳未満	1.6	22.8	24.4	60.7	14.9	75.6	100.0
	65 歳以上	2.2	40.4	42.6	45.7	11.7	57.4	100.0

圏域別	仙台	0.9	30.7	31.6	51.2	17.2	68.4	100.0
	仙南	1.3	25.4	26.7	58.3	14.9	73.2	100.0
	大崎	1.7	34.1	35.8	52.4	11.8	64.2	100.0
	栗原	2.3	29.7	32.0	55.1	12.9	68.0	100.0
	登米	2.3	29.6	31.9	56.3	11.7	68.0	100.0
	石巻	2.2	20.7	22.9	62.0	15.1	77.1	100.0
	気仙沼・本吉	1.7	21.6	23.3	61.9	14.7	76.6	100.0

有効回答者数 1,596 名

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 39.0%、低認知度群は 61.0%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（71.4%）が 32.4 ポイント、登米圏域（63.6%）

が 24.6 ポイント、気仙沼・本吉圏域（50.0%）が 11.0 ポイント高い。

仙台圏域（33.4%）では、回答者全体と比較して 5.6 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 53.8%、低認知度群は 46.3%である。

(%)

政策 30 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	2.7	36.3	39.0	53.8	7.2	61.0	100.0	
圏 域 別	仙台	2.6	30.8	33.4	59.8	6.8	66.6	100.0
	仙南	5.4	30.4	35.8	53.6	10.7	64.3	100.0
	大崎	1.3	35.9	37.2	53.8	9.0	62.8	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	9.1	54.5	63.6	36.4	0.0	36.4	100.0
	石巻	4.8	38.1	42.9	47.6	9.5	57.1	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	50.0	50.0	47.4	2.6	50.0	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	6.0	47.8	53.8	43.3	3.0	46.3	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

## 2. 政策 30 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 79.5%、低関心度群は 20.6%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（80.2%）が女性（78.8%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（86.1%）が 65 歳未満（77.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策 30 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	24.1	55.4	79.5	17.5	3.1	20.6	100.0

性別	男性	22.5	57.7	80.2	17.6	2.2	19.8	100.0
	女性	25.3	53.5	78.8	17.4	3.8	21.2	100.0
年齢別	65 歳未満	20.4	56.8	77.2	19.9	2.9	22.8	100.0
	65 歳以上	34.5	51.6	86.1	10.6	3.4	14.0	100.0

圏域別	仙台	25.5	55.1	80.6	16.2	3.2	19.4	100.0
	仙南	22.4	54.3	76.7	21.1	2.2	23.3	100.0
	大崎	21.7	59.1	80.8	16.6	2.6	19.2	100.0
	栗原	25.1	57.1	82.2	15.1	2.7	17.8	100.0
	登米	26.1	53.7	79.8	17.9	2.3	20.2	100.0
	石巻	19.9	58.6	78.5	18.2	3.3	21.5	100.0
	気山沼・本吉	26.9	51.3	78.2	16.8	5.0	21.8	100.0

有効回答者数 1,625 名

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 77.6%、低関心度群は 22.4%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)では 22.4 ポイント、気仙沼・本吉圏域(86.9%)では 9.3 ポイント、石巻圏域(86.3%)では 8.7 ポイント、登米圏域(83.3%)では 5.7 ポイント高い。

仙南圏域(71.4%)では、回答者全体と比較して 6.2 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 89.6%、低関心度群は 10.5%である。

(%)

政策 30 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	17.6	60.0	77.6	19.4	3.0	22.4	100.0	
圏 域 別	仙台	19.7	75.3	22.2	2.6	24.8	100.0	
	仙南	8.9	71.4	25.0	3.6	28.6	100.0	
	大崎	12.8	65.4	78.2	19.2	2.6	21.8	100.0
	栗原	14.3	85.7	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	25.0	58.3	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	31.8	54.5	86.3	9.1	4.5	13.6	100.0
	気仙沼・本吉	23.7	63.2	86.9	7.9	5.3	13.2	100.0

有効回答者数 335 名

学識者等全体	23.9	65.7	89.6	7.5	3.0	10.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

### 3. 政策 30 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 25.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 47.8%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 44.3%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 40.0%と推定できる。

政策 30「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	50.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	60.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.1	(86.9)
満足度 60点未満の割合		60.9
要検討領域にある回答者全体の割合		47.8

有効回答者数；重視度 1,604人、満足度 1,586人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	1604	1586
	欠損値	117	135
平均値		73.85	50.28
平均値の標準誤差		.417	.439
中央値		75.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.697	17.478
分散		278.792	305.489
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	85.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	45.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	14.4	(85.6)
満足度 60点未満の割合		58.7
要検討領域にある回答者全体の割合		44.3

有効回答者数；重視度 334人、満足度 332人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	334	332
	欠損値	4	6
平均値		71.17	52.08
平均値の標準誤差		.855	.818
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.629	14.903
分散		244.278	222.103
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	60.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	62.5	50.0	12.5
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	9.2	(90.8)
満足度 60点未満の割合		49.2
要検討領域にある回答者全体の割合		40.0

有効回答者数；重視度 65人、満足度 65人

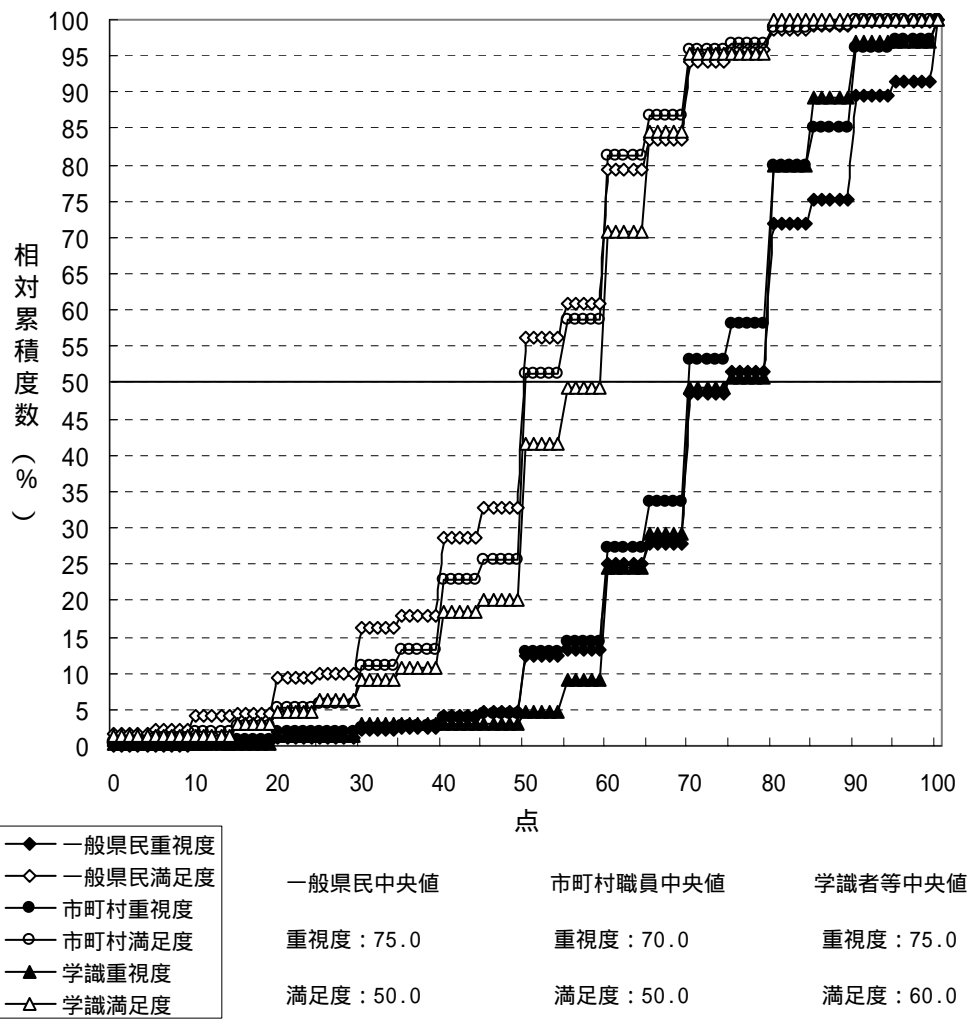
(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	65	65
	欠損値	4	4
平均値		72.69	54.46
平均値の標準誤差		1.758	1.812
中央値		75.00	60.00
最頻値		80	50 <sup>a</sup>
標準偏差		14.172	14.607
分散		200.841	213.377
範囲		80	70
最小値		20	10
最大値		100	80
パーセントイル	25	62.50	50.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されません。

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

「政策30 地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」





### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 75.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 25.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 12.5 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0点)が女性(7.5点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 51.6%、女性 44.1%と推定できる。

#### 中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値(点)

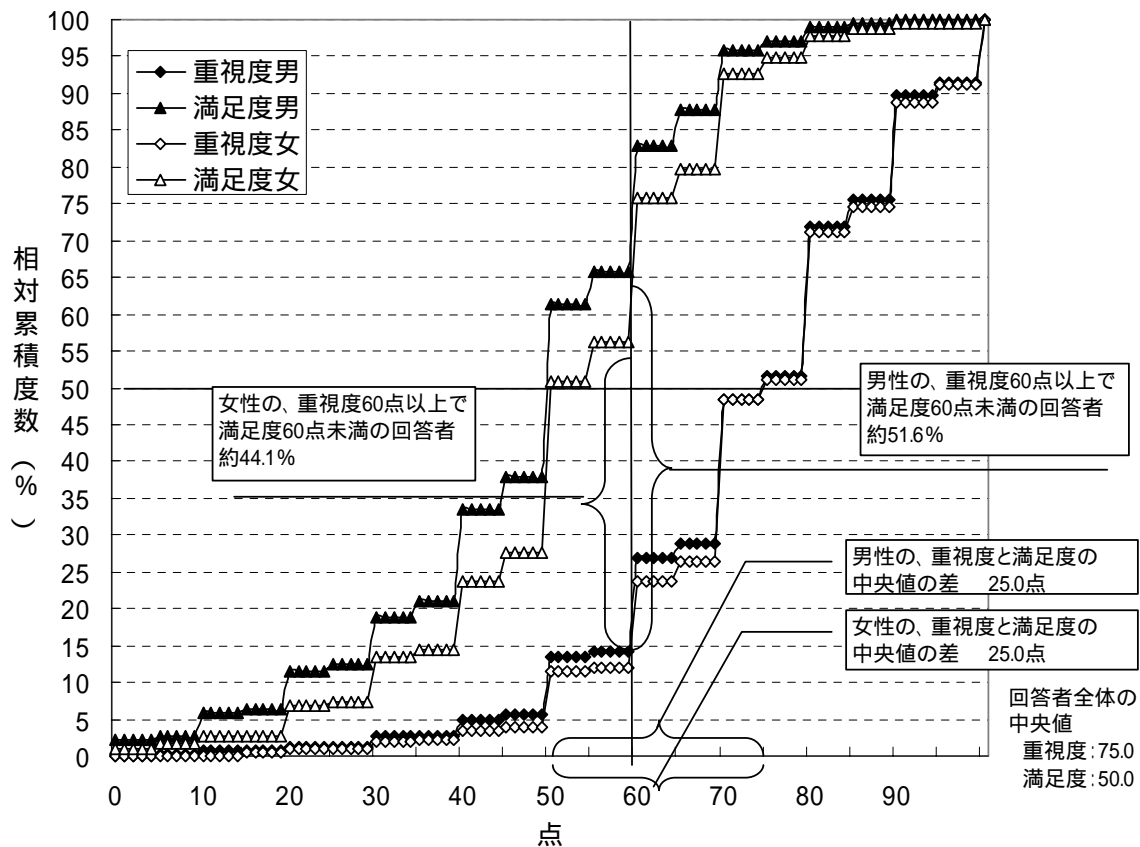
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	75.0	75.0	75.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	25.0	25.0	25.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	85.0	85.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	25.0	25.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	12.5	12.5	12.5
	満足度	10.0	10.0	7.5

#### 要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	14.2 (85.8)	12.1 (87.9)
満足度 60 点未満の割合	65.8	56.2
要検討領域にある回答者全体の割合	51.6	44.1

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	767	761
	欠損値	36	42
平均値		73.39	47.92
平均値の標準誤差		.623	.642
中央値		75.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.241	17.697
分散		297.241	313.189
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	50.00
	60	80.00	50.00
	75	85.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	819	808
	欠損値	77	88
平均値		74.37	52.65
平均値の標準誤差		.569	.593
中央値		75.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.292	16.852
分散		265.428	283.991
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	65.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

### 3 2 - 2 65 歳年齢区別

重視度の中央値は、65 歳未満（70.0 点）が 65 歳以上（80.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（20.0 点）が 65 歳以上（25.0 点）よりも小さい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 48.8%、65 歳以上 44.8%と推定できる。

#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

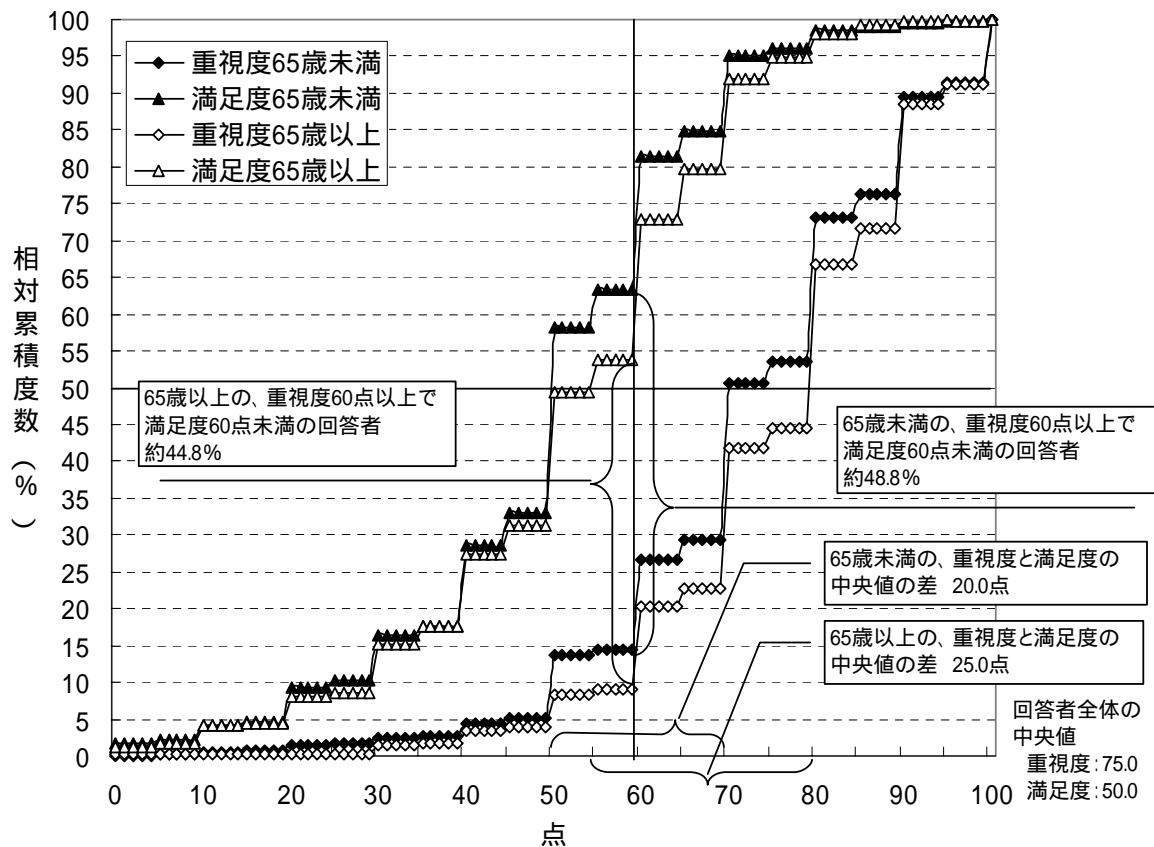
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	75.0	70.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	25.0	20.0	25.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	30.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	85.0	85.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	25.0	25.0	25.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	12.5	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	14.5 (85.5)	9.0 (91.0)
満足度 60 点未満の割合	63.3	53.8
要検討領域にある回答者全体の割合	48.8	44.8

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	1183	1173
	欠損値	57	67
平均値		73.10	49.80
平均値の標準誤差		.498	.504
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.138	17.261
分散		293.715	297.933
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	85.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策30重視度	政策30満足度
度数	有効	401	394
	欠損値	56	63
平均値		76.21	52.04
平均値の標準誤差		.766	.898
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	60
標準偏差		15.349	17.822
分散		235.596	317.634
範囲		70	95
最小値		30	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

### 3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(80.0点)、石巻圏域(80.0点)の2圏域が回答者全体(75.0点)よりも5ポイント高く、大崎圏域(70.0点)、仙南圏域(70.0点)、気仙沼・本吉圏域(70.0点)の3圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域(7.5点)が回答者全体(12.5点)よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(8.8点)が回答者全体(10.0点)よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(80.0点)、石巻圏域(80.0点)の2圏域が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント、登米圏域(75.0点)、気仙沼・本吉圏域(75.0点)の2圏域が5ポイント高い。

満足度の中央値は、栗原圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の2圏域が10ポイント、仙台圏域(55.0点)、大崎圏域(55.0点)の2圏域が5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、登米圏域(9.4点)、大崎圏域(7.5点)、石巻圏域(7.5点)、栗原圏域(5.0点)の4圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(15.0点)、仙南圏域(10.0点)、気仙沼・本吉圏域(10.0点)の3圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、登米圏域(6.9点)、大崎圏域(5.0点)、栗原圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	75.0	75.0	70.0	70.0	80.0	77.5	80.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	25.0	25.0	20.0	15.0	30.0	27.5	30.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	65.0	60.0	60.0	65.0	65.0	70.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	45.0	42.5	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	25.0	20.0	15.0	22.5	25.0	30.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	85.0	90.0	85.0	85.0	90.0	90.0	85.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	25.0	30.0	25.0	20.0	30.0	30.0	25.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	7.5	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	8.8	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	75.0	80.0	75.0
	満足度	50.0	55.0	50.0	55.0	60.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	15.0	20.0	15.0	20.0	15.0	30.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	65.0	70.0	65.0	65.0	60.0
	満足度	45.0	45.0	40.0	50.0	50.0	55.0	30.0	40.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	15.0	20.0	10.0	35.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	83.8	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	68.8	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	7.5	5.0	9.4	7.5	12.5
	満足度	7.5	7.5	10.0	5.0	5.0	6.9	15.0	10.0

#### 4. 政策 30 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 5 「快適な居住環境の整備」( 48.7% ) である。

第 2 位は施策 1 「各地域の中心都市の整備」( 16.7% ) である。

第 3 位は施策 3 「中心市街地の活性化」( 15.9% ) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 5 「快適な居住環境の整備」( 42.1% ) である。

第 2 位は施策 3 「中心市街地の活性化」( 19.1% ) である。

第 3 位は施策 1 「各地域の中心都市の整備」( 18.5% ) である。

学識者では、

第 1 位は施策 5 「快適な居住環境の整備」( 29.9% ) である。

第 2 位は施策 1 「各地域の中心都市の整備」( 25.4% ) である。

第 3 位は施策 3 「中心市街地の活性化」( 16.4% ) と施策 4 「良好な市街地の形成」( 16.4% ) である ( 施策 3 と施策 4 が共に第 3 位になっている )。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

#### 圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 5 「快適な居住環境の整備」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 3 「中心市街地の活性化」、栗原、登米の 2 圏域では施策 1 「各地域の中心都市の整備」である。

第 3 位は、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 1 「各地域の中心都市の整備」、仙台、登米の 2 圏域では施策 4 「良好な市街地の形成」、栗原圏域では施策 3 「中心市街地の活性化」、である。

市町村職員では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 5 「快適な居住環境の整備」、栗原圏域では施策 3 「中心市街地の活性化」である。

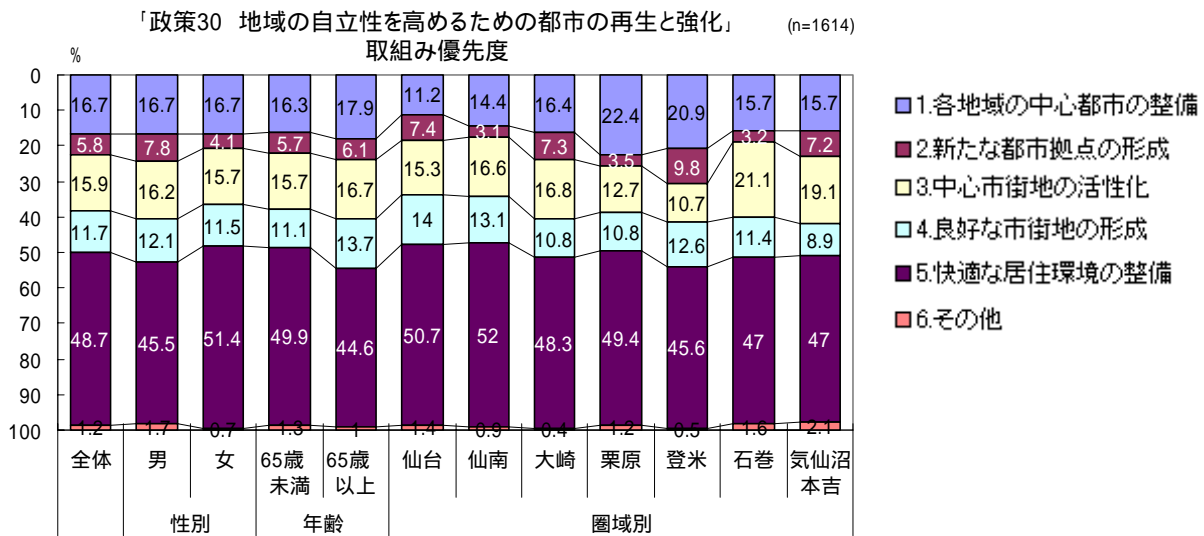
第 2 位は、仙台、仙南、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 3 「中心市街地の活性化」、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 1 「各地域の中心都市の整備」、仙台、栗原の 2 圏域では施策 4 「良好な市街地の形成」、栗原圏域では施策 2 「新たな都市拠点の形成」と施策 5 「快適な居住環境の整備」である（仙台圏域では施策 3 と施策 4 が、栗原圏域では施策 1 と施策 2 と施策 4 と施策 5 が、気仙沼・本吉圏域では施策 1 と施策 3 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙南、登米の 2 圏域では施策 1 「各地域の中心都市の整備」、大崎、石巻の 2 圏域では施策 3 「中心市街地の活性化」、登米圏域では施策 4 「良好な市街地の形成」である（登米圏域では施策 1 と施策 4 が共に第 3 位になっている）。

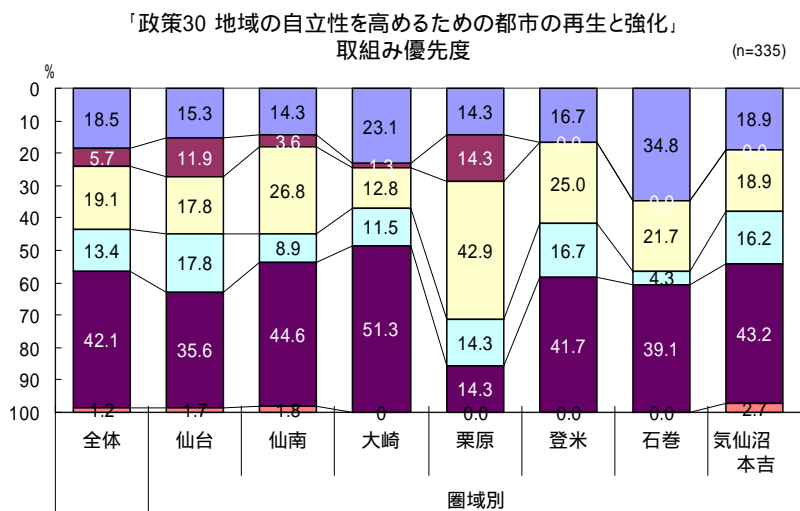


政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

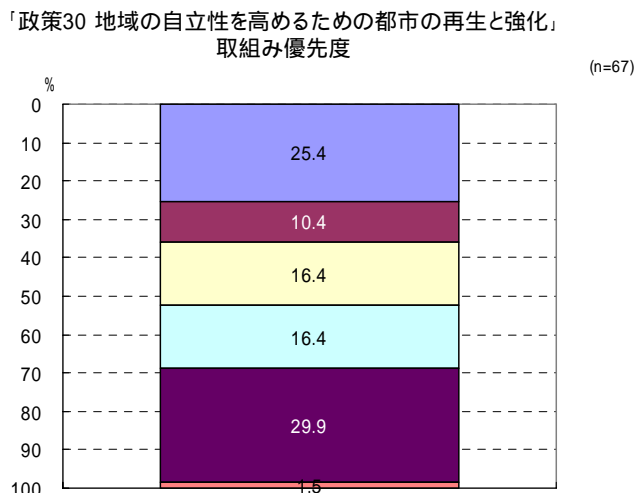
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.各地域の中心都市の整備	16.7	16.7	16.7	16.3	17.9	11.2	14.4	16.4	22.4	20.9	15.7	15.7
2	2.新たな都市拠点の形成	5.8	7.8	4.1	5.7	6.1	7.4	3.1	7.3	3.5	9.8	3.2	7.2
3	3.中心市街地の活性化	15.9	16.2	15.7	15.7	16.7	15.3	16.6	16.8	12.7	10.7	21.1	19.1
4	4.良好な市街地の形成	11.7	12.1	11.5	11.1	13.7	14.0	13.1	10.8	10.8	12.6	11.4	8.9
5	5.快適な居住環境の整備	48.7	45.5	51.4	49.9	44.6	50.7	52.0	48.3	49.4	45.6	47.0	47.0
6	6.その他	1.2	1.7	0.7	1.3	1.0	1.4	0.9	0.4	1.2	0.5	1.6	2.1

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.各地域の中心都市の整備	18.5	15.3	14.3	23.1	14.3	16.7	34.8	18.9
2	2.新たな都市拠点の形成	5.7	11.9	3.6	1.3	14.3	0.0	0.0	0.0
3	3.中心市街地の活性化	19.1	17.8	26.8	12.8	42.9	25.0	21.7	18.9
4	4.良好な市街地の形成	13.4	17.8	8.9	11.5	14.3	16.7	4.3	16.2
5	5.快適な居住環境の整備	42.1	35.6	44.6	51.3	14.3	41.7	39.1	43.2
6	6.その他	1.2	1.7	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.各地域の中心都市の整備	25.4
2	2.新たな都市拠点の形成	10.4
3	3.中心市街地の活性化	16.4
4	4.良好な市街地の形成	16.4
5	5.快適な居住環境の整備	29.9
6	6.その他	1.5

政策 30 「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」

## 政策 31 「広域的な地域連携の推進」

政策 31 「広域的な地域連携の推進」は、自治体が抱える様々な課題を協力して解決するため、自治体の区域を越えた広域的な連携を目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 31 の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 25.8%、低認知度群は 74.2%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（30.6%）が女性（21.0%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（35.1%）が 65 歳未満（22.4%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、石巻圏域（17.2%）では、回答者全体と比較して 8.6 ポイント低い。

(%)

政策 31 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.1	24.7	25.8	56.3	17.9	74.2	100.0

性別	男性	1.3	29.3	30.6	53.3	16.0	69.3	100.0
	女性	0.7	20.3	21.0	59.3	19.6	78.9	100.0
年齢別	65 歳未満	0.8	21.6	22.4	57.3	20.3	77.6	100.0
	65 歳以上	1.8	33.3	35.1	54.0	11.0	65.0	100.0

圏域別	仙台	0.5	24.4	24.9	56.8	18.3	75.1	100.0
	仙南	0.9	26.5	27.4	52.7	19.9	72.6	100.0
	大崎	0.9	29.0	29.9	54.5	15.6	70.1	100.0
	栗原	1.2	28.0	29.2	54.3	16.5	70.8	100.0
	登米	1.9	25.2	27.1	53.8	19.0	72.8	100.0
	石巻	1.7	15.5	17.2	65.2	17.7	82.9	100.0
	気仙沼・本吉	0.4	22.2	22.6	58.5	18.8	77.3	100.0

有効回答者数 1,581 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 51.6%、低認知度群は 48.4%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(85.7%)では 34.1 ポイント、登米圏域(83.3%)では 31.7 ポイント、気仙沼・本吉圏域(65.8%)では 14.2 ポイント、石巻圏域(59.1%)では 7.5 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙南圏域(42.6%)では 9.0 ポイント、大崎圏域(43.5%)では 8.1 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 60.6%、低認知度群は 39.4%である。

(%)

政策 31 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.3	48.3	51.6	43.5	4.9	48.4	100.0	
圏 域 別	仙台	4.3	45.7	50.0	41.4	8.6	50.0	100.0
	仙南	3.7	38.9	42.6	53.7	3.7	57.4	100.0
	大崎	5.3	38.2	43.5	52.6	3.9	56.5	100.0
	栗原	0.0	85.7	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	0.0	83.3	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	0.0	59.1	59.1	40.9	0.0	40.9	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	65.8	65.8	31.6	2.6	34.2	100.0

有効回答者数 329 名

学識者等全体	4.5	56.1	60.6	37.9	1.5	39.4	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

## 2. 政策 31 の関心度

## 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 62.7%、低関心度群は 37.3%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（66.6%）が女性（59.2%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（72.4%）が 65 歳未満（59.3%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

石巻圏域（50.9%）では、回答者全体と比較して 11.8 ポイント低い。

（%）

政策 31 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	12.6	50.1	62.7	31.7	5.6	37.3	100.0

性別	男性	14.6	52.0	66.6	28.9	4.6	33.5	100.0
	女性	10.6	48.6	59.2	34.3	6.5	40.8	100.0
年齢別	65 歳未満	9.0	50.3	59.3	34.7	6.0	40.7	100.0
	65 歳以上	22.9	49.5	72.4	23.2	4.4	27.6	100.0

圏 域 別	仙台	14.5	52.3	66.8	27.6	5.6	33.2	100.0
	仙南	10.5	54.6	65.1	29.7	5.2	34.9	100.0
	大崎	11.7	53.0	64.7	32.6	2.6	35.2	100.0
	栗原	16.5	49.0	65.5	27.6	6.9	34.5	100.0
	登米	16.2	43.3	59.5	35.2	5.2	40.4	100.0
	石巻	6.6	44.3	50.9	43.7	5.5	49.2	100.0
	気山沼・本吉	10.9	53.4	64.3	28.2	7.6	35.8	100.0

有効回答者数 1,607 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 79.0%、低関心度群は 21.0%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（89.5%）では 10.5 ポイント、栗原圏域（85.7%）では 6.7 ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は 86.4%、低関心度群は 13.6%である。

(%)

政策 31 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	18.6	60.4	79.0	19.8	1.2	21.0	100.0	
圏 域 別	仙台	16.2	58.1	74.3	23.1	2.6	25.7	100.0
	仙南	14.3	66.1	80.4	19.6	0.0	19.6	100.0
	大崎	18.4	61.8	80.2	18.4	1.3	19.7	100.0
	栗原	14.3	71.4	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	16.7	58.3	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0
	石巻	17.4	65.2	82.6	17.4	0.0	17.4	100.0
	気仙沼・本吉	34.2	55.3	89.5	10.5	0.0	10.5	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	30.3	56.1	86.4	12.1	1.5	13.6	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

### 3. 政策 31 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 41.2%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 40.0%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 36.3%と推定できる。



【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	19.3	(80.7)
満足度 60点未満の割合		60.5
要検討領域にある回答者全体の割合		41.2

有効回答者数；重視度 1,587人、満足度 1,573人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	1587	1573
	欠損値	134	148
平均値		68.94	50.19
平均値の標準誤差		.422	.433
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.793	17.163
分散		281.990	294.574
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.5	(86.5)
満足度 60点未満の割合		53.5
要検討領域にある回答者全体の割合		40.0

有効回答者数；重視度 334人、満足度 333人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	334	333
	欠損値	4	5
平均値		71.78	53.50
平均値の標準誤差		.864	.822
中央値		70.00	55.00
最頻値		80	60
標準偏差		15.794	15.005
分散		249.445	225.148
範囲		95	95
最小値		5	0
最大値		100	95
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	60.0	10.0
第1四分位数(25パーセントイル)	65.0	50.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	81.3	65.0	16.3

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

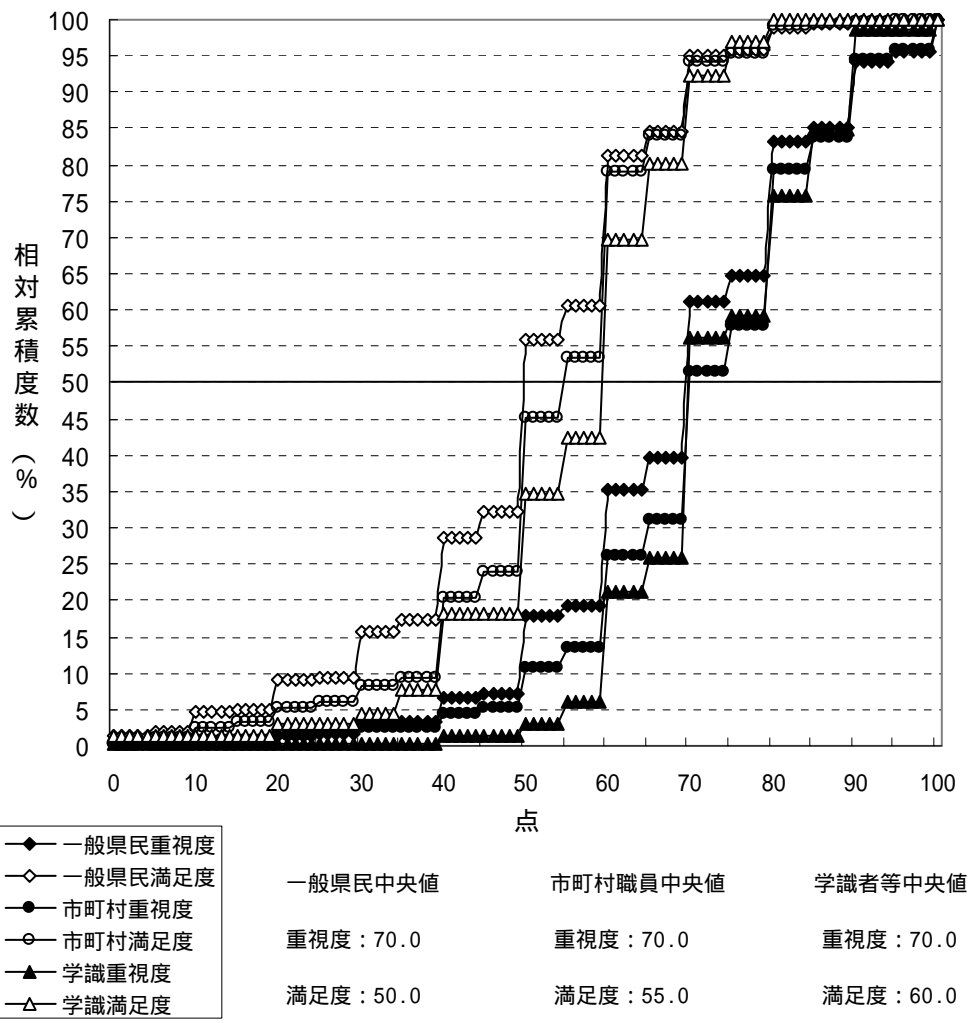
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.1	(93.9)
満足度 60点未満の割合		42.4
要検討領域にある回答者全体の割合		36.3

有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		73.41	56.36
平均値の標準誤差		1.453	1.629
中央値		70.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		11.805	13.230
分散		139.353	175.035
範囲		60	65
最小値		40	15
最大値		100	80
パーセントイル	25	65.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	70.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	81.25	65.00

「政策31 広域的な地域連携の推進」



### 3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 44.3%、女性 38.4%と推定できる。

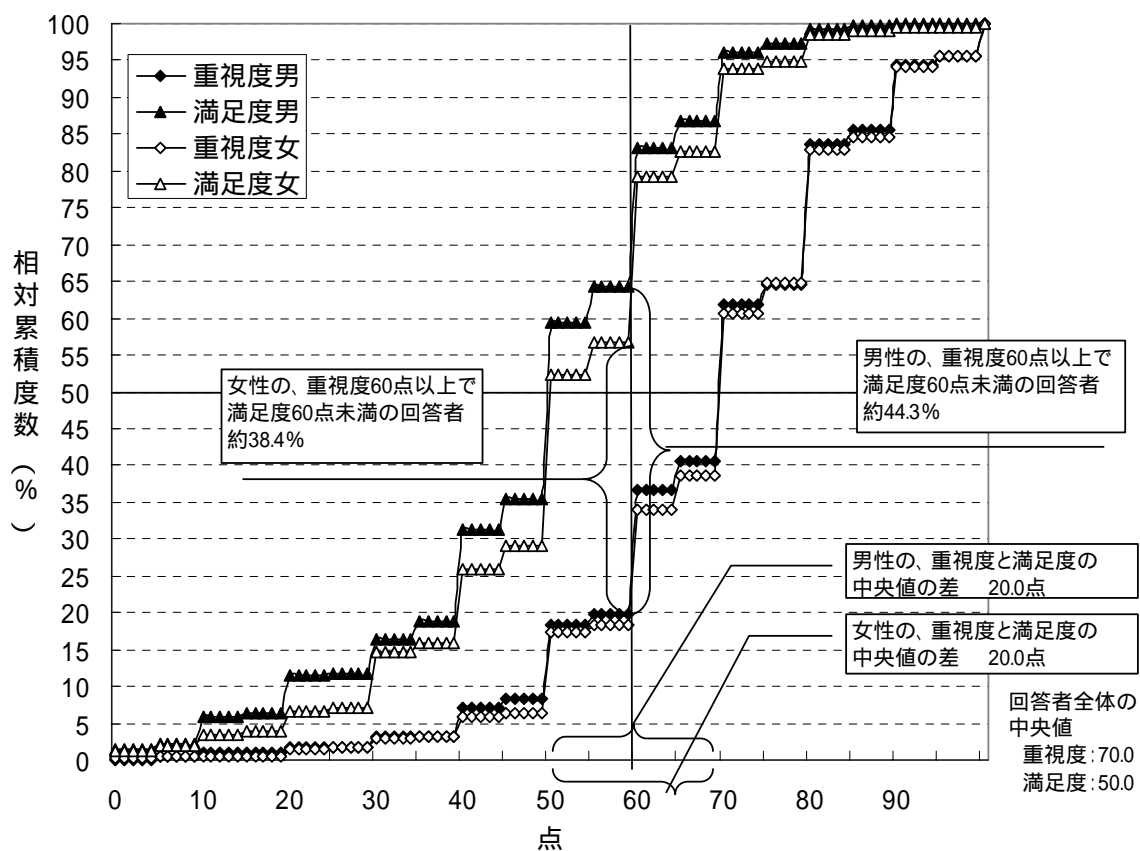
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	19.9 (80.1)	18.4 (81.6)
満足度 60 点未満の割合	64.2	56.8
要検討領域にある回答者全体の割合	44.3	38.4

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	762	757
	欠損値	41	46
平均値		68.57	48.63
平均値の標準誤差		.616	.632
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.014	17.376
分散		289.475	301.931
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	809	801
	欠損値	87	95
平均値		69.30	51.73
平均値の標準誤差		.579	.596
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.466	16.870
分散		271.139	284.600
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

## 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 41.8%、65 歳以上 39.6%と推定できる。

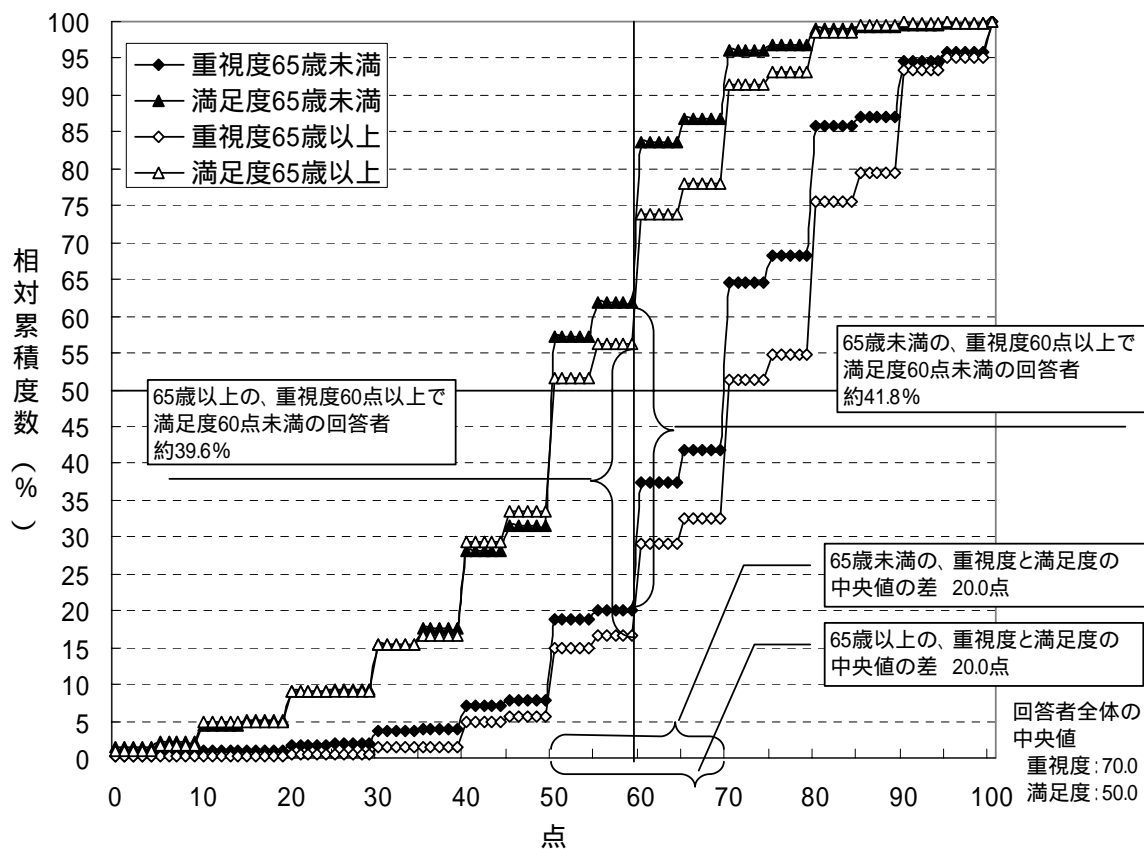
## 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5

## 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	20.0 (80.0)	16.7 (83.3)
満足度 60 点未満の割合	61.8	56.3
要検討領域にある回答者全体の割合	41.8	39.6

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	1173	1167
	欠損値	67	73
平均値		67.85	49.77
平均値の標準誤差		.492	.493
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.848	16.835
分散		283.862	283.418
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策31重視度	政策31満足度
度数	有効	396	389
	欠損値	61	68
平均値		72.13	51.61
平均値の標準誤差		.801	.920
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.945	18.143
分散		254.233	329.177
範囲		80	90
最小値		20	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

### 3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(70.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、大崎圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、大崎圏域(9.4点)が回答者全体(10.0点)よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(85.0点)が回答者全体(70.0点)よりも15.0ポイント、

気仙沼・本吉圏域(80.0点)が10ポイント、大崎圏域(75.0点)が5ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)の2圏域が回答者全体(55.0点)よりも5ポイント高く、仙南圏域(50.0点)、石巻圏域(50.0点)の2圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(15.0点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(7.5点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(10.0点)、仙南圏域(7.5点)、大崎圏域(7.5点)、石巻圏域(7.5点)の4圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きく、栗原圏域(2.5点)が小さい。

## 【一般県民】

## 中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	41.3	40.0	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	18.8	20.0	20.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	9.4	10.0	10.0	10.0	10.0

## 【市町村職員】

## 中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	75.0	85.0	72.5	70.0	80.0
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	60.0	55.0	50.0	52.5
	かい離	15.0	15.0	20.0	15.0	25.0	17.5	20.0	27.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	60.0	60.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	60.0	50.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	15.0	15.0	0.0	10.0	20.0	30.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	80.0	80.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	60.0	55.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	25.0	20.0	25.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	7.5	15.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	5.0	5.0	7.5	7.5	2.5	5.0	7.5	10.0



#### 4. 政策 31 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

- 第 1 位は施策 7 「生活・医療面での連携」( 44.4% ) である。
- 第 2 位は施策 1 「地方分権の推進のための連携」( 13.8% ) である。
- 第 3 位は施策 3 「環境の保全のための連携」( 13.3% ) である。

市町村職員では、

- 第 1 位は施策 7 「生活・医療面での連携」( 33.1% ) である。
- 第 2 位は施策 1 「地方分権の推進のための連携」( 25.7% ) である。
- 第 3 位は施策 6 「観光・経済面での連携」( 15.2% ) である。

学識者では、

- 第 1 位は施策 6 「観光・経済面での連携」( 29.9% ) である。
- 第 2 位は施策 7 「生活・医療面での連携」( 19.4% ) である。
- 第 3 位は施策 1 「地方分権の推進のための連携」( 17.9% ) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

- 第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 7 「生活・医療面での連携」である。
- 第 2 位は、65 歳未満では施策 3 「環境の保全のための連携」、65 歳以上では施策 1 「地方分権の推進のための連携」である。
- 第 3 位は、65 歳未満では施策 1 「地方分権の推進のための連携」、65 歳以上では施策 3 「環境の保全のための連携」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 7 「生活・医療面での連携」である。

第 2 位は、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 5 圏域では施策 1 「地方分権の推進のための連携」、仙台、石巻の 2 圏域では施策 3 「環境の保全のための連携」、気仙沼・本吉圏域では施策 2 「高速道路、空港、港湾などの活用のための連携」である（石巻圏域では施策 1 と施策 3 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙南、大崎、栗原、登米の 4 圏域では施策 3 「環境の保全のための連携」、仙台圏域では施策 2 「高速道路、空港、港湾などの活用のための連携」、気仙沼・本吉圏域では施策 6 「観光・経済面での連携」である。

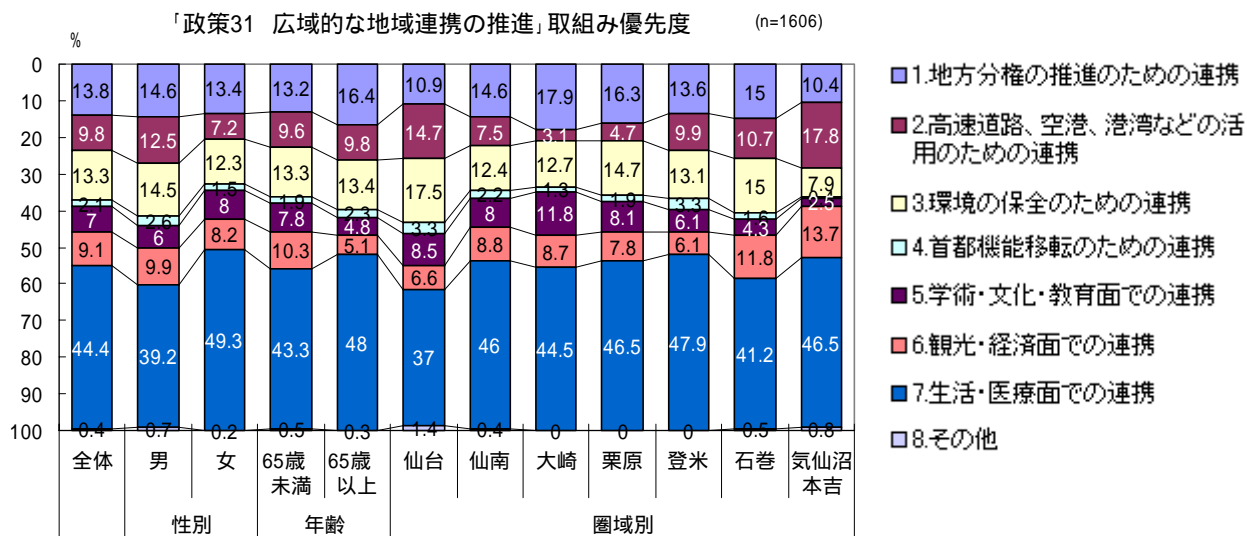
市町村職員では、

第 1 位は、仙台、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 7 「生活・医療面での連携」、仙南、登米、石巻の 3 圏域では施策 1 「地方分権の推進のための連携」である（石巻圏域では施策 1 と施策 7 が共に第 1 位になっている）。

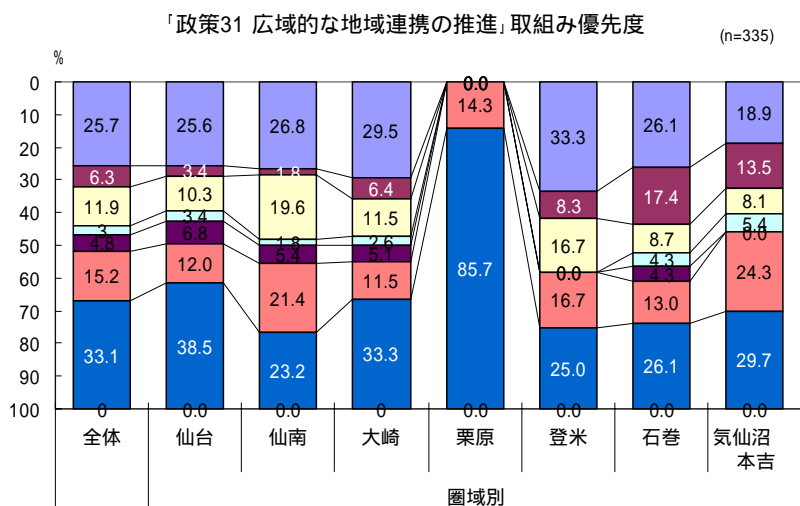
第 2 位は、仙台、大崎の 2 圏域では施策 1 「地方分権の推進のための連携」、仙南、登米の 2 圏域では施策 7 「生活・医療面での連携」、栗原、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 6 「観光・経済面での連携」である。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、登米の 4 圏域では施策 6 「観光・経済面での連携」、大崎、栗原、登米の 3 圏域では施策 3 「環境の保全のための連携」、栗原、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 1 「地方分権の推進のための連携」、栗原圏域では施策 1 「地方分権の推進のための連携」と施策 2 「高速道路、空港、港湾などの活用のための連携」と施策 4 「首都機能移転のための連携」と施策 5 「学術・文化・教育面での連携」と施策 6 「その他」である（大崎圏域では施策 3 と施策 6 が、栗原圏域では施策 1 と施策 2 と施策 3 と施策 4 と施策 5 と施策 8 が、登米圏域では施策 3 と施策 6 が共に第 3 位になっている）。

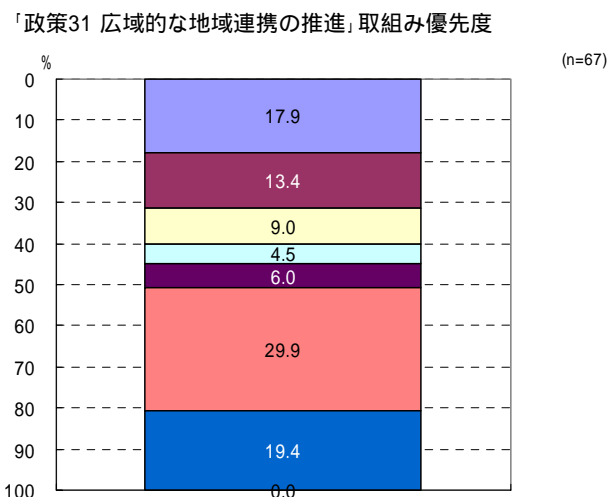
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 31 「広域的な地域連携の推進」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地方分権の推進のための連携	13.8	14.6	13.4	13.2	16.4	10.9	14.6	17.9	16.3	13.6	15.0	10.4
2	2.高速道路、空港、港湾などの活用のための連携	9.8	12.5	7.2	9.6	9.8	14.7	7.5	3.1	4.7	9.9	10.7	17.8
3	3.環境の保全のための連携	13.3	14.5	12.3	13.3	13.4	17.5	12.4	12.7	14.7	13.1	15.0	7.9
4	4.首都機能移転のための連携	2.1	2.6	1.5	1.9	2.3	3.3	2.2	1.3	1.9	3.3	1.6	0.4
5	5.学術・文化・教育面での連携	7.0	6.0	8.0	7.8	4.8	8.5	8.0	11.8	8.1	6.1	4.3	2.5
6	6.観光・経済面での連携	9.1	9.9	8.2	10.3	5.1	6.6	8.8	8.7	7.8	6.1	11.8	13.7
7	7.生活・医療面での連携	44.4	39.2	49.3	43.3	48.0	37.0	46.0	44.5	46.5	47.9	41.2	46.5
8	8.その他	0.4	0.7	0.2	0.5	0.3	1.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.5	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地方分権の推進のための連携	25.7	25.6	26.8	29.5	0.0	33.3	26.1	18.9
2	2.高速道路、空港、港湾などの活用のための連携	6.3	3.4	1.8	6.4	0.0	8.3	17.4	13.5
3	3.環境の保全のための連携	11.9	10.3	19.6	11.5	0.0	16.7	8.7	8.1
4	4.首都機能移転のための連携	3.0	3.4	1.8	2.6	0.0	0.0	4.3	5.4
5	5.学術・文化・教育面での連携	4.8	6.8	5.4	5.1	0.0	0.0	4.3	0.0
6	6.観光・経済面での連携	15.2	12.0	21.4	11.5	14.3	16.7	13.0	24.3
7	7.生活・医療面での連携	33.1	38.5	23.2	33.3	85.7	25.0	26.1	29.7
8	8.その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.地方分権の推進のための連携	17.9
2	2.高速道路、空港、港湾などの活用のための連携	13.4
3	3.環境の保全のための連携	9.0
4	4.首都機能移転のための連携	4.5
5	5.学術・文化・教育面での連携	6.0
6	6.観光・経済面での連携	29.9
7	7.生活・医療面での連携	19.4
8	8.その他	0.0



## 政策 32 「分権社会の形成」

政策 32 「分権社会の形成」は、国・県・市町村などの役割分担を見直しながら連携を強化し、地域の自主性・自立性を高め、地域住民による自己決定・自己責任を基本とした個性豊かで活気に満ちた地域社会づくりを目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 32 の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 24.3%、低認知度群は 75.7%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（29.2%）が女性（19.5%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（30.7%）が 65 歳未満（21.9%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（18.5%）では 5.8 ポイント、石巻圏域（19.0%）では 5.3 ポイント低い。

(%)

政策 32 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.4	22.9	24.3	57.9	17.8	75.7	100.0

性別	男性	1.6	27.6	29.2	55.9	14.9	70.8	100.0
	女性	1.2	18.3	19.5	60.0	20.5	80.5	100.0
年齢別	65 歳未満	1.3	20.6	21.9	58.8	19.3	78.1	100.0
	65 歳以上	1.8	28.9	30.7	55.9	13.4	69.3	100.0

圏域別	仙台	1.4	19.6	21.0	56.9	22.0	78.9	100.0
	仙南	2.2	23.3	25.5	56.4	18.1	74.5	100.0
	大崎	0.9	27.6	28.5	56.1	15.4	71.5	100.0
	栗原	1.2	26.5	27.7	55.3	17.1	72.4	100.0
	登米	2.0	26.5	28.5	54.4	17.2	71.6	100.0
	石巻	1.6	17.4	19.0	62.0	19.0	81.0	100.0
	気仙沼・本吉	0.4	18.1	18.5	63.3	18.1	81.4	100.0

有効回答者数 1,588 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 65.6%、低認知度群は 34.5%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（100.0%）と栗原圏域（100.0%）ではともに 34.4 ポイント高く、気仙沼・本吉圏域（75.7%）では 10.1 ポイント高い。

大崎圏域（58.4%）では、回答者全体と比較して 7.2 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 56.1%、低認知度群は 43.9%である。

(%)

政策 32 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	6.8	58.8	65.6	30.8	3.7	34.5	100.0	
圏域別	仙台	8.9	51.8	60.7	34.8	4.5	39.3	100.0
	仙南	5.7	62.3	68.0	28.3	3.8	32.1	100.0
	大崎	5.2	53.2	58.4	37.7	3.9	41.6	100.0
	栗原	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	8.3	91.7	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	9.1	54.5	63.6	27.3	9.1	36.4	100.0
	気仙沼・本吉	5.4	70.3	75.7	24.3	0.0	24.3	100.0

有効回答者数 325 名

学識者等全体	10.6	45.5	56.1	40.9	3.0	43.9	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

## 2. 政策 32 の関心度

## 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 62.1%、低関心度群は 37.9%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（66.7%）が女性（57.9%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（71.1%）が 65 歳未満（59.1%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

石巻圏域（51.9%）では、回答者全体と比較して 10.2 ポイント低い。

（%）

政策 32 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	13.3	48.8	62.1	31.5	6.4	37.9	100.0

性別	男性	15.8	50.9	66.7	27.8	5.5	33.3	100.0
	女性	11.1	46.8	57.9	34.9	7.2	42.1	100.0
年齢別	65 歳未満	11.1	48.0	59.1	34.2	6.7	40.9	100.0
	65 歳以上	20.2	50.9	71.1	23.4	5.5	28.9	100.0

圏域別	仙台	10.4	50.0	60.4	34.9	4.7	39.6	100.0
	仙南	13.0	53.2	66.2	26.8	6.9	33.7	100.0
	大崎	15.5	49.6	65.1	30.2	4.7	34.9	100.0
	栗原	16.0	48.7	64.7	28.9	6.5	35.4	100.0
	登米	16.8	45.7	62.5	31.3	6.3	37.6	100.0
	石巻	7.0	44.9	51.9	37.8	10.3	48.1	100.0
	気山沼・本吉	13.4	48.3	61.7	31.9	6.3	38.2	100.0

有効回答者数 1,615 名



1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 84.6%、低関心度群は 15.4%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（100.0%）、登米圏域（100.0%）では共に 15.4 ポイント、仙南圏域（90.9%）では 6.3 ポイント高い。

仙台圏域（77.4%）では、回答者全体と比較して 7.2 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 81.9%、低関心度群は 18.2%である。

(%)

政策 32 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	24.1	60.5	84.6	13.6	1.8	15.4	100.0	
圏 域 別	仙台	22.6	77.4	21.7	0.9	22.6	100.0	
	仙南	29.1	90.9	7.3	1.8	9.1	100.0	
	大崎	19.5	84.4	11.7	3.9	15.6	100.0	
	栗原	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	
	登米	25.0	75.0	100.0	0.0	0.0	100.0	
	石巻	34.8	52.2	87.0	13.0	0.0	13.0	100.0
	気山沼・本吉	28.9	60.5	89.4	7.9	2.6	10.5	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	25.8	56.1	81.9	18.2	0.0	18.2	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

### 3. 政策 32 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 41.2%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 25.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 42.8%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 72.5 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 12.5 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 34.9%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	21.8	(78.2)
満足度 60点未満の割合		63.0
要検討領域にある回答者全体の割合		41.2

有効回答者数；重視度 1,584人、満足度 1,572人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策32重視度	政策32満足度
度数	有効	1584	1572
	欠損値	137	149
平均値		67.95	49.48
平均値の標準誤差		.439	.426
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.491	16.886
分散		305.924	285.138
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	55.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	65.0	45.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	60.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	12.9	(87.1)
満足度 60点未満の割合		55.7
要検討領域にある回答者全体の割合		42.8

有効回答者数；重視度 333人、満足度 332人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策32重視度	政策32満足度
度数	有効	333	332
	欠損値	5	6
平均値		73.08	52.17
平均値の標準誤差		.950	.886
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50 <sup>a</sup>
標準偏差		17.331	16.141
分散		300.361	260.539
範囲		100	85
最小値		0	0
最大値		100	85
パーセントイル	25	65.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	60.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	72.5	60.0	12.5
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	65.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

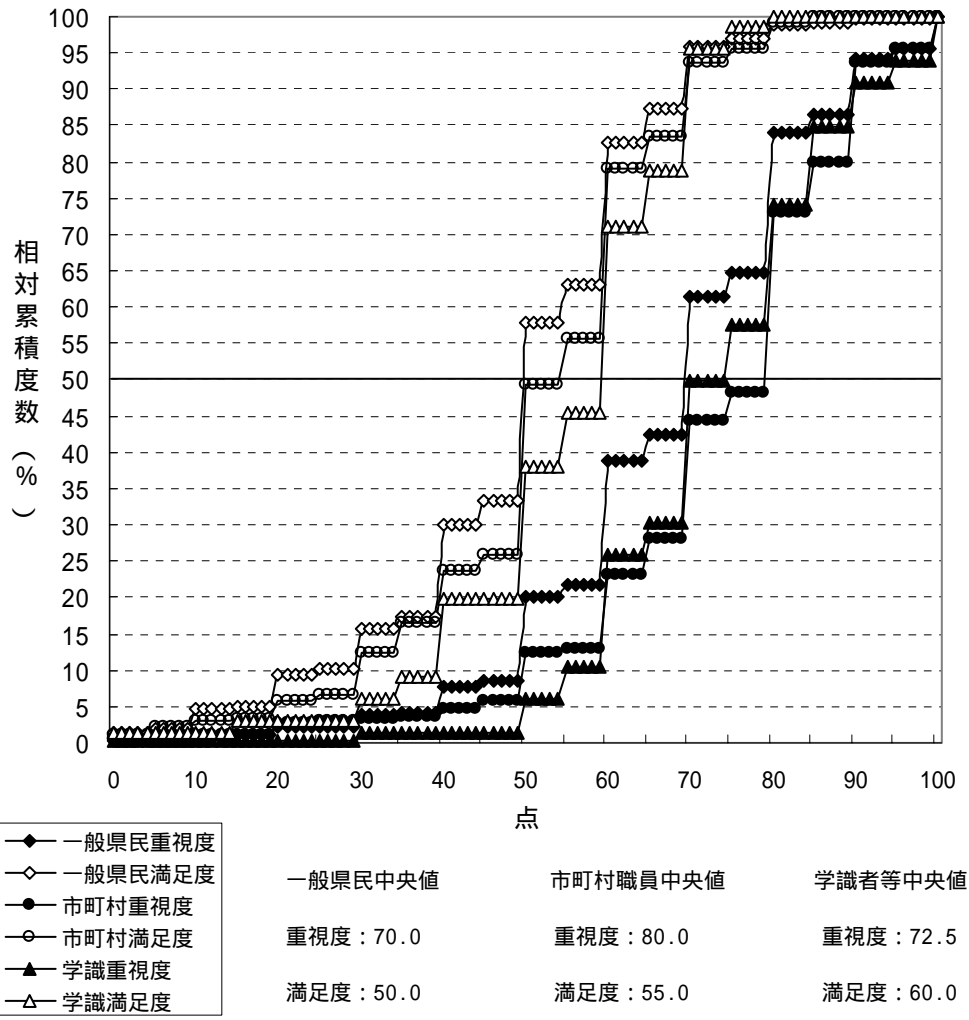
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.6	(89.4)
満足度 60点未満の割合		45.5
要検討領域にある回答者全体の割合		34.9

有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策32重視度	政策32満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		73.48	55.38
平均値の標準誤差		1.741	1.698
中央値		72.50	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		14.141	13.793
分散		199.977	190.239
範囲		70	70
最小値		30	10
最大値		100	80
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	72.50	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

「政策32 分権社会の形成」



### 3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 45.4%、女性 37.2%と推定できる。

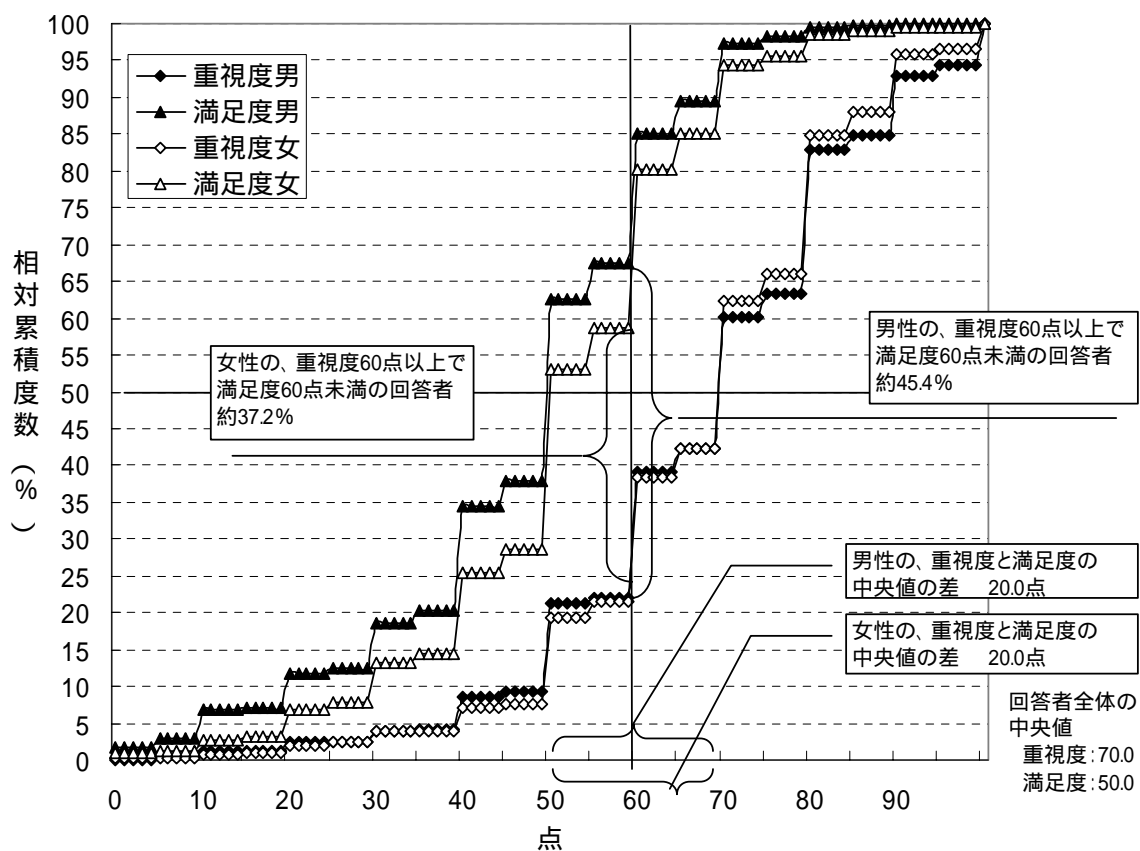
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	22.1 (77.9)	21.4 (78.6)
満足度 60 点未満の割合	67.5	58.6
要検討領域にある回答者全体の割合	45.4	37.2

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策32重視度	政策32満足度
度数	有効	764	758
	欠損値	39	45
平均値		68.14	47.34
平均値の標準誤差		.658	.630
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.186	17.340
分散		330.748	300.683
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策32重視度	政策32満足度
度数	有効	803	798
	欠損値	93	98
平均値		67.80	51.60
平均値の標準誤差		.596	.574
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.881	16.207
分散		284.969	262.669
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

## 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 41.0%、65 歳以上 41.9%と推定できる。

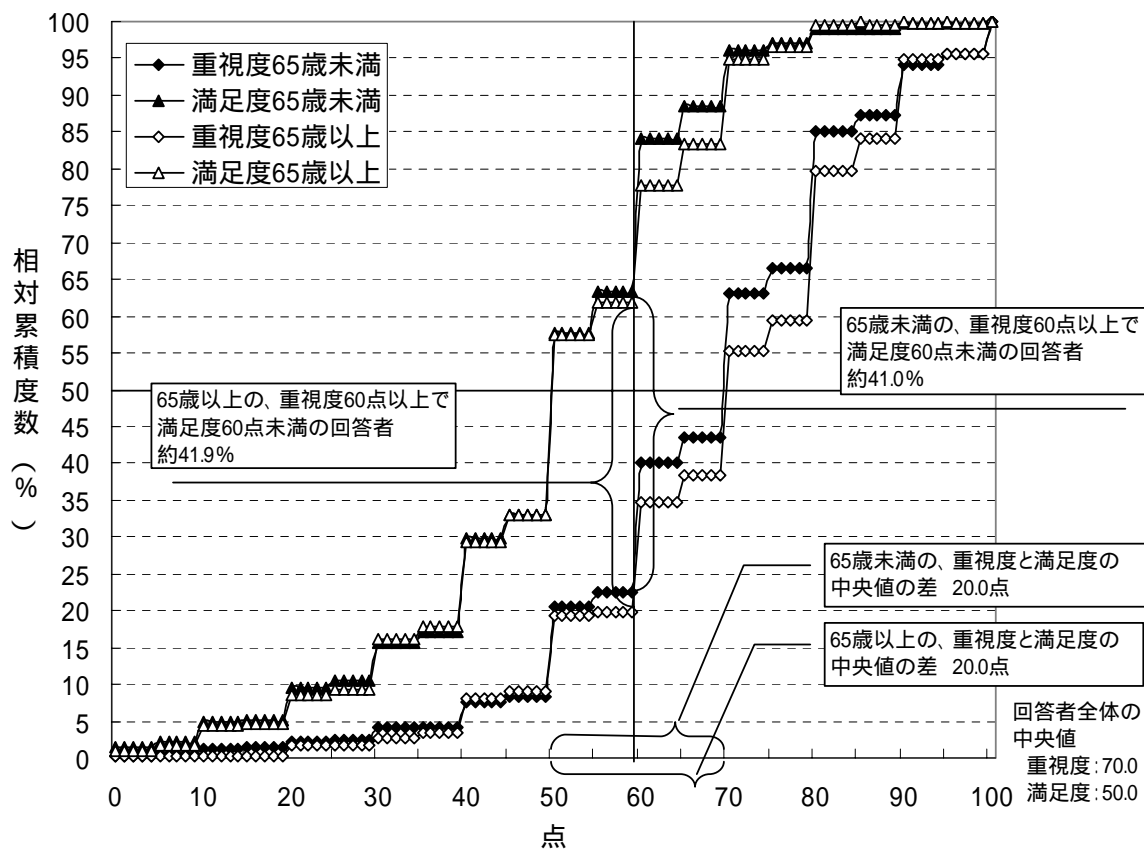
## 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

## 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	22.4 (77.6)	19.9 (80.1)
満足度 60 点未満の割合	63.4	61.8
要検討領域にある回答者全体の割合	41.0	41.9

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策32重視度	政策32満足度
度数	有効	1178	1169
	欠損値	62	71
平均値		67.43	49.33
平均値の標準誤差		.513	.494
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.600	16.875
分散		309.777	284.758
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策32重視度	政策32満足度
度数	有効	387	385
	欠損値	70	72
平均値		69.56	50.14
平均値の標準誤差		.875	.866
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.221	16.984
分散		296.568	288.456
範囲		90	85
最小値		10	0
最大値		100	85
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00



### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 ( 70.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、回答者全体 ( 50.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、登米圏域 ( 7.5 点 ) が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙南圏域 ( 70.0 点 ) が回答者全体 ( 80.0 点 ) よりも 10 ポイント、  
気仙沼・本吉圏域 ( 72.5 点 ) が 7.5 ポイント、石巻圏域 ( 75.0 点 ) が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域 ( 60.0 点 )、栗原圏域 ( 60.0 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 55.0 点 ) よりも 5 ポイント高く、仙南圏域 ( 50.0 点 )、登米圏域 ( 50.0 点 )、石巻圏域 ( 50.0 点 )、  
気仙沼・本吉圏域 ( 50.0 点 ) の 4 圏域が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域 ( 15.0 点 )、石巻圏域 ( 12.5 点 ) の 2 圏域が  
回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きく、登米圏域 ( 8.8 点 )、仙台圏域 ( 7.5 点 )、仙南圏域  
( 7.5 点 )、大崎圏域 ( 7.5 点 )、栗原圏域 ( 2.5 点 ) の 5 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域 ( 12.5 点 )、仙南圏域 ( 10.0 点 )、栗原圏域 ( 10.0 点 )、  
石巻圏域 ( 10.0 点 ) の 4 圏域が回答者全体 ( 7.5 点 ) よりも大きく、仙台圏域 ( 5.0 点 )、  
登米圏域 ( 2.5 点 ) の 2 圏域が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	70.0	80.0	80.0	80.0	75.0	72.5
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	60.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	25.0	25.0	20.0	20.0	20.0	30.0	25.0	22.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	65.0	65.0	65.0	70.0	80.0	66.3	60.0	60.0
	満足度	45.0	50.0	40.0	50.0	50.0	50.0	35.0	35.0
	かい離	20.0	15.0	25.0	20.0	30.0	16.3	25.0	25.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	85.0	80.0	80.0	85.0	85.0	83.8	85.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	70.0	55.0	55.0	60.0
	かい離	25.0	20.0	20.0	20.0	15.0	28.8	30.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	7.5	7.5	7.5	2.5	8.8	12.5	15.0
	満足度	7.5	5.0	10.0	7.5	10.0	2.5	10.0	12.5

#### 4. 政策 32 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

- 第 1 位は施策 1 「住民参加型の行政運営」( 35.1% ) である。
- 第 2 位は施策 4 「地方自治体の自主財源の確保」( 23.7% ) である。
- 第 3 位は施策 2 「情報公開の推進」( 13.6% ) である。

市町村職員では、

- 第 1 位は施策 4 「地方自治体の自主財源の確保」( 38.6% ) である。
- 第 2 位は施策 1 「住民参加型の行政運営」( 30.5% ) である。
- 第 3 位は施策 6 「地方分権時代における市町村支援」( 18.3% ) である。

学識者では、

- 第 1 位は施策 1 「住民参加型の行政運営」( 37.3% ) である。
- 第 2 位は施策 4 「地方自治体の自主財源の確保」( 19.4% ) である。
- 第 3 位は施策 6 「地方分権時代における市町村支援」( 14.9% ) である。

性別

一般県民では、

- 性別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。
- 第 3 位は、男性では施策 2 「情報公開の推進」、女性では施策 2 「情報公開の推進」と施策 6 「地方分権時代における市町村支援」である(女性では施策 2 と施策 6 が共に第 3 位になっている)。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

- 65 歳年齢区分別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。
- 第 3 位は、65 歳未満では施策 2 「情報公開の推進」、65 歳以上では施策 6 「地方分権時代における市町村支援」である。

#### 圏域別

一般県民では、  
圏域別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

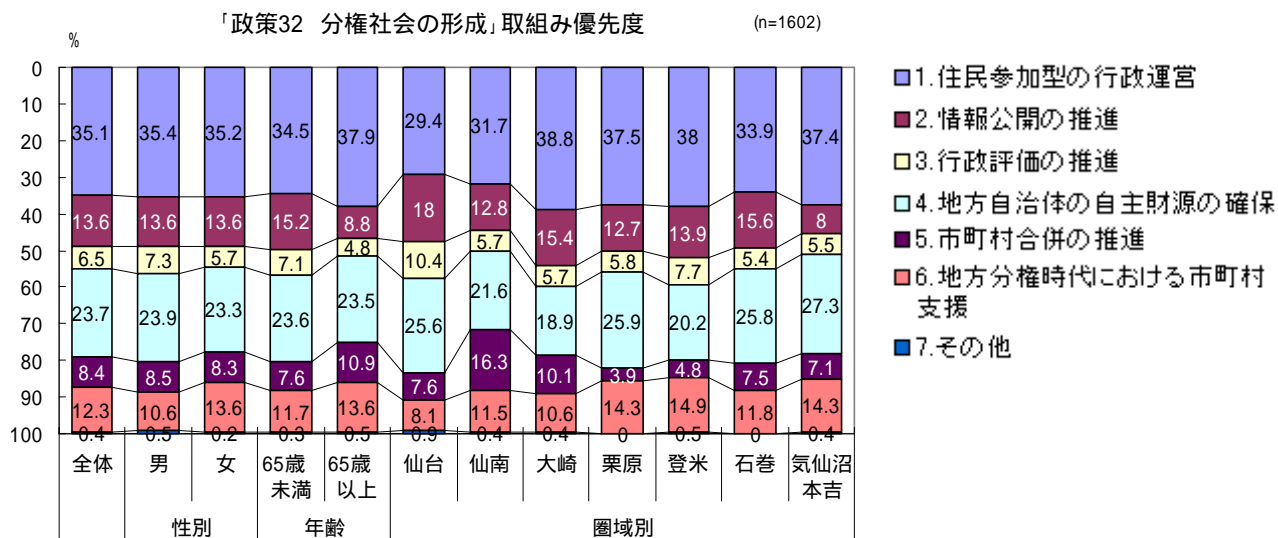
第 3 位は、仙台、大崎、石巻の 3 圏域では施策 2 「情報公開の推進」、栗原、登米、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 6 「地方分権時代における市町村支援」、仙南圏域では施策 5 「市町村合併の推進」である。

市町村職員では、  
第 1 位は、仙台、仙南、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 4 「地方自治体の自主財源の確保」、大崎、登米の 2 圏域では施策 1 「住民参加型の行政運営」である。

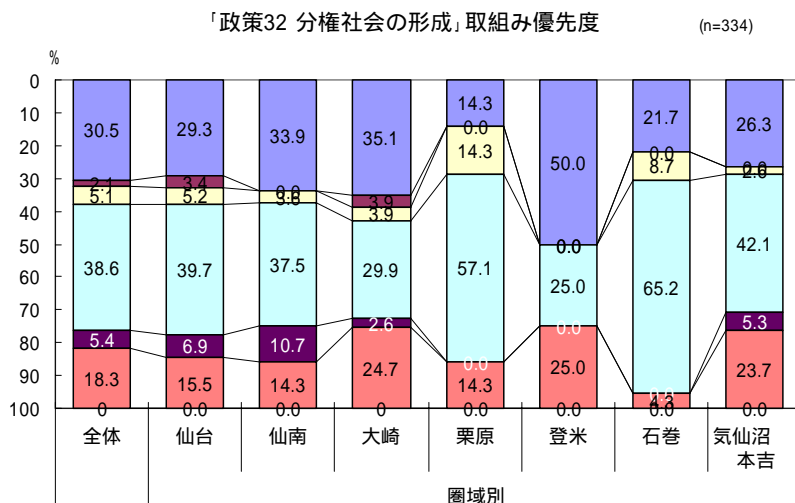
第 2 位は、仙台、仙南、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 1 「住民参加型の行政運営」、大崎、登米の 2 圏域では施策 4 「地方自治体の自主財源の確保」、栗原、登米の 2 圏域では施策 6 「地方分権時代における市町村支援」、栗原圏域では施策 3 「行政評価の推進」である（栗原圏域では施策 1 と施策 3 と施策 6 が、登米圏域では施策 4 と施策 6 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 6 「地方分権時代における市町村支援」、石巻圏域では施策 3 「行政評価の推進」である。

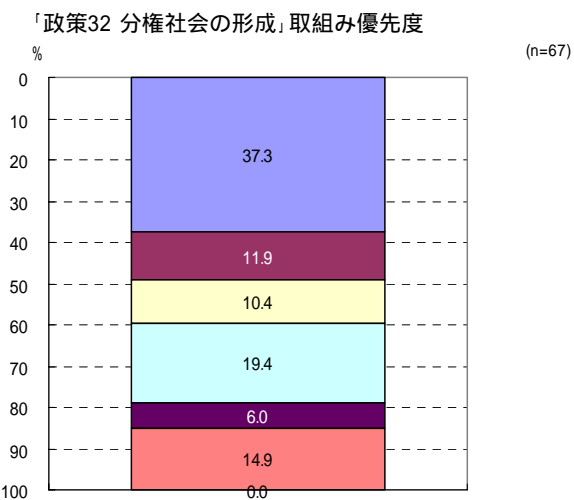
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.住民参加型の行政運営	35.1	35.4	35.2	34.5	37.9	29.4	31.7	38.8	37.5	38.0	33.9	37.4
2	2.情報公開の推進	13.6	13.6	13.6	15.2	8.8	18.0	12.8	15.4	12.7	13.9	15.6	8.0
3	3.行政評価の推進	6.5	7.3	5.7	7.1	4.8	10.4	5.7	5.7	5.8	7.7	5.4	5.5
4	4.地方自治体の自主財源の確保	23.7	23.9	23.3	23.6	23.5	25.6	21.6	18.9	25.9	20.2	25.8	27.3
5	5.市町村合併の推進	8.4	8.5	8.3	7.6	10.9	7.6	16.3	10.1	3.9	4.8	7.5	7.1
6	6.地方分権時代における市町村支援	12.3	10.6	13.6	11.7	13.6	8.1	11.5	10.6	14.3	14.9	11.8	14.3
7	7.その他	0.4	0.5	0.2	0.3	0.5	0.9	0.4	0.4	0.0	0.5	0.0	0.4

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.住民参加型の行政運営	30.5	29.3	33.9	35.1	14.3	50.0	21.7	26.3
2	2.情報公開の推進	2.1	3.4	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0
3	3.行政評価の推進	5.1	5.2	3.6	3.9	14.3	0.0	8.7	2.6
4	4.地方自治体の自主財源の確保	38.6	39.7	37.5	29.9	57.1	25.0	65.2	42.1
5	5.市町村合併の推進	5.4	6.9	10.7	2.6	0.0	0.0	0.0	5.3
6	6.地方分権時代における市町村支援	18.3	15.5	14.3	24.7	14.3	25.0	4.3	23.7
7	7.その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.住民参加型の行政運営	37.3
2	2.情報公開の推進	11.9
3	3.行政評価の推進	10.4
4	4.地方自治体の自主財源の確保	19.4
5	5.市町村合併の推進	6.0
6	6.地方分権時代における市町村支援	14.9
7	7.その他	0.0

